

00 00 「目録」 「寂」 螢 以下ノミ存スルモ損傷甚ダシク校異拳  
 00 00 ゲズ、嘉「端午」マデ前欠、京ハ三四マデ欠」粘伊関雲寂為  
 弘延尹嘉尊戊▼久鳳正 「目録無」公葦  
 00 01 倭漢朗詠集卷上 和漢朗詠集上、城関雲寂延尹嘉戊▼鳳正 倭  
 漢朗詠抄卷上、為上「卷首部分、写真ニ無、要確認」弘 倭  
 漢朗詠抄上▼久 和漢朗詠集上（朗詠抄上）「傍記デ朗詠抄上  
 行成自筆如此トアリ」▼鳳  
 00 02 春  
 00 03 立春 立春（付旧年立春）尹  
 00 04 早春  
 00 05 春興  
 00 06 春夜  
 00 07 子日（付若菜） 「コノ次ニ「若菜」ノ項有」尹 子日 若菜、  
 戊  
 00 08 三月三日 三月三日（付桃花）城為尊▼久嵯 三月三日（付桃）伊  
 為延戊▼鳳正 三月三日（付桃李）尹  
 00 09 暮春  
 00 10 三月尽  
 00 11 閏三月 潤三月、伊弘戊▼正  
 00 12 鶯  
 00 13 霞  
 00 14 雨  
 00 15 梅（付紅梅） 梅 紅梅、城梅 「雲ハ後筆デ付紅梅ヲ書ク」関  
 雲弘  
 00 16 柳  
 00 17 花（付落花） 花、関  
 00 18 躑躅  
 00 19 藤 「次項ノ款冬ノ次」城関雲為弘延尹尊戊▼久鳳正嵯

00 20 款冬  
 00 21 夏 「焼失」▼正  
 00 22 更衣 更衣（イ）城  
 00 23 首夏  
 00 24 夏夜 「次項ノ端午ノ次」▼正  
 00 25 端午  
 00 26 納涼  
 00 27 晩夏  
 00 28 花橘 華橘、延 廬橘、戊▼久 花（廬）橘 「左側傍記ニ廬ア  
 リ」▼鳳  
 00 29 蓮  
 00 30 郭公  
 00 31 螢  
 00 32 蟬 蟬 扇、城関雲為延尹嘉尊戊▼久鳳正嵯  
 00 33 秋  
 00 34 立秋  
 00 35 早秋  
 00 36 七夕 七夕（付乞巧奠）尹  
 00 37 秋興 秋□ 「焼失」▼正  
 00 38 秋晩  
 00 39 秋夜  
 00 40 八月十五夜（付月） 十五夜（付月） 「雲ハ後筆デ八月ヲ書ク」城  
 関雲弘▼鳳正嵯 「八月」十五夜（付月）鳳  
 00 41 九月（付菊） 九日（付菊）城関雲★弘★延尹嘉戊▼久鳳正嵯 九  
 月九日（付菊）為尊  
 00 42 九月尽  
 00 43 女郎花 女郎、弘

00 00 44 萩  
 00 00 45 蘭  
 00 00 46 榿「焼失」▼正  
 00 00 47 前栽  
 00 00 48 紅葉「付落葉」紅葉 落葉、城紅葉「★雲ハ後筆デ付落葉ヲ  
 書ク」関雲紅葉「付落花(葉)」▼嗟  
 00 00 49 雁「付帰雁」  
 00 00 50 虫  
 00 00 51 鹿  
 00 00 52 露  
 00 00 53 霧ナシ弘  
 00 00 54 擣衣  
 00 00 55 冬  
 00 00 56 初冬ナシ尹「摩損カ、空白」戊  
 00 00 57 冬夜  
 00 00 58 歳暮  
 00 00 59 炉火 鑪火、城関雲炉、弘  
 00 00 60 霜  
 00 00 61 氷「付春水」「次項「雪」ノ次」城関雲為弘延尹嘉尊戊▼久鳳  
 正嗟氷「雲ハ後筆デ付春水ヲ書ク」雲氷「付春水」▼久  
 00 00 62 雪  
 00 00 63 霰  
 00 00 64 仏名 仏、延  
 10 00 01 春 倭漢朗詠抄上 春、公和漢朗詠抄上 春、葦ナシ▼  
 嗟  
 10 00 02 立春  
 00 01 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉尊戊▼久鳳正嗟》  
 00 01 01 逐吹潜開

00 01 02 不待芳菲之候  
 00 01 03 迎春乍變  
 00 01 04 将希雨露之恩 将希(带)雨露之恩「左側傍記、注积カ」鳳  
 00 01 05 「立春日内園進花賦」「立春日内宴進花賦」城関雲「ナシ」  
 公尊戊「立春日内宴進花賦」新賦」「新賦ハ朱」為「春  
 立日内園進(花)賦」★弘「立春日内園使進花賦 公乘億」  
 延尹嘉▼鳳正嗟「日ナシ尹」(内園内宴、嘉▼正嗟)「使ナシ  
 尹嘉▼嗟」(進花集花、嘉)  
 00 02 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉尊戊▼久鳳正嗟》  
 00 02 01 池凍東頭風度解 池凍東頭風渡解、城  
 00 02 02 窓梅北面雪封寒「封寒」ハ焼失」▼正  
 00 02 03 「篤茂」(篤)城「ナシ」公尊「篤茂 立春日呉芸閣諸文  
 支 已上旧年」為「立春日呈芸閣諸文友 藤篤茂」延ノ閣  
 ハ切斷ノタメ推読、鳳ハ作者名方先」延▼鳳「藤篤茂 篤茂▼  
 鳳」(藤原△△)嘉「焼失」▼正  
 00 03 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉尊戊▼久鳳正嗟》「尊ハ六  
 ノ次」【古今一、六帖、寛平御時中宮歌合】  
 00 03 01 としのうちに  
 00 03 02 はるはきにけり  
 00 03 03 ひと、せをひ□□を「焼失」▼正  
 00 03 04 こそとやいはむこそと「や」いはん★延  
 00 03 05 ことしとやいはむ  
 00 03 06 「元方」(在原□□ 已上旧□)城「在原元方 已上旧年」  
 「雲ハ已上旧年 在原元方」伊関雲葦尹▼久鳳「ナシ」公尊  
 ▼嗟「(在原元方 旧年)為」(在原元方 旧年立春)延「(在  
 原元方)「寂ハ磨損不明」嘉戊「焼失」▼正

00 04 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉尊戊》久鳳正嵯【文集、佳句】

00 04 | 01 柳無氣力条先動

00 04 | 02 池有波文氷尽開

00 04 | 03 [白]「ナシ」関雲公葦寂尊戊「白 府西池」[為ハ朱デ「年内立春」トアリ、延正ハ作者名ガ後、正ハ下部焼失」寂為延

▼正「白居易 府西池」尹嘉「白 西府池」▼久「府西池 白楽天」▼鳳

00 05 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉尊戊》久鳳正嵯【佳句】

00 05 | 01 今日不知誰計会「今日」ハ焼失」▼正

00 05 | 02 春風春水一時来

00 05 | 03 [同上]「已上白」城関雲「ナシ」公寂尊「白」葦弘尹戊▼

久嵯「同前 府西池 恐与前一連歟」「府西池 恐与前一連歟ハ朱」為「同前」延「已上白 同上」嘉「同」▼鳳「同」

「以下焼失」▼正

00 06 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉尊戊》久鳳正嵯【】

00 06 | 01 夜向残更寒磬尽

00 06 | 02 春生香火晚炉燃 春生香火晚鑪燃、公

00 06 | 03 [良春道]「山寺立春 良春道」城葦★弘▼久「立春山寺 良春道」伊「後筆デ山寺立春ヲ書ク」雲「ナシ」公尊「宿天台寺立春朝作 良春道」[延ノ山寺ハ推読]為延▼正「山寺 立春日 春道」尹「山寺立春 良春道 宿天台寺立春朝作」

▼鳳「磨滅」▼嵯

00 07 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉尊戊》久鳳正嵯【古今二、新撰和歌、六帖】

00 07 | 01 そてひちて

00 07 | 02 むすひしみつの

00 07 | 03 こほれるを

00 07 | 04 はるたつけふのはるたつそらの為

00 07 | 05 かせやとくらん

00 07 | 06 [紀貫之]「貫之」城関雲葦寂弘延嘉戊▼久鳳「ナシ」公尹尊▼嵯「焼失」▼正

00 08 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉尊戊》久鳳正嵯【尹戊ハ八ノ次ニ七八ノ一首有】[拾遺抄一、拾遺一、六帖、忠岑]

00 08 | 01 はるたつと

00 08 | 02 いふはかりにや「や不明」寂

00 08 | 03 みよしのゝみよし「以下焼失」▼正

00 08 | 04 やまもかすみてやましかすみて関やまんかすみて雲

00 08 | 05 けふはみゆらむけさはみゆ覽「正ハ「らむ」焼失」城関雲葦為弘★延尹嘉尊戊▼久鳳正嵯「けノ下一字不明」寂

00 08 | 06 [忠岑]「ナシ」公尊▼嵯「不明」寂「忠岑 平定文家歌合」為「壬生忠岑 平定文家歌□」[切断]延「壬生忠岑 嘉▼鳳「焼失」▼正

z0 01 | 00 《尹戊》鳳貞正建長【七八重出】「鳳正ハ片仮名細字書入」

z0 01 | 01 春かすみ

z0 01 | 02 たてるやいつこたてるやいつく尹

z0 01 | 03 みよしのゝ

z0 01 | 04 よしのゝ山に

z0 01 | 05 ゆきはふりつゝ

z0 01 | 06 [ナシ]「誦人不知」[江本此哥不載 行成本无之トアリ]▼鳳「江都本此哥不載トアリ」▼正

z0 02 | 00 《正龍遠》【七七重出】「正ハ片仮名細字書入」

z0 02 | 01 きのふこそ

z0 02 | 02 としはくれしか

- z0 02 03 はるかすみ
- z0 02 04 かすかのやまに
- z0 02 05 はやたちけり
- z0 02 06 「人丸」
- 10 00 03 早春
- 00 09 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉尊戊》久鳳正嵯【元氏長慶、佳句】
- 00 09 01 水消田地蘆錐短 水銷田地蘆錐短、城関雲葦寂尊▼嵯 水消田地蘆錐短★公 水消田地蘆針短、延
- 00 09 02 春入枝条柳眼低
- 00 09 03 「元」 「ナシ」公尊 「元槿 寄楽天」 「延正ハ作者名ガ後」為延嘉▼鳳正「元槿 元慎、延」 「寄楽天 寄白楽天▼鳳」 「元慎」▼嵯
- 00 10 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉尊戊》久鳳正嵯【文集、佳句】
- 00 10 01 先遣和風報消息 先遣和風封消息、嘉 「先ハ焼失」▼正
- 00 10 02 続教啼鳥説来由 続教帝鳥説来由、弘 続教啼鳥説来由、延
- 00 10 03 「白」 「ナシ」公尊 「白 春生」 「延正ハ作者名ガ後、延ノ「生」ハ「主」カ、正ノ「生」ハ焼失」寂為延▼鳳正
- 00 11 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉尊戊》久鳳正嵯【文粹】
- 00 11 01 東岸西岸之柳 東岸西岸柳、公
- 00 11 02 遅速不同 「不」ハ不明」寂
- 00 11 03 南枝北枝之梅
- 00 11 04 開落已異
- 00 11 05 「春生逐地形 保胤」 「春逐地形 保胤」伊 「ナシ」公尊 「春生」ハ不明」寂 「春生逐地形序 慶保胤為延▼鳳正」 「春生逐地形 慶滋保胤」嘉 「春生逐（逐）地形 保胤」▼久

- z0 03 00 《正》 「行間細字書入、或本無」トアリ、作者名ハ無【三七七重出】
- z0 03 01 水消見水多於地
- z0 03 02 雪霽望山尽入楼
- 00 12 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉尊戊》久鳳正嵯【
- 00 12 01 紫塵嫩蕨人拳手 「嬾カ嫩カ、活字本諸本デモ判断ハ揺レテイル、校本ハ底本山城切ヲ嬾トシ、校異ナシ。両者ノ草体ハ書体ガ似ルノデヤムヲエナイ。ココデハ底本ヲ嬾トシ、明確ニ嬾ト書クモノヲ校異トシテ拳ゲタガ、校異トシテ拳ゲナイモノモ、必ズシモ嬾デアルコトヲ否定シナイ」公 紫塵嫩蕨人拳手、城関雲葦弘延戊▼久鳳正嵯 「拳手」ハ不明」寂
- 00 12 02 碧玉寒蘆錐脱囊 「碧玉」ハ不明」寂
- 00 12 03 「野」 「野相公」関葦弘尹戊▼嵯 「ナシ」公尊 「野 早春」寂 「野相公 篁 和早春晴後」 「篁ハ朱」為 「和早春晴後 野相公」 「鳳ハ作者名ガ先」延▼鳳「和ナシ▼鳳」 「野相公 早春草」嘉 「焼失」▼正 「野相公 早春」 「早春ヲ野相公ノ前ニ移ス符号有、早春ハ別筆カ」▼久
- 00 13 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉尊戊》久鳳正嵯【
- 00 13 01 気霽風梳新柳髪
- 00 13 02 水消浪洗旧苔鬢 水消波洗旧苔鬢、城関雲寂為尊戊▼久 水消波旧洗苔鬢、葦 水消波洗旧苔鬢、★延 水消浪洗旧苔鬢（鬢也）尹 水銷波洗旧苔鬢「▼正ハ「鬢」焼失」嘉▼正嵯（波浪▼嵯
- 00 13 03 「都」 「ナシ」公尊 「都良香」葦弘尹嘉戊▼嵯「香」 「切断」▼嵯 「都良 春既」 「寂」 「都良香 早春賦春暖」 「延ハ作者名ガ後」為延 「都良香 春暖」 「春暖ヲ都良香ノ前ニ移

- ス符号有、春暖ハ別筆カ」▼久「春暖 早春賦 都良香」▼
- 鳳「焼失」▼正
- 00 14 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉尊戊▼久鳳正嵯》【文粹】
- 00 14 01 庭増気色晴沙緑庭増気色晴砂緑、葦為戊▼嵯
- 00 14 02 林変容輝宿雪紅林変容暉宿雪紅、弘林変容耀（輝之誤）宿
- 雪紅、尹「雪紅」焼失」▼正
- 00 14 03 「紀」〔草樹暗迎春 紀〕「城ノ迎ハ推読」城伊▼久「後筆
- デ草樹暗迎春ヲ書ク」雲「ナシ」公尊「草樹暗迎春 紀納
- 言」▼嵯ハ作者名ガ先」為延▼鳳嵯「草木共逢春 紀納言」
- 尹「草樹暗迎春」嘉「紀納言」戊「焼失」▼正
- 00 15 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉尊戊▼久鳳正嵯》【万葉、六
- 帖、新古今三二】
- 00 15 01 いはそくくいはそく葦
- 00 15 02 たるひのうへのたるみのうへの関雲寂為弘尊▼久鳳正垂水
- の上的★公
- 00 15 03 さわらひのさわはらひの弘
- 00 15 04 もえいつるはるにもえいつるはると葦▼久
- 00 15 05 なりにけるかな
- 00 15 06 「志貴皇子」〔ナシ〕公弘延尊▼嵯「志貴王子」尹「子」焼
- 失」▼正
- 00 16 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉尊戊▼久鳳正嵯》【古今一二、
- 新撰万葉、寛平御時后宮歌合、六帖】
- 00 16 01 たにかせにはるかせに城関雲公はる（やま）かせに雲山
- 風に葦寂弘尹尊戊▼久鳳嵯谷（春歟）かせに延やま（たに）
- かせに▼鳳
- 00 16 02 とくるこほりの
- 00 16 03 ひまことにひま□□に「磨損不明」粘
- 00 16 04 うちいつるなみや

- 00 16 05 はるのはつ花
- 00 16 06 「当純」〔源正澄〕「城ノ澄ハ推読」城関雲葦為延嘉▼久「源
- 当純」伊「ナシ」公弘尹尊戊「磨損」寂「源正澄（当純）」
- 「当純ハ別筆カ」▼久「源当純（正澄 行成自筆） 寛平御時
- 后宮哥合哥」▼鳳「源□□」焼失」▼正「源当澄」▼嵯
- 00 04 00 《公戊長東経東永▼鳳正》「鳳正ハ片仮名細字書入、鳳ハ「行
- 成自筆本無之」トアリ」【六三〇重出】
- 00 04 01 見わたせは見度（者）公
- 00 04 02 やなきさくらを桜柳（乎）公
- 00 04 03 こきませて古支□（天）公
- 00 04 04 宮こそはるの郷処春（能）公
- 00 04 05 にしきなりける錦なりける公
- 00 04 06 「ナシ」〔花時望京 素性 江本有之〕▼鳳「花時望京 素
- 性」▼正
- 00 17 00 《粘城伊関雲葦寂為弘延尹嘉尊唐▼久鳳正嵯》「公寂戊ナシ、
- ★校本ハ公戊ハ六七五ノ一首有トスルガ六三五ノ誤リカ、粘
- 葉本デハ六三〇ノ重出トナル。▼正ハ一七ノ後二一七ヲ片仮
- 名細字書入、一七五ノハナリニケリ、一七六〔平兼盛〕【麗
- 景殿女御歌合、続後撰三四】
- 00 17 01 みわたせは
- 00 17 02 ひらのたかねに
- 00 17 03 ゆきゝえて
- 00 17 04 わかなつむへくわかなつんへく延
- 00 17 05 のはなりにけりなりにけるかな▼正
- 00 17 06 「兼盛」〔源兼盛〕★伊「ナシ」葦弘延尊「平兼盛」為尹嘉
- ▼鳳
- 10 00 04 春興

- 00 18 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉尊唐戊》久鳳正嵯【文集、佳句】
- 00 18 | 01 花下忘婦因美景
- 00 18 | 02 樽前勸醉是春風 樽前勸醉是春□「葦ハ破損、正ハ焼失」葦
- ▼正
- 00 18 | 03 「白」〔ナシ〕城公尊「白 酬哥舒大見贈」為「醉哥舒大見贈 白」〔哥ハ奇力〕延「削ル」唐「白 酬寄舒大見贈」▼鳳「焼失」▼正
- 00 19 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉尊唐戊》久鳳正嵯【劉夢得文集外集、佳句】
- 00 19 | 01 野草芳菲紅錦地
- 00 19 | 02 遊糸繚乱碧羅天「羅天」焼失▼正
- 00 19 | 03 「禹錫」〔虫損不明〕粘「ナシ」城公尊戊「劉禹錫」伊葦弘尹嘉▼久嵯「劉」関雲「劉禹□」寂「劉禹錫 春日書懷寄東洛白甘夢得字実」為「春日書懷寄東洛同廿二 劉禹錫」〔鳳ハ作者名ガ先〕延▼鳳〔同〕白、鳳「削ル」唐「焼失」▼正
- 00 20 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉尊唐戊》久鳳正嵯【文集、佳句】
- 00 20 | 01 歌酒家々花処々
- 00 20 | 02 莫空管領上陽春
- 00 20 | 03 「白」〔ナシ〕城公尊戊▼嵯「白 送令孤尚書赴東都」〔延▼正ハ作者名ガ後、正ハ白〔五十六〕トアリ〕為延▼正「削ル」唐「白 送令狐尚書赴東都〔六六〕」▼鳳
- 00 21 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉尊益戊》久鳳正嵯【文粹】
- 00 21 | 01 山桃復野桃
- 00 21 | 02 日曝紅錦之幅 日曝紅錦之福、★弘

- 00 21 | 03 門柳復岸柳 門柳亦岸柳、公門柳又岸柳、弘
- 00 21 | 04 風宛麴塵之糸 風■「糸十宛」麴塵之糸▼嵯
- 00 21 | 05 「逐処花皆好 齊名」〔齊名〕「雲ハ後筆デ逐処花皆好ヲ書ク」雲寂戊「ナシ」公尊「逐処花皆好序 紀齊名」為延嘉▼鳳正「〔処花皆好〕益
- 00 22 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉尊益戊》久鳳正嵯【
- 00 22 | 01 著野展敷紅錦繡 著野展敷紅錦繡▼正
- 00 22 | 02 当天遊織碧羅綾 当天遊糸碧羅綾、関
- 00 22 | 03 「野」〔ナシ〕公尊「田達□」寂「野相公 春生」〔為ハ「生」ニ「望」朱傍記カ、久ノ春生ハ別筆カ、延正ハ作者名ガ後〕為延▼久鳳正「春生 春生内宴▼正」〔野相公〕嘉益▼嵯
- 00 23 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉尊益戊》久鳳正嵯「為ハ余白ニ小字後補」【
- 00 23 | 01 林中花錦時開落 林中華錦持開落、為
- 00 23 | 02 天外遊糸或有無
- 00 23 | 03 「田達音」〔田〕城雲「ナシ」公寂嘉尊「田達音 春日□」為「〔上寺 田達音〕延」〔管三品〕尹「田達音 春上寺望聚落」▼鳳「春□」〔以下焼失〕▼正
- 00 24 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉尊益戊》久鳳正嵯「為ハ余白ニ小字後補」【
- 00 24 | 01 笙歌夜月家々思 箏歌夜月家々思、城
- 00 24 | 02 詩酒春風処々情
- 00 24 | 03 「管三品」〔磨損不明〕粘「悦者衆 管三品」〔城ノ衆ト品ハ推読、為ハ朱「春來文時」有〕城為延▼久鳳「悦者衆」伊「後筆デ悦者衆ヲ書ク」雲「ナシ」公尊益「悦者多詩 管三品」尹「焼失」▼正

- 00 25-00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉尊益戊》久鳳正嵯【万葉、新古今一〇四、六帖、赤人】
- 00 25-01 もゝしきの
- 00 25-02 おほみやひとはおほみやは戊
- 00 25-03 いとまあれやいとまあれ□「破損」葦いとま(こゝろ江本) □□□「焼失」▼正
- 00 25-04 さくらかさしてさくらかりして城嘉
- 00 25-05 けふもくらしつけふはくらしつ城伊関雲公嘉益▼久今日をくらしつ葦「異同無」★戊けふも(は 行成自筆)くらしつ▼鳳「つ」焼失▼正
- 00 25-06 「赤人」(ナシ)公弘尊「山辺赤人」為「焼失」▼正
- 00 26-00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉尊益戊》久鳳正嵯【拾遺抄二六、拾遺四三、六帖、忠岑】
- 00 26-01 はるはなほはるはまつ城★関★雲▼鳳はるはまつ(なほ)「鳳ノ傍記ハ「ナヲ」雲鳳はるはなな嘉はるはなを(ほ)▼久
- 00 26-02 われにてしりぬ
- 00 26-03 はなさかり
- 00 26-04 こゝろのとけき
- 00 26-05 ひとあらしな
- 00 26-06 「忠岑」(ナシ)公弘尊「□峯」「文字アルカ」延「焼失」▼正
- 10 00-05 春夜
- 00 27-00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉尊益戊》久鳳正嵯【文集、佳句】
- 00 27-01 背燭共憐深夜月 背灯共憐深夜月、寂弘
- 00 27-02 踏花同惜少年春

- 00 27-03 「白」(ナシ)城公尊「白」春日与盧回周諒華陽觀同居為「春中寺盧回周諒花陽同居 白」回八四九★延「春日与盧回周諒華陽觀同居」尹「白 春中与盧四周諒華陽觀同居(二三)源歟」▼鳳「白(十三)」▼正
- 00 28-00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉尊益戊》久鳳正嵯【古今四一、新撰和歌、六帖、躬恒】
- 00 28-01 はるのよの春(の)夜、公
- 00 28-02 やみはあやなし
- 00 28-03 むめのはな
- 00 28-04 いろこそみえね
- 00 28-05 かやはかくるゝ
- 00 28-06 「躬恒」(ナシ)公弘尊▼嵯「三常」葦「凡河内躬恒」為「躬常」▼久「凡□□」焼失、凡ハ後補カ▼正
- 10 00-06 子日子日(付若菜)「鳳ハ「南家本無之」、正ハ「无」トアリ」城尹嘉尊▼鳳正嵯ナシ伊
- 00 29-00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉尊益戊》久鳳正嵯【益ハ「古筆学大成」模本ニヨル】【文草、文粹】
- 00 29-01 倚松樹以摩腰 倚松根以摩腰、葦
- 00 29-02 習風霜之難犯也 習風霜之難犯「鳳ハ朱デ(也)ヲ書ク」城関雲公尹益▼鳳習風霜之難犯也、嘉「也」焼失▼正
- 00 29-03 和菜羹而啜口 和菜羹而疑口「校本ハ疑ニ口篇ヲ付スガ、後補カ」関「□ヲ削ツテ別筆デ啜ヲ書ク、□ハ疑ヲ否定シナイ」雲和菜羹以(而 行成本)啜口▼鳳「和」焼失▼正
- 00 29-04 期気味之克調也 期気味之克調「鳳ハ朱デ(也)ヲ書ク」公▼久鳳 期味之克調也、葦
- 00 29-05 「菅」(ナシ)公尊「菅丞相」為ハ朱デ扈從雲林院幸行序ヲ書ク」為弘益戊▼久「扈從雲林院聊叙所観序 菅丞相」鳳

ハ作者名ガ先、詩題ハ焼失ニカカリ推読「延尹▼鳳正「聊ナシ  
▼鳳」〔菅 行幸扈從雲林院不勝感歎聊叙所視詩序〕嘉

00 30-00 《粘城伊関雲公章寂為弘延尹嘉尊益戊▼久鳳正嵯》〔益ハ「古  
筆学大成」模本ニヨル〕【文粹】

00 30-01 倚松根摩腰「倚松樹摩腰、葦倚松根而摩腰」鳳ハ而ニ行成  
本無之ヲ傍記〕★弘延嘉尊▼鳳正嵯〔而〕〔而〕〔後補力〕▼  
正〕

00 30-02 千年之翠滿手「子年之翠滿手、公

00 30-03 折梅花挿頭「折梅花〔而〕挿頭、雲折梅花挿首〔為ノ首ハ朱、  
▼正ハ而ヲミセケチ、以ヲ書ク、後補力〕葦為▼正折梅花

而挿頭「鳳ハ而ニ行成本无ヲ傍記〕★弘嘉尊▼鳳嵯折梅花  
以〔而〕挿頭〔此字無トモ歟〕ノ左傍記〕延

00 30-04 二月之雪落衣「二月之落衣、公

00 30-05 「尊敬」〔ナシ〕公尊「橘在列 春日野遊序」〔為朱デ「出  
家名尊敬」ト有、延▼正ハ作者名ガ後〕為延▼正「尊敬

春日野遊序〕尹「橘在列 野遊詩序〕嘉「尊敬 春日野遊序  
橘在列〕▼鳳

00 31-00 《粘城伊関雲公章寂為弘延尹嘉尊唐益戊▼久鳳正嵯》〔益ハ  
『古筆学大成』模本ニヨル〕【拾遺抄二〇、拾遺二三、六帖、  
忠岑】

00 31-01 ねのひする

00 31-02 のへにこまつの

00 31-03 なかりせは

00 31-04 ちよのためしに「千代の様に「ヨイカ」公

00 31-05 なにをひかまし

00 31-06 「忠岑」〔忠岑（見）〕雲「ナシ」公弘尊「忠見」〔鳳ハ見  
ニ「峰 行成本」ヲ傍記〕葦唐▼久鳳嵯「壬生忠峰」為「人

丸〕戊

00 32-00 《粘城伊関雲公章寂為弘延尹嘉尊唐益戊▼久鳳正嵯》〔益ハ  
『古筆学大成』模本ニヨル〕【拾遺抄二一、拾遺二四、能宣】

00 32-01 ちとせまで

00 32-02 ちぎりしまつもちぎり「し」まつも城ちぎりしまつん雲か  
きれるまつも寂弘嘉尊ちきれるまつも為延戊「ち（か）きれ  
るまつも為

00 32-03 けふよりは

00 32-04 きみにひかれてきみにひかれて★雲

00 32-05 よろつよやへむ

00 32-06 「能宣」〔ナシ〕公弘尊「磨損不明」寂「大中臣能宣」為  
戊「〔能□〕「磨滅」▼嵯

00 33-00 《粘城伊関雲公章寂為弘延尹嘉尊唐益戊▼久鳳正嵯》〔益ハ  
『古筆学大成』模本ニヨル〕【新古今七〇九、清正】

00 33-01 ねのひしに「ねの日して城関雲延嘉▼鳳

00 33-02 しめつるのへの

00 33-03 ひめこまつ「ひめ□□□「焼失」▼正

00 33-04 ひかてやちよの「ひかねてやちよの関引てや千代、公

00 33-05 かけをまたまし「か磨滅」雲「し」焼失〕▼正

00 33-06 「清正」〔ナシ〕公寂弘尹尊「藤清政」為「清政」延「藤清  
正〕戊「焼失」▼正

10 00-07 若菜

00 34-00 《粘城伊関雲公章寂為弘延尹嘉尊益戊▼久鳳正嵯》〔益ハ「古  
筆学大成』模本ニヨル〕【文章、文粹】

00 34-01 野中若菜「野中善若菜」善力〕益

00 34-02 世事推之蕙心「世事推之蕙心、★弘

00 34-03 鑑下和羹「炉下和羹、★延嘉尊益▼正嵯



00 34 04 俗人属之莢指  
 00 34 05 「菅」〔ナシ〕公弘延尊〔菅 雲林院行幸催粧序〕「粧ノ下  
 二朱「詩」有」為〔菅二品 催粧序〕尹〔菅 雲林院行幸  
 序〕嘉〔菅 雲林院行幸〕「雲林院行幸ハ別筆カ」▼久〔催  
 粧序 菅〕「本云菅三品云々可勘ト注記」▼鳳〔賦宮人催粧  
 序 菅丞相〕▼正  
 00 35 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊益戊▼久鳳正嵯》「益ハ  
 『古筆学大成』模本ニヨル」【拾遺一八、人麿】  
 00 35 01 あすからは  
 00 35 02 わかなつませむ わかなつまんと尹嘉京戊▼鳳嵯 わかなつま  
 んと（せむ 行成本）鳳  
 00 35 03 かたをかのかた□□□「破損」葦  
 00 35 04 あしたのはらは  
 00 35 05 今日そやくめる  
 00 35 06 「人丸」〔ナシ〕公弘尊〔柿本人丸〕為  
 00 36 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊戊▼久鳳正嵯》「弘ハ三  
 七ノ次」【万葉、新撰和歌、六帖、新古今一、赤人】  
 00 36 01 はるたゝはあすからは城関雲公葦寂弘延尹嘉京尊戊▼久鳳正  
 嵯あすよりは京  
 00 36 02 わかなつまむと わかなつまへむと城 わかなつまさんと  
 延  
 00 36 03 しめしのに  
 00 36 04 きのみもけふもきのみもけふん関雲 昨も今〔も〕公  
 00 36 05 ゆきはふりつゝ  
 00 36 06 「赤人」〔ナシ〕公弘尊〔同〕尹  
 00 37 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊戊▼久鳳正》「弘ハ三六  
 ノ前、嵯ナシ」【六帖、新古今一四、貫之】  
 00 37 01 ゆきてみぬ ゆきて見む★延 ゆきやらぬ京

00 37 02 人もしのへとひとんしのへと雲  
 00 37 03 はるのゝのはるのゝに寂為弘尹嘉京戊はるの□□「焼失」▼  
 正  
 00 37 04 かたみにつめる  
 00 37 05 わかなゝりけり  
 00 37 06 「貫之」〔ナシ〕公弘尊〔焼失〕▼正  
 10 00 08 三月三日〔付桃〕三月三日〔付桃花〕城尊三月三日、公為  
 尹  
 00 38 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊京戊▼久鳳正嵯》【王右丞、  
 佳句】  
 00 38 01 春来遍是桃花水  
 00 38 02 不弁仙源何処尋  
 00 38 03 「王羅」〔王維〕「城ノ維ハ推読」城関雲葦寂弘嘉▼久嵯〔ナ  
 シ〕公尊戊〔王維 于時年十六 桃源行〕「朱 晋大元中武  
 陵漢人漢行」為〔桃源行 王維〕「正ハ「行」焼失」延尹  
 ▼鳳正〔王惟（淮イ） 桃源行時 年十六〕★京  
 00 39 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊戊▼久鳳正嵯》【文章、文  
 粹】  
 00 39 01 春之暮月 春暮月、関雲 春〔之〕暮月「傍記ハ後筆カ」雲  
 00 39 02 々之三朝々三朝、寂  
 00 39 03 天醉于花  
 00 39 04 桃李盛也 桃李之盛也、公桃□之盛也「破損、李ヲ否定シナ  
 イ」葦 桃李之盛也、嘉▼久嵯 桃李之盛也▼正  
 00 39 05 我后一日之沢 我皇一日之沢、葦 我后（君）一日之沢「朱  
 為 我后（一日）之沢、延 我后（皇）一日之沢▼久  
 00 39 06 万機之余  
 00 39 07 曲水雖遙

00 39 | 08 遺塵雖絶

00 39 | 09 書巴字而知地勢(書)巴字而知地勢、延書巴字知地勢、戊、尽(書)己字而知地勢▼久

00 39 | 10 思魏文以翫風流、思魏文玩(翫)風流「朱」為思魏而以翫風流▼嗟

00 39 | 11 蓋志之所之

00 39 | 12 謹上小序、謹猷少序、葦寂弘尹嘉戊▼嗟(少、小、弘)謹猷少序云爾、為★延尊▼正(少、小、尊)「燒失」▼正「謹上」(猷イ)少序、京

00 39 | 13 「菅」(菅三品)城「ナシ」関雲公葦寂尊「菅」(菅丞相)花

時天似醉詩序)「朱」為「花時天似醉」菅「延」(菅)曲水宴花時天似醉序)嘉「菅丞相」花時天似醉序)「▼正ハ作者名ガ後」京▼正「菅丞相」後補力)▼久「花時天似醉序」菅▼鳳「菅」花色天似醉序)▼嗟

00 40 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊戊▼久鳳正嗟》【文章、文粹】

00 40 | 01 煙霞遠近応同戸

00 40 | 02 桃李浅深似勸盃、桃李浅深似勸盃、公

00 40 | 03 「菅」(花時天似醉)菅「城ノ醉ハ推読、為朱「題同前」城為尹▼正「ナシ」伊公尊「後筆」花時天似醉ヲ書ク」雲「花時天似醉」弘「同詩」延「菅」同詩)京「花時天似醉」菅丞相)▼久「同時」菅)▼鳳

00 41 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊戊▼久鳳正嗟》【

00 41 | 01 水成巴字初三日

00 41 | 02 源起周年後幾霜

00 41 | 03 「篤茂」(蔡流送羽觴)篤茂「城ノ觴ハ推読、尹、京ハ蔡

ニ「栄イ」ヲ傍記)城尹嘉京▼久鳳「ナシ」伊公尊「後筆」デ蔡流送羽觴ヲ書ク」雲「蔡流送羽觴」藤篤茂「為ノ藤篤

茂ハ朱、▼正ノ「羽觴」「茂」「燒失」為延▼正

00 42 | 00 《粘城伊公葦寂為弘延尹嘉京尊戊▼久鳳正嗟》【関雲ナシ】

00 42 | 01 礙石遅来心窃待

00 42 | 02 牽流遡過手先遮、牽波遡過手先遮、寂牽流(波)遡過手先遮▼鳳

00 42 | 03 「雅規」(ナシ)伊公尊「同前」菅雅規為延京▼鳳正「雅

茂「同」尹「菅雅規」題同前)嘉

00 43 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊戊▼久鳳正嗟》【文粹】

00 43 | 01 夜雨偷湿

00 43 | 02 曾波之眼新嬌、曾波之眼嬌新、城曾(層イ)波之眼新嬌「朱」為

00 43 | 03 曉風緩吹、曉月風緩吹、関雲

00 43 | 04 不言之口先咲、不言之唇先咲、嘉▼鳳正、不言之唇(口)先咲、鳳

00 43 | 05 「桃始華賦」紀「桃始花賦」紀)城京「ナシ」公尊「桃始

華「紀」葦「桃始華序」紀)寂「桃始花賦」(序)紀納言)「朱」為「桃始花賦」弘「桃始花序」紀納言)延▼正「桃始花序」紀中納言)尹「桃始花賦」紀納言)「▼嗟ハ作者名ガ先」嘉▼久鳳嗟(花華▼鳳)(賦)ナシ▼久「(紀)戊

00 44 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊戊▼久鳳正嗟》【拾遺抄

一八四、拾遺二八八、六帖、躬恒】

00 44 | 01 みちとせにみちよへて寂

00 44 | 02 なるといふものなるてふもの、関雲葦寂為弘尹嘉京尊戊▼鳳正嗟

00 44 | 03 ことしより

00 44 04 はなさくはるに

00 44 05 あひそめにけりあひにけるかな城公尹尊▼久鳳正嵯あひ  
そしにける寂あふそうれしき為延京戊なりにつけるかな弘  
嘉

嘉

00 44 06 「ナシ」〔躬恒〕寂為延〔亭子院哥合 忠峰〕嘉〔貫之〕躬  
恒イ〔京〕〔兼盛 貫之〕〔江本〕▼鳳「焼失」▼正

10 00 09 暮春

00 45 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊益戊▼久鳳正嵯》〔元氏  
長慶、佳句〕

長慶、佳句

00 45 01 払水柳花千万点 払水柳華千万点▼嵯

00 45 02 隔楼鶯舌両三声 〔三木〕林・楼

00 45 03 「元」〔ナシ〕公尊 〔元積 過襄陽楼呈上府王〕〔延ハ作者名  
ガ後〕為延▼鳳〔元積 元慎、延元、▼鳳〕〔王主、延▼鳳〕〔過  
裏汝楼里上府王嚴司空 元積〕京〔元積〕▼正

00 46 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊益戊▼久鳳正嵯》〔文章〕

裏汝楼里上府王嚴司空 元積 京〔元積〕▼正

00 46 01 低翅沙鷗湖落暁 低翅沙鷗湖落暁、弘益 低翅沙鷗湖〔湖〕落  
暁、弘 低翅砂鷗湖落暁▼嵯 〔三木〕暮・暁

00 46 02 乱糸野馬草深春

00 46 03 「菅」〔ナシ〕伊公尊 〔晚春遊松山館 菅〕延▼鳳 〔菅 晚  
春山館〕尹 〔晚春遊相〔松イ〕山館 菅〕京〔菅 晚春遊山  
館〕〔晚春遊山館ハ別筆力〕▼久 〔晚春遊□山館 菅丞相〕

〔焼失〕▼正

00 47 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊益戊▼久鳳正嵯》

00 47 01 人無更少時須惜 人更無少時須惜、為

00 47 02 年不常春酒莫空 年不常〔常イ不イ〕春酒莫空、京

00 47 03 「野」〔ナシ〕伊公尊 〔野相公 内宴春先細賦〕〔為朱ハ「先  
ヲ「光」、「賦」ナシ、▼正ハ作者名ガ後〕為▼正〔先光▼正〕

ヲ「光」、「賦」ナシ、▼正ハ作者名ガ後〕為▼正〔先光▼正〕

〔春光細賦 野相公〕★延尹 〔野相公〕嘉 〔内宴春先細賦 春イ〕  
光細賦 野相公〕京 〔野 春光細賦〕〔鳳ハ作者名ガ後〕▼  
久鳳

00 48 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊益戊▼久鳳正嵯》

00 48 01 劉白若知今日好 劉白〔伯イ〕若知今日好、京

00 48 02 応言此処不言何

00 48 03 「順」〔深春好 順〕〔京益ハ作者名ガ先〕城為尹京益▼鳳  
〔ナシ〕伊公尊 〔後筆デ深春好ヲ書ク〕雲 〔深春好 源順〕  
延 〔源順〕嘉 〔春深好 順〕▼久 〔焼失〕▼正

00 49 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊益戊▼久鳳正嵯》〔嘉ハ  
四九ノ次ニ一首有〕〔古今三五、興風〕

00 49 01 いたつらに

00 49 02 すくすつきひはすくるつきひは為弘延尹嘉京尊▼鳳嵯

00 49 03 おほかれとおほけれと為嘉▼嵯

00 49 04 はなみてくらすはなみてすくる戊

00 49 05 はるそすくなき 〔「き」焼失〕▼正

00 49 06 「ナシ」〔興風〕城関雲葦寂為延尹嘉京益戊▼久鳳嵯〔焼失〕  
▼正

00 05 00 《鳳貞正逸房東経兼紹》〔▼鳳正ハ片仮名細字書入〕

00 05 01 イサケフハ

00 05 02 ルノ山ヘニ春ノ野辺ニテ〔野辺ニテ〕ヲミセケチニシテ  
〔ヤマヘニ〕▼正

00 05 03 マシリナン

00 05 04 クレナハナケノ

00 05 05 ハナノカケカハハナノカケカモ〔「モ」ミセケチニシテ〕ハ  
ヲ書クハ後補〕▼正

00 05 06 〔南有 江本無之 素性〕〔忠峯 此哥江本無之〕▼正

- 10 00 | 10 三月尽 春(三月尽)城
- 00 50 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊戊》久鳳正嵯 【文集】
- 00 50 | 01 留春々不住 留春々不駐、葦為弘延尹嘉京尊戊 久正嵯(駐・  
駐)(住)「朱」為
- 00 50 | 02 春婦人寂寞 春婦人寂寞、城関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊戊 久鳳正嵯(寞・寞)(漠)「朱」為
- 00 50 | 03 厭風々不定
- 00 50 | 04 風起花蕭索 風起花蕭索、城★弘
- 00 50 | 05 「白」(「ナシ」)城関雲公★弘尊 久「白」落花古調 文集五  
十一 為京(五十一 第五十一、京)「落花古調 白」延 正  
「白」落花「尹」「白」落花古調(五言)嘉「落花古調(六一)  
白」▼鳳
- 00 51 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊戊》久鳳正嵯 【文集、佳  
句】
- 00 51 | 01 竹院君閑銷永日 竹院君閑消永日、葦寂為延嘉京尊戊 久正  
嵯 竹院君閑銷(消イ)永日、★伊 竹院君閑消(銷)永日「朱」  
為
- 00 51 | 02 花亭我醉送殘春 華亭我醉送殘春「鳳ハ華ニ花ヲ傍記」延尊  
▼鳳正
- 00 51 | 03 「白」(「ナシ」)城関雲公尊「已上白」寂「白」酬皇甫賓客  
「延正ハ作者名ガ後」為延★京▼正「白」酬皇甫賓客(六八)  
▼鳳
- 00 52 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊戊》久鳳正嵯 【文集、佳  
句】
- 00 52 | 01 惆悵春婦留不得
- 00 52 | 02 紫藤花下漸黃昏
- 00 52 | 03 「白」(「已上白」)「城ハ推読」城関雲「ナシ」公寂尊「白

- 00 53 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊戊》久鳳正嵯 【文章】  
恩寺(二三)▼鳳
- 00 53 | 01 送春不用動舟車
- 00 53 | 02 唯別殘鶯与落花 唯別殘鶯与落華、為
- 00 53 | 03 「菅」(「ナシ」)城関雲公葦寂弘尹尊戊 久「菅」送春為嘉  
「送春」延「菅丞相 送春」京「燒失」▼正「白」▼嵯
- 00 54 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊戊》久鳳正嵯 【文章】
- 00 54 | 01 若使韶光知我意 若使韶光知我意、嘉
- 00 54 | 02 今宵旅宿在詩家「宵ト霄ヲ判別スルコト困難トミテ、校異  
採用セス」
- 00 54 | 03 「同上」(「菅」)城関雲葦寂弘▼嵯「ナシ」「尹ヨイカ」公尹尊  
戊「菅 同前」為「同前」延「菅 同」嘉「菅 送春」久  
ノ送春ハ別筆カ「京」久「送春 菅」▼鳳「燒失」▼正
- 00 55 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊戊》久鳳正嵯 【京ハ行  
間同筆書入】
- 00 55 | 01 留春不用関城固
- 00 55 | 02 花落随風鳥入雲 華落随風鳥入雲、嘉
- 00 55 | 03 「尊敬」(「ナシ」)公尹尊「橘在列(尊敬俗名) 三月尽」朱  
為「三月尽 橘在列」延「三月尽屏風 尊敬」京「尊敬  
三月尽(在列)▼鳳「燒失」▼正
- 00 56 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊戊》久鳳正嵯 【古今一  
三四、躬恒、亭子院歌合】

00 56 01 けふとのみけふのみと城関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊戊▼久  
鳳正嵯

00 56 02 はるをおもはぬはるをおんはぬ雲はるををもはぬ弘は  
るをおしまぬ▼嵯

00 56 03 ときたにんときたにも城関雲公葦弘延尊戊▼久鳳正嵯と  
したにも為京

00 56 04 たつことやすき

00 56 05 はなのかけかは花陰川、公はなのかけかな尹

00 56 06 〔躬恒〕〔ナシ〕関公弘尊〔三常〕葦〔躬恒 亭子院哥合〕  
為〔亭子院哥合 躬恒〕▼鳳

00 57 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊戊▼久鳳正嵯》〔延ハ五八  
ノ次〕〔拾遺抄五三、拾遺七七、新撰和歌、六帖、貫之〕

00 57 01 はなもみな

00 57 02 ちりぬるやとはちりぬるやとの尹ちりぬやとは嘉

00 57 03 ゆくはるの

00 57 04 ふるさとこそふるさとにこそ城ふるさととこそ★  
延

00 57 05 なりぬへらなれ

00 57 06 〔貫之〕〔ナシ〕公弘尊〔同〕延〔延喜月次御屏風 貫之〕  
▼鳳

00 58 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊戊▼久鳳正嵯》〔延ハ五  
七ノ前〕〔後撰一四六、貫之〕

00 58 01 またもこむまたんこむ雲

00 58 02 ときそとおもへとときそとおんへと関雲としにとおもへと  
嘉ときそと思と戊

00 58 03 たのまれぬ

00 58 04 わかみにしあれば

00 58 05 をしくもあるかなをしきはるかな城関雲公葦寂為弘延尹嘉  
京尊戊▼久鳳正嵯

00 58 06 〔貫之〕〔同〕城関雲寂為嘉京▼正〔ナシ〕公弘尊〔同上〕  
葦▼久〔躬恒〕戊〔同人〕▼鳳嵯

10 00 11 閏三月潤三月、嘉戊

00 59 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊戊阪▼久鳳正嵯》〔佳句〕

00 59 01 今年閏在春三月今年閏在三月、公今年潤在春三月、嘉京  
戊

00 59 02 剩見金陵一月花剩見〔翫〕金陵一月花、城剩看金陵一月花、  
公寂京阪▼久〔看看〕〔見イ〕京〔剩見金陵一月華、為〕

00 59 03 〔陸侍御〕〔ナシ〕★関公尊戊〔陸侍御 送淮南李中丞行  
軍浙江〕為▼鳳〔陸侍衝〕弘〔送淮南李中丞行軍浙江 陸侍  
郎〕〔漸力〕延〔陸侍御〕〔衝イ〕嘉〔邏維南李中丞寄漸江  
陸侍御〕〔郎イ 衝イ〕〔陸侍御作 還維南李中丞行軍漸江  
イ〕京〔陸侍郎〕阪〔焼失〕▼正

00 60 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊戊長阪▼久鳳正嵯》〔文  
粹〕

00 60 01 帰谿歌鶯 帰谿哥鶯葦 帰鶏歌鶯〔欄外ニ〕〔谿〕嘉

00 60 02 更逗留於孤雲之路 処逗留於孤雲之路、関〔処ヲ削ツテ別筆  
デ更ヲ書クカ〕雲 更遥留於孤雲之路、公更逗留〔於〕孤雲  
之路、為

00 60 03 辞林舞蝶

00 60 04 還翩翻於一月之花 還翩翻〔於〕一月之華、為還翩翻於一月  
之華、嘉▼嵯還翩翻於一月花、長

00 60 05 〔順〕〔ナシ〕伊公尊〔順 今年又有春序〕為尹京〔今年又  
有春序 源順〕延嘉▼正〔順 今年又有春〕〔久ノ今年又有  
春ハ別筆カ〕阪▼久嵯〔今年又有春序 順〕▼鳳

- 00 61-00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊戊長阪》久鳳正嵯【】
- 00 61-01 花悔帰根無益悔
- 00 61-02 鳥期入谷定期延 鳥期入谷定期延「延ニ反転符号有」★雲・鳥期入谷延期、阪
- 00 61-03 「藤滋藤」〔清淵藤〕「城ノ淵藤は推読」城関〔ナシ〕「雲ハ後筆デ清滋藤ヲ書ク」★雲公尊戊▼嵯〔同上〕寂〔藤滋藤同詩〕為〔同詩 清滋藤〕「鳳ハ作者名方前」延京▼鳳正〔清原□□ 同題〕嘉〔清滋藤〕阪〔藤原滋藤〕▼久
- 00 62-00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊戊長阪》久鳳正嵯【古今六一、伊勢、六帖】
- 00 62-01 さくらはな
- 00 62-02 はるくはゝれるなほくはゝれる阪
- 00 62-03 としたにもことしたに城関雲公▼嵯ことしたに〔も〕【もハ後人筆】城
- 00 62-04 ひとのこゝろに
- 00 62-05 あかれやはするあかれやはせぬ「城ハせぬヲ削ッテ後人するヲ書ク」城関雲公寂弘嘉尊阪▼久
- 00 62-06 「伊勢」〔ナシ〕関公葦弘延京尊
- 10 00-12 鶯□「切断」益
- 00 63-00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊益戊》久鳳正嵯【】
- 00 63-01 鶏既鳴兮忠臣待旦 鶏既鳴忠臣待旦、城関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊益▼久鳳正嵯
- 00 63-02 鶯未出兮遺賢在谷 鶯未出遺賢在谷、城関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊益▼久鳳正嵯
- 00 63-03 「鳳為王賦」〔風為王賦〕「賦ノ城ハ推読、益ハ切断」城益〔ナシ〕公尊▼嵯〔鳳為王賦 賈嵩〕「▼正ハ「為王賦」「嵩焼失」為延尹嘉▼鳳正〔鳳皇賦 賈嵩〔唐人〕〕★京〔賈高〕

戊

- 00 64-00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊益戊》久鳳正嵯【】
- 00 64-01 誰家碧樹
- 00 64-02 鶯啼而羅幕猶垂 鶯鳴・（啼）而羅幕猶垂▼鳳・鶯呼（啼）而羅幕猶垂「同筆力」▼正
- 00 64-03 幾処華堂 幾処花堂、城為延嘉京戊▼正何（幾処華堂、弘
- 00 64-04 夢覺而珠簾未卷 夢覺而珠簾未■「局ノ口ガ点、卷ノ異体字ノ誤写力、★葦★弘ハ卷ノ異体字トシテ校異削除」寂夢覺珠簾未卷、京夢覺（而）珠簾未卷「同筆力」▼正
- 00 64-05 「曉賦」〔ナシ〕公尊〔賦〕寂〔曉賦 謝観〕為〔曉賦 張説〕延尹嘉京▼鳳〔曉賦 張説 謝（附イ）観イ〕京〔曉賦 張説 謝観〕▼正〔謝観〕▼嵯
- 00 65-00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊益戊》久鳳正嵯【元氏長慶、佳句】
- 00 65-01 咽霧山鶯啼尚少 咽霧山鶯呼（啼）尚少「同筆力」▼正【三木】帶・咽
- 00 65-02 穿沙蘆筍葉纒分 穿砂蘆筍葉纒分、城関雲尹▼久嵯 沙蘆筍葉纒分、公穿沙（砂イ）蘆筍葉纒分、京
- 00 65-03 「元」〔ナシ〕公尊〔元稹 早春尋季校書〕「延▼正ハ作者名方後」為延▼正〔季李▼正〕〔白〕★弘〔元稹 早春鶯李校書〕京〔元 早春尋季校尉〕▼鳳
- 00 66-00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊益戊》久鳳正嵯【京ハ六八ノ次】【文集、佳句】
- 00 66-01 台頭有酒鶯呼客
- 00 66-02 水面無塵風洗池 水面無絃風洗池、関「□ヲ削ッテ塵ヲ書ク、絃力」雲

- 00 66-03 〔白〕〔ナシ〕公寂尊 〔白〕 和思黯題南莊見示呈夢得 為〔和思黯題南莊見樂兼呈夢得 白〕延 〔白〕 奉和思黯南南庄見未兼呈 夢得 京 〔白〕 和思黯題南莊見示兼呈夢得 鳳
- 00 67-00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊唐戊 久鳳正嵯》【文集、佳句】
- 00 67-01 鶯声誘引来花下
- 00 67-02 草色拘留坐水辺 草色勾留坐水辺、城関雲 久 草色物留坐水辺、★葦★尊
- 00 67-03 〔白〕〔同〕城関雲葦 〔ナシ〕公弘尊 〔已上白〕寂 〔春江白〕為延京戊 正 〔春江二八〕 白 鳳
- 00 68-00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊唐戊 久鳳正嵯》【文粹】
- 00 68-01 感同類於相求 感同類而相求 〔正ノミセケチト 於〕へノ修正ハ後補力、関雲京 正 感同類於求、公
- 00 68-02 離鴻去雁之応春轉 離鴻去雁之応春轉、京
- 00 68-03 会異氣而終混 会意、(異) 氣而終混 久
- 00 68-04 竜吟魚躍之伴曉啼 竜吟魚躍之伴曉啼、公
- 00 68-05 〔ナシ〕〔菅三品 鳥声韻管絃〕 為ハ朱デ 絃 ノ次 序 字有、延 正ハ作者名ガ後 為延尹 正 〔菅絃 (三品) 管絃序 鳥声韻絃管〕京 〔菅三品〕戊 嵯
- 00 69-00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊唐戊 久鳳正嵯》【コノ前ニ弘六六有】【文粹】
- 00 69-01 燕姬之袖暫収
- 00 69-02 猜撩乱於旧拍 猜撩乱於旧拍、城★関雲尊唐 久 猜撩乱於旧拍、葦嘉 猜撩乱於旧指、為 猜撩 (撩) 乱於旧拍、延 猜撩 乱於旧拍 〔鳳ノ佐藤翻刻ハ拍〕 戊 鳳正嵯
- 00 69-03 周郎之簪頻動 周良之簪頻動、公唐

- 00 69-04 顧問関於新花 顧問関於新華 嵯
- 00 69-05 〔菅三品〕〔已上 鳥声韻管絃 菅三品〕〔絃ハ推読〕城 〔鳥声韻管絃 菅三品〕〔嵯ハ作者名ガ先〕伊葦唐 久鳳嵯 〔鳥声韻管絃〕関 〔ナシ〕〔雲ハ後筆デ鳥声韻管絃 菅三品ヲ書ク〕雲公尊 〔同前 菅三品〕為 〔同前〕延 正 〔同〕尹 〔鳥声韻管絃序 菅三品〕嘉 〔菅〕京 〔同上〕戊
- 00 70-00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊唐戊 久鳳正嵯》【文章】
- 00 70-01 新路如今穿宿雪
- 00 70-02 旧宿為後属春雲 旧巢為後属春雲、城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊唐戊 久鳳正嵯 〔後〕 正
- 00 70-03 〔菅〕〔鶯出谷 菅〕〔城ノ谷ハ推読〕城関為延尹嘉京唐 久鳳 〔後筆デ鶯出谷ヲ書ク〕雲 〔ナシ〕公尊 〔菅丞相 鶯出谷〕正
- 00 71-00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊唐戊 久鳳正嵯》
- 00 71-01 西楼月落花間曲
- 00 71-02 中殿灯残竹裏音
- 00 71-03 〔菅三品〕〔宮鶯轉曉光 菅三品〕〔城ノ品ハ推読、京ハ詩題ガ後〕城為尹嘉京唐 久 〔後筆デ宮鶯轉曉光ヲ書ク〕雲 〔ナシ〕公尊 〔宮鶯轉曉空 菅三品〕〔正ノ 空〕焼失、〔三品〕後補力 延 鳳正 〔菅 宮鶯轉曉光〕嵯
- 00 72-00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊唐戊 久鳳正嵯》【拾遺抄四、拾遺五、六帖、素性】
- 00 72-01 あらたまの
- 00 72-02 としたちかへる
- 00 72-03 あしたより
- 00 72-04 またるゝものは

- 00 72-05 うくひすのこゑ
- 00 72-06 「素性」―「ナシ」公尊―「素□」寂―「素性法師」弘▼嵯―「素性  
延喜御時四季屏風」尹―「素性法師 延喜御時四季御屏風」  
「正ハ作者名ガ後、「法師」ハ焼失ニカカルガ後補力」▼鳳  
正
- 00 73-00 《粘城伊関雲公章寂為弘延尹嘉京尊戊》久鳳正《「嵯ナシ」【統  
後撰一五】
- 00 73-01 あさみとり
- 00 73-02 はるたつそらに―はるたつそらの為
- 00 73-03 うくひすの
- 00 73-04 はつこゑまたぬ―はつこゑきかぬ「▼正ハ右傍記「マタ」ヲ  
ミセケチ、左ミセケチ「また」ニ修正」弘▼正はつねをま  
たぬ嘉
- 00 73-05 ひとはあらしな
- 00 73-06 「麗景殿女御」―「ナシ」公尊―「女御」寂―「麗景殿女御 此哥  
江本不入」―▼正ハ「殿女御」焼失、「此哥」以下後補力」尹  
▼鳳正―「麗景殿女御 延喜御時四季屏風」嘉
- 00 74-00 《粘城伊関雲公章寂為弘延尹嘉京尊》久鳳正嵯《「戊ナシ」【拾  
遺抄六、拾遺一〇、麗景殿女御歌合】
- 00 74-01 うくひすの 鶯、公―うくひすは弘
- 00 74-02 こゑなかりせは
- 00 74-03 ゆきゝえぬ
- 00 74-04 やまさといかて―山里□天、公―山さといかに延
- 00 74-05 はるをしらまし
- 00 74-06 「中務」―「ナシ」城公尊―「中務抄」 中納言朝忠▼鳳
- 10 00-13 霞
- 00 75-00 《粘城伊関雲公章寂為弘延尹嘉京尊》久鳳正嵯《「戊ナシ」【文  
集、佳句】

- 00 75-01 霞光曙後殷於火―霞光曙後於火、公
- 00 75-02 草色晴来嬾似煙―「嬾ト嫩ノ異同ヲ採ルコトガアルガ、クズ  
シノ字体ガ似ルコトモアリ、採扱シナイ、惠阪校本ハ嫩」―草  
色晴来嬾似■「火・十・雲」。(煙) 尹草(水) 色晴来嬾似煙▼  
鳳
- 00 75-03 「白」―「ナシ」公尊―「白 早春憶蘇州寄夢得」―「延ハ作者名  
ガ後」為延嘉(寄抄寄、嘉)―「白(六十八)」▼正
- 00 76-00 《粘城伊近関雲公章寂為弘延尹嘉京尊》久鳳正嵯《「近ハ古  
筆学大成ニヨル、戊ナシ」【文章】
- 00 76-01 鑽沙草只三分許―鑽砂草只三分許、為嘉京
- 00 76-02 跨樹霞纒半段余―跨「樹」霞「纒」半段余、公―跨樹霞光半段  
余、葦
- 00 76-03 「菅」―「ナシ」公尊―「春浅帯輕寒 菅」―▼久ハ詩題ガ後」為  
延京▼久鳳正
- 00 77-00 《粘城伊近関雲公章寂為弘延尹嘉京尊》久鳳正嵯《「近ハ古  
筆学大成ニヨル、戊ナシ」【万葉、拾遺三、六帖、赤人、人  
麿、家持】
- 00 77-01 昨日こそ 昨古所、公―昨こそ▼久
- 00 77-02 としはくれしか
- 00 77-03 はるかすみ
- 00 77-04 かすかのやまに―かすかのやまに「みノ上カラ後出カヲ書ク」  
城
- 00 77-05 はやたちにけり―はやなりにけり嘉
- 00 77-06 「人丸 立春日」―「人丸」城伊近関雲寂延▼久嵯―「ナシ」公  
弘尊―「立春日 人丸」―▼正ハ下部ニ焼失有」葦▼正―「人  
丸 哥春日」為―「立春日」尹―「赤人」京―「人麿 立春日 赤  
人」▼鳳



00 78 | 00 《粘城伊近関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊▼久鳳正嵯》「近古  
筆学大成ニヨル、戊ナシ」「尹ハ八ノ次ニモ重出」【古今三、  
新撰和歌、六帖】

00 78 | 01 はるかすみ

00 78 | 02 たてるやいつこたゝるやいとこ城為たゝるやいつこ関雲公  
葦寂嘉▼久たてるやいつく延

00 78 | 03 みよしのゝ

00 78 | 04 よしのゝやまに吉野濃ゝ山〔に〕「濃カ」公

00 78 | 05 ゆきはふりつゝ

00 78 | 06 「ナシ」〔同前〕為延「〔赤人〕尹嘉▼久正嵯」〔ヨミ人シラ  
ス〕▼鳳

00 79 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊▼久鳳正嵯》「戊ナシ、嵯  
ハ片仮名細字書入、「吉忠等論之」ノ注記有」【】

00 79 | 01 あさひさす

00 79 | 02 みねのしらゆきみね〔の〕しらゆき葦ミネノシラクモ▼  
嵯

00 79 | 03 むらきえて

00 79 | 04 はるのかすみははるのかすみそ▼鳳

00 79 | 05 ゝやたちにけりたなひきにけり城関雲公葦寂為弘延尹嘉京  
尊▼久正嵯たなひきにける▼鳳

00 79 | 06 「兼盛」〔ナシ〕伊公寂弘尹尊

10 00 | 14 雨

00 80 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊内▼久鳳正嵯》「内ハ八  
四ノ次、戊ナシ」【】

00 80 | 01 或垂花下

00 80 | 02 潜増墨子之悲、潜増黒子之悲、内

00 80 | 03 時舞鬢間

00 80 | 04 晴動潘郎之思、暗動潘郎之思、城関雲為延尹尊内▼久鳳正嵯、暗  
動藩郎之思、公葦寂弘京、暗動簿郎之思、嘉

00 80 | 05 「密雨散糸賦」〔密雨散悲賦〕城「〔ナシ〕」〔雲ハ後筆デ密雨  
散糸賦ヲ書ク〕関雲公尊「〔古穿〕寂」〔密雨如散糸賦〕文選

張景陽雜詩文〕為「〔紀〕弘尹」〔密雨如散糸賦〕在〔宰〕延▼正

〔在〕左▼正〕「〔密雨散如糸賦〕紀納言〕嘉京〔紀納言〕紀納言

左六十、京〕「〔微雨散糸賦〕内〕〔密雨散糸賦〕▼久〕〔密雨

散如糸賦〕文選張景陽詩文〕右〔竿〕〔佐藤翻刻ハ〕文選張景

陽詩文〕ヲ「今勘」以下ノ書入注記ノ一部ト見ル〕▼鳳〕〔左

紀〕▼嵯

00 81 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊多戊▼久鳳正嵯》【錢考  
功、佳句】

00 81 | 01 長樂鐘声花外尽、長樂鍾声花外尽「▼正ハ」「鍾」ヲ「鐘」ニ  
直スカ〕城公多▼正長樂鐘声花下尽、関

00 81 | 02 竜池柳色雨中深

00 81 | 03 「李橋」〔李惕城〕〔李端〕★関▼久〕〔李播〕〔後筆〕雲〕〔ナ  
シ〕公尊〕〔李喬〕葦〕〔李嶠〕寂嘉戊〕〔李嶠〕闕下贈【】〔門十

伯〕舍人〕〔延▼正ハ作者名ガ後〕為延▼正〔嶠〕橋、延〕□〕〔焼

失〕▼正〕〔闕〕閑▼正〕〔異同無〕★弘〕〔李滿〕尹〕〔李嶠〕京〕

〔李潘〕多〕〔李嶠〕闕下贈閤舍人〕錢起詩云々〕▼鳳〕〔白〕

▼嵯

z0 06 | 00 《戊》【五五五重出】

z0 06 | 01 蘭省花時錦帳下

z0 06 | 02 廬山雨夜草庵中

z0 06 | 03 「白」

00 82 | 00 《粘城伊関公葦寂為弘延尹嘉京尊多戊▼久鳳正嵯》【】★雲  
ナシ】

- 00 82 | 01 養得自為花父母 卷得自為花父母、関養得(出〔江〕) 自為花父母▼鳳
- 00 82 | 02 洗来寧弁葉君臣
- 00 82 | 03 〔紀〕「〔ナシ〕公尊」〔紀 山家春雨〕為尹「〔紀納言〕弘▼嗟」〔山家春雨 紀納言〕「京ハ作者名方前、▼正「春雨」焼失」延京▼正「〔紀納言 仙家春雨〕嘉」〔紀 仙家春雨〕「久ノ仙家春雨ハ別筆、〔紀〕ノ前ニ移ス符号有」多▼久「〔仙家春雨 紀〕▼鳳
- 00 83 | 00 《粘城伊関雲公章寂為弘延尹嘉京尊内多戊▼久鳳正嗟》【
- 00 83 | 01 花新開日初陽潤 花新開日初陽洞「雲ハ潤ダガ、王ナドニ削訂カ」関華新開日初陽潤、京
- 00 83 | 02 鳥老婦時薄暮陰 鳥老婦時暮薄陰▼正
- 00 83 | 03 〔菅三品〕「〔春色雨中尽 菅三〕〔菅三ハ推読〕城」〔菅三〕「雲ハ後筆デ春色雨中尽ヲ書ク」関雲「〔ナシ〕公尊」〔菅弘〕〔菅三品 春色雨中尽〕「延▼久鳳正ハ作者名方後」為延尹嘉京多▼久鳳正嗟「〔雨中尽 雨中深▼久△△△▼嗟〕
- 00 84 | 00 《粘城伊関雲公章寂為弘延尹嘉京尊内多戊▼久鳳正嗟》【
- 00 84 | 01 斜脚暖風先扇処
- 00 84 | 02 暗声朝日未晴程 暗教朝日未晴程、関雲
- 00 84 | 03 〔保胤〕「〔微雨自東来 保胤〕「城ノ自東来ハ推読、京ハ詩題ガ後」城為延京多▼鳳正(自「自」京)「〔後筆デ微雨自東来ヲ書ク〕雲」〔ナシ〕公尊「〔以言〕弘」〔微雨自東来〕尹「〔微雨從東来 保胤〕嘉▼久
- 00 85 | 00 《粘城伊関雲公章寂為弘延尹嘉京尊内多戊▼久鳳正嗟》〔内ハコノ前ニ八〇有〕【拾遺抄三一、拾遺五〇、六帖】

- 00 85 | 01 さくらかり
- 00 85 | 02 あめはふりきぬ あめはふり〔き〕ぬ内
- 00 85 | 03 おなしくは
- 00 85 | 04 ぬるとんはなのぬるともはなの城公延京尊戊▼鳳正嗟もるとんはなの関雲
- 00 85 | 05 かけにかくれむ かけにやとらん為
- 00 85 | 06 〔ナシ〕「〔伊勢 イ能宣〕尹」〔躬恒〕京「〔読人不知〕▼鳳
- 00 86 | 00 《粘城伊関雲公章寂為弘延尹嘉京尊多戊▼久鳳正嗟》〔六帖、亭子院歌合、伊勢】
- 00 86 | 01 あをやきの青柳「〔の〕公
- 00 86 | 02 えたにかゝれる
- 00 86 | 03 はるさめは はるさめを関雲公弘
- 00 86 | 04 いともてぬける いともてゆける城
- 00 86 | 05 たまかとそみる たまところ見れ京
- 00 86 | 06 〔伊勢〕「〔ナシ〕公弘嘉尊▼正
- 10 00 | 15 梅梅〔付紅梅〕「為ノ」付紅梅「ハ別筆、久ハ」付紅梅「ニ圈点有」為尹嘉京多▼久鳳正嗟
- 00 87 | 00 《粘城伊関雲公章寂為弘延尹嘉京尊多戊▼久鳳正嗟》〔文集、佳句】
- 00 87 | 01 白片落梅浮潤水 白片落梅浮潤水、葦
- 00 87 | 02 黄梢新柳出城墻 黄梢新出城墻、関
- 00 87 | 03 〔白〕「〔ナシ〕公尊」〔磨損不明〕寂「〔白 春日〕為」〔春至白〕「〔京ハ詩題ガ後〕延京▼鳳正(白「白〔十八〕▼正)
- 00 88 | 00 《粘城伊関雲公章寂為弘延尹嘉京尊多戊▼久鳳正嗟》〔佳句】
- 00 88 | 01 梅花帯雪飛琴上
- 00 88 | 02 柳色和煙入酒中

- 00 88 | 03 「章孝標」〔ナシ〕公尊〔章孝〕寂〔章孝標 早春初晴野宴〕「▼正ハ作者名ガ後、〔晴〕焼失」為▼鳳正〔早春初暗野宴 章孝標〕延
- 00 89 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊多戊▼久鳳正嵯》
- 00 89 | 01 漸薰臘雪新村裏 漸薰臘雪新封裏、城関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊多戊▼久鳳正嵯 漸薰臘雪新村〔封イ〕裏、★伊
- 00 89 | 02 偷綻春風未扇先
- 00 89 | 03 「村上御製」〔寒梅結早花 邑上御製〕〔城ノ結早ト御製ハ推読〕城▼久〔邑上御〕〔雲ハ後筆デ寒梅結早花ヲ書ク〕関雲〔ナシ〕公尊〔邑上御製〕葦〔寒梅結早花 村上御製〕〔嵯ハ作者名ガ先、花ト製ハ磨滅アルイハ切断〕為弘延尹嘉京▼鳳正嵯〔御製 御制、延〕〔寒梅結早花 邑上御〕多
- 00 90 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊多戊▼久鳳正嵯》〔葦ナシ、嘉八九一ノ次、寂多八九二ノ次〕〔屏風土代〕
- 00 90 | 01 青糸繆出陶門柳
- 00 90 | 02 白玉装成庾嶺梅
- 00 90 | 03 「江相公」〔江〕関〔ナシ〕公尊〔後江相公 尋春花〕〔延▼正ハ作者名ガ後、▼正「春」後補〕為延▼正〔江相公 尋春花〕〔▼鳳ハ作者名ガ後〕尹京▼鳳〔後江相公〕嘉
- 00 91 | 00 《粘城伊関公葦寂為弘延尹嘉京尊多戊▼久鳳正嵯》〔雲ナシ〕
- 00 91 | 01 五嶺蒼々雲往来〔校本ハ往ヲ不明トスルガ校異削除〕★葦
- 00 91 | 02 但憐大庾万株梅 唯憐大庾万株梅、戊
- 00 91 | 03 「ナシ」〔ナシ〕★葦〔大庾嶺上多梅樹南枝先開〕為〔大庾嶺上多梅樹南枝先開 菅三品〕延▼鳳〔大庾嶺上 庾嶺▼鳳〕〔菅三品〕嘉京戊▼正嵯
- 00 92 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊多戊▼久鳳正嵯》〔コノ

- 前二尊九〇有】
- 00 92 | 01 誰言春色從東到 誰言春色□東到〔□ハ徒カ〕葦莫〔誰〕言春色從東到〔正ハ莫ヲミセケチ 誰〕後補〕▼鳳正
- 00 92 | 02 露暖南枝花始開 霞暖南枝花始開〔雲ノ露ハ、□ヲ削ツテ路ニ直ス、霞デアツタカ〕関
- 00 92 | 03 「菅三品」〔菅三品歟〕城〔菅三〕関〔ナシ〕公尊戊〔菅三品 同前〕為〔同前〕延▼鳳正〔菅〕尹〔菅三品 大庾嶺上 寒梅樹南枝先開〕〔詩題別筆〕京〔菅三品 大庾嶺〕多〔同〕▼嵯
- z0 07 | 00 《城為弘延京▼正嵯》〔為ハ朱、京ハ「イ本无」ト有、▼正嵯ハ行間細字書入、「証本無此詩」ト有〕
- z0 07 | 01 煙添柳色看猶淺 〔煙添柳色看猶淺〕〔梅カ〕▼嵯
- z0 07 | 02 鳥踏梅花落已頻 〔鳥踏梅花落已頻 イ本〕▼嵯
- z0 07 | 03 「ナシ」〔紀納言〕〔朱〕為〔同〕延
- 00 93 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊多戊▼久鳳正》〔コノ前二寂多九〇有、嵯ナシ〕〔万葉、拾遺抄八、拾遺一〇〇八〕
- 00 93 | 01 いにしとし
- 00 93 | 02 ねこしにうゑし ねこしてうゑし 城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊多戊▼久鳳正
- 00 93 | 03 わかやとの
- 00 93 | 04 わかきのむめはまかきのむめは城 わかきのうめに為わかきのうめは延 かしねのむめは嘉
- 00 93 | 05 なききにけり はるめきにけり 城 はやさきにけり 京
- 00 93 | 06 「安倍広庭」〔中納言安倍広庭〕〔城ノ庭ハ推読、▼正ノ「安倍」焼失〕城関葦延尹多▼久鳳正〔後筆デ中納言ヲ書ク〕雲〔ナシ〕公弘尊〔広庭〕寂京〔中納言安倍広道〕嘉〔中納言 広庭〕戊

00 94 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊多戊》久鳳正嵯 《万葉、  
後撰二二、六帖、赤人》

00 94 | 01 わかせこに

00 94 | 02 みせむとおもひし みせむとおんひし関みせん〔と〕おもひ  
し延

00 94 | 03 むめのはな んめのはな 関雲

00 94 | 04 それとんみえず それともみえず 関公弘延京尊戊 久鳳正  
嵯 みるれとん見えず葦

00 94 | 05 ゆきのふれ は ゆきしふれ は 為延

00 94 | 06 「赤人」〔ナシ〕伊公弘尊

00 95 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊益戊》久鳳正嵯 《益ハ  
『古筆学大成』模本ニヨル》【拾遺抄一五、拾遺一六、六帖、  
躬恒】

00 95 | 01 かをとめて

00 95 | 02 たれをらさらむ たれにかみせむ嘉 たれをらさらん 久 た  
れかこさらん 嵯

00 95 | 03 めのはな んめのはな 雲

00 95 | 04 あやなしかすみ

00 95 | 05 たちなかくしそ たちなへたてそ 葦延益 たちなつたてそ  
為

00 95 | 06 「躬恒」〔ナシ〕公弘尹尊益 《三常》葦

00 98 | 00 《延嘉》貞鳳正 《嘉ハ九四ノ次、》貞鳳正ハ片仮名細字書  
入】

00 98 | 01 むめのはな

00 98 | 02 それともみえず

00 98 | 03 ひさかたの

00 98 | 04 あまきる雪の

00 98 | 05 なへてふれ は

z0 08 | 06 「躬恒」〔人丸(或本人之)〕嘉 《江本漏之 或本》鳳 《人  
丸 江本漏之》正

10 00 | 16 紅梅 紅梅〔別無題〕「別筆」為 《紅梅》「行間別筆書入」  
久

00 96 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊益多戊》久鳳正嵯 《益  
ハ『古筆学大成』模本ニヨル》【元氏長慶、佳句】

00 96 | 01 梅含鶏舌兼紅氣

00 96 | 02 江弄瓊花帶碧文 江弄瓊 (瓊) 花帶碧文 「異体字カ」延 《三  
木》散緑文・帶碧文

00 96 | 03 「元」〔ナシ〕公尊 《元積 早春尋李校書》「延」正ハ作者  
名ガ後 為延 正《元積 元慎、延》《元 早春》京 《元 早  
春尋李校書》鳳

00 97 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊益多戊》久鳳正嵯 《益  
ハ『古筆学大成』模本ニヨル》【文粹】

00 97 | 01 浅紅鮮娟 浅江鮮娟 「★雲ハ江ノ篇部ヲ糸ニ直ス」関雲 浅紅  
鮮娟、為 浅紅鮮娟、弘嘉京戊 嵯〔嬋 嬋(鮮イ) 嘉★京〕浅  
紅鮮娟、益

00 97 | 02 仙方之雪愧色 仙方之雪愧色 「朱」為

00 97 | 03 濃香芳郁 濃香芬郁、城関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊益多戊 久  
鳳正嵯

00 97 | 04 妓鑪之煙讓薰 妓炉之衣讓薰、尊

00 97 | 05 「正道」関★雲 《ナシ》公尊 《橘正通 繞簷梅正開  
序》「延」正ハ作者名ガ後 為延嘉 正《簷 簷、嘉》《橘  
正通 繞簷梅正開序》京 《橘正通》戊 嵯 《繞簷梅正開序  
正通》鳳

00 98 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊多戊》久鳳正嵯 《  
00 98 | 01 有色易分残雪底 有(看江) 色易分残雪底 鳳

- 00 98 | 02 無情難計夕陽中 | 無情難弁夕陽中、城関雲公葦寂為弘延尹嘉  
京尊多戊▼久鳳正嵯
- 00 98 | 03 「中書王」 | 「字前中書王」 | 「書王ハ推読」 | 城 | 「前中書王」 | 「嵯  
ノ王ハ切斷」 | 関雲葦寂尹戊▼嵯 | 「ナシ」 | 公尊 | 「前中書王  
賦庭前紅梅」 | 「延▼正ハ作者名方後、  
正 | 「後中書王」 | 弘 | 「前中書王 兼明 庭前紅梅」 | 京 | 「前書  
王 庭前紅梅」 | 多
- 00 99 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊多戊▼久鳳正嵯》 | 【  
00 99 | 01 仙白風生空簸雪
- 00 99 | 02 野鑪火暖未揚煙 | 野炉火暖未揚煙、尹尊戊▼鳳正
- 00 99 | 03 「齊名」 | 「ナシ」 | 公尊 | 「紀齊名 紅梅花下即時」 | 「延▼正ハ  
作者名方後」 | 為延▼正 | 「紅梅花下 | 紅梅花下▼正」 | 「時 | 事★延  
▼正」 | 「紀 齊名イ本」 | ★弘 | 「齊名 紅梅下即時」 | 嘉 | 「齊名  
紅梅下即時」 | ▼鳳
- 01 00 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊多戊▼久鳳正嵯》 | 【古今  
三八、六帖、友則】
- 01 00 | 01 きみならて | きみなくて城為
- 01 00 | 02 たれにかみせむ
- 01 00 | 03 ゝめの花 | んめのはな葦
- 01 00 | 04 いろをもかをも | いろをもかをん伊 | いろをんかをも関 | いろ  
をんからも | 「らカ」 | 雲
- 01 00 | 05 しるひとそしる
- 01 00 | 06 「友則」 | 「ナシ」 | 公弘尊 | 「紀友則」 | 為延▼正
- 01 01 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊多戊▼久鳳正嵯》 | 【新古今  
一四四五】
- 01 01 | 01 いろかをば
- 01 01 | 02 おもひもいれす | おもひもよらす城 | おんひもしら | (いれ) | す  
関 | おんひん | いれす雲
- 01 01 | 03 むめのはな
- 01 01 | 04 つねならぬよに
- 01 01 | 05 よそへてそみる
- 01 01 | 06 「華山院御製」 | 「花山院御製」 | 城関雲為 | 「華山御製」 | 雲 | 「ナ  
シ」 | 公弘尊 | 「花山院御製」 | 葦為延尹嘉京戊▼正嵯 | 「華山院」  
寂 | 「花山院」 | ▼久
- 10 00 | 17 柳
- 01 02 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊多戊▼久鳳正嵯》 | 【文集、佳  
句】
- 01 02 | 01 林鶯何処吟箏柱
- 01 02 | 02 墻柳誰家曝麴塵 | 墻柳誰家曬麴塵 | 「公、校本ハ墻ノ篇部ヲ牛  
トミルガ、八七・五七三ノ例モ同体デアリ書癖カ」 | ★関★雲  
公葦為延尹★尊▼鳳 | 墻柳誰家曝麴塵▼久
- 01 02 | 03 「白」 | 「ナシ」 | 公尊 | 「白 天宮閣早春」 | 「延▼正ハ作者名ガ  
後」 | 為延▼正
- 01 03 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊多戊▼久鳳正嵯》 | 【▼嵯ノ  
一〇三八一〇五ノ次】 | 【文集】
- 01 03 | 01 漸欲扞他騎馬客 | 漸欲扞池。(他イ) 騎馬客、★伊
- 01 03 | 02 未多遮得上樓人 | 未而遮得上樓人、寂
- 01 03 | 03 「白」 | 「新柳 同」 | 城関雲 | 「白 新柳」 | 「葦久ハ作者名ト詩題  
ガ逆」 | 伊葦▼久 | 「ナシ」 | 公尊 | 「喜小樓西新柳抽条 白」 | 「延  
ノ抽ハ袖カ」 | 為延 | 「賦新柳 白」 | 嘉 | 「白 新柳抽条」 | 京 | 「喜  
小樓西 新柳 抽条(七六) 白」 | ▼鳳
- 01 04 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊多戊▼久鳳正嵯》 | 【文集、佳  
句】
- 01 04 | 01 巫女廟花紅似粉
- 01 04 | 02 昭君村柳翠於眉 | 照君村柳翠於眉、★弘

- 01 04 | 03 〔白〕〔ナシ〕城関雲公葦尊▼久〔白〕十七 題峽中石上  
 〔▼正ハ作者名ガ後、「題峽中石上」ハ後補〕為▼正〔題峽  
 中石上 白〕延嘉〔白 題峽中石上(二七)〕▼鳳
- 01 05 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊戊▼久鳳正嵯》【文集】
- 01 05 | 01 誠知老去風情少 誠〔知〕老去風情少、寂
- 01 05 | 02 見此争無一句詩
- 01 05 | 03 〔白〕〔已上白〕〔城ハ推読〕城関雲〔白 同上〕伊〔ナシ〕  
 公尊〔同前〕為▼正〔同〕★延▼鳳〔已上白 同上〕嘉
- 01 06 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊戊▼久鳳正嵯》【】
- 01 06 | 01 大庾嶺之梅早落
- 01 06 | 02 誰問粉粧 誰問粉、葦
- 01 06 | 03 匡廬山之杏未開 匡廬之杏未開、★尊
- 01 06 | 04 豈趁紅艷 豈赴紅艷▼嵯
- 01 06 | 05 〔江納言〕〔ナシ〕公尊〔紀納言 停盃看柳色序〕為★京  
 〔序ナシ京〕〔停盃看柳色序内宴 紀納言〕延〔江納言  
 停盃看柳色〕〔▼正ハ作者名ガ後〕尹▼正〔色〕色序、▼正〕  
 〔後江相公 内宴停盃看柳色序〕嘉〔停盃看柳色序 紀納言  
 内宴序〕▼鳳〔紀納言〕▼嵯
- 01 07 | 00 《粘城伊関公葦寂為弘延尹嘉京尊戊▼久鳳正嵯》【雲ナシ】【】
- 01 07 | 01 雲擎紅鏡扶桑日 雲擎紅鏡枝。(扶) 桑日〔★公ハ堀部校本指  
 摘アルガ、傍記ミエズ、略号弘ノ誤リカ〕★公★弘 雲擎紅  
 鏡扶桑白、★尊
- 01 07 | 02 春嫋黃珠嬾柳風 春嫋黃珠嫩柳風、★伊戊 春嫋黃珠嬾。(嫩)  
 柳風〔朱〕尹
- 01 07 | 03 〔□〕〔磨損不明〕粘〔田〕城関〔ナシ〕伊公葦尊〔田達音]  
 寂弘尹戊▼正嵯〔田達音 早春即時贈唐客駱処士〕為〔早

- 01 08 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊戊▼久鳳正嵯》【】
- 01 08 | 01 稽宅迎晴庭月暗 嵇宅迎晴庭月暗、城伊関雲公葦寂為弘延尹  
 嘉京尊戊▼鳳正
- 01 08 | 02 陸池逐日水煙深
- 01 08 | 03 〔後中書王〕〔柳影繁初合 後中初王〕〔合ハ推読〕城〔後  
 筆デ柳影繁初合ヲ書ク〕雲〔ナシ〕公葦尊〔柳影繁初合  
 後中書王〕為延尹嘉▼久鳳正〔合分、尹〕〔後中書王 柳影  
 繁初〕弘〔後中書王 柳影繁初合 具平〕★京〔王ハ切断ニ  
 カカル〕▼嵯
- 01 09 | 00 《粘城伊関雲葦寂為弘延尹嘉京尊戊▼久鳳正嵯》【公ナシ】【類  
 聚句題抄】
- 01 09 | 01 潭心月泛交枝桂 潭心月浮。(泛) 交枝桂〔朱〕為 潭心月泛。(浮  
 イ) 交枝桂、京
- 01 09 | 02 岸口風来混葉蘋
- 01 09 | 03 〔菅三品〕〔垂柳払緑水 菅三品〕〔城ノ緑水ハ推読〕城為  
 弘延尹嘉▼久鳳正〔柳揚、尹嘉▼鳳正〕〔緑水流水、尹〕〔文  
 時〕〔雲ハ後筆デ垂柳払緑水ヲ書ク〕関雲〔菅三〕寂〔文時イ  
 垂揚払緑水 菅三品 垂揚払緑水〕★京〔ナシ〕尊〔菅〕  
 ▼嵯
- 01 10 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊戊▼久鳳正嵯》【葦ハ一  
 一ノ次】【古今二六、新撰和歌、六帖、貫之】
- 01 10 | 01 あをやきの
- 01 10 | 02 いとよしかくる
- 01 10 | 03 はるしもそはるしんぞ雲

- 01 10 04 みたれてはなはみたれてはなの城関雲▼鳳  
 01 10 05 ほころひにけるほころひにけり弘延  
 01 10 06 〔貫之〕〔ナシ〕城関雲公弘尊〔兼輔中納言〕尹  
 01 11 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊戊▼久鳳正嵯》〔葦八一〇ノ前、嘉京八一二ノ次〕〔六帖、人麿〕  
 01 11 01 はるくれは  
 01 11 02 したりやなきのしたりやなきに寂為京尊したりのやなきの延  
 01 11 03 まよふいとの  
 01 11 04 いもかこゝろにいんかこゝろに雲いもかこゝろもに延  
 01 11 05 なりにけるかなのりにけるかな城関雲公葦戊▼久いりにけるかな伊為嘉京よりにけるかな〔延ハよカ〕寂延尹尊▼鳳正嵯  
 01 11 06 〔ナシ〕〔同〕寂〔兼輔中納言〕為▼久〔伊勢〕延尹戊〔貫之〕嘉〔中納言兼輔〕▼鳳〔兼輔〕▼正〔同人〕▼嵯  
 01 12 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊戊▼久鳳正嵯》〔嘉京八一ノ前〕〔兼輔〕  
 01 12 01 あをやきのあをきの延  
 01 12 02 まゆにこもれるまつにこもれる城ゆきにこもれる京  
 01 12 03 いとなれはいとなれや城関雲  
 01 12 04 くのくるにそ  
 01 12 05 いろまさりけるまゝせたりける寂  
 01 12 06 〔中納言兼輔〕〔兼輔中納言〕〔校本ハ雲ノ兼輔中納言ヲ後補トミルガイカガ〕城関★雲葦京戊▼嵯〔ナシ〕公弘尊〔堤中納言〕寂〔同〕為▼久鳳正〔兼輔〕延〔貫之〕尹  
 10 00 18 花〔付落花〕花、城関雲公葦寂為弘延嘉京尊▼正華、戊  
 01 13 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊戊▼久鳳正嵯》  
 01 13 01 花明上苑華明上苑、延

- 01 13 02 輕軒馳九陌之塵  
 01 13 03 猿叫空山  
 01 13 04 斜月瑩千巖之路  
 01 13 05 〔閑賦〕〔ナシ〕公尊〔張詠〕為尹嘉〔閑賦〕張詠★延★京▼鳳正嵯〔詠絃▼嵯〕〔閑賦〕張詠 白イ京  
 01 14 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹京尊戊▼久鳳正嵯》〔嘉ナシ〕〔文集、佳句〕  
 01 14 01 池色溶々藍染水池色浴々藍染水、公  
 01 14 02 花光焰々火烧春  
 01 14 03 〔白〕〔ナシ〕公尊〔白〕早春招張賓客〔延▼正ハ作者名ガ後、京ノ詩題ハ別筆、賓客ハ切斷ニヨリ不明〕為延京▼正〔白〕早春尹〔白〕早春招張賓客〔七四〕▼鳳  
 01 15 00 《粘城伊関雲葦寂為弘延尹嘉京尊戊▼久鳳正嵯》〔公ナシ〕〔文集、佳句〕  
 01 15 01 遙見人家花便入遙見人家〔花〕便入▼久  
 01 15 02 不論貴賤与親疎  
 01 15 03 〔白〕〔同〕城関雲▼久〔白〕尋春題諸家林園〔延▼正ハ作者名ガ後、京ノ詩題ハ別筆〕為延京▼鳳正〔春花▼鳳〕〔林園〕園林、京ナシ▼正〔ナシ〕尊  
 01 16 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊戊▼久鳳正嵯》〔文粹〕  
 01 16 01 瑩日瑩風  
 01 16 02 高低千顆万顆之玉高低子顆万顆之玉〔コレ以前ニモ千ガ子トナル例有、堀部ハ採ラナイガ、惠阪ハ採ル〕★公高低千顆万顆之珠、弘  
 01 16 03 染枝染浪染枝染波、関雲弘尹京

01 16 | 04 表裏一入再入之紅 | 表裏一人再入之紅、城 | 表一入再入之紅、公

01 16 | 05 「花光浮水上」菅三品 | 「花光水上浮」菅三品 | 「嗟ハ作者名方先」城関雲為 | 久嗟 | 「ナシ」公葦寂尊 | 「花光水上浮」菅三品 | 冷泉院宴序 | 為 | 「菅三品」弘 | 「冷泉院宴」花光水上浮 | 序 | 菅三品 | 延尹嘉 | 鳳正 | 冷泉院宴 | ナシ | 尹嘉 | 鳳 | 「花光」菅光、嘉 | 「水上浮」浮水上、尹嘉 | 正 | 「冷泉院宴会序」菅三品 | 花光浮水上序 | 京

01 17 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊戊》久鳳正嗟 【文粹】

01 17 | 01 誰謂水無心  
01 17 | 02 濃艶臨兮波変色 濃艶臨而波変色 | 嗟  
01 17 | 03 誰謂花不語 誰謂華不語、京 | 誰謂花不謂 (語) | 「同筆力」 | 正

01 17 | 04 輕漾激兮影動唇 輕漾激 (兮) | 影動唇、雲 | 輕漾激而影動唇 | 嗟  
01 17 | 05 「同上」 | 「同」雲 | 久鳳 | 「ナシ」公尊 | 「花光水上浮」菅三品 | 葦寂弘 | 「同前」菅三品 | 為 | 「同前」延 | 正 | 「菅三品」尹京 | 「同上」菅三品 | 嘉 | 「菅三品」同 | 嗟

01 18 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊戊》久鳳正嗟 【文粹】

01 18 | 01 欲謂之水  
01 18 | 02 則漢女施粉之鏡清瑩 則漢女施粉之鏡清瑩 | 「為ハ瑩ニ」瑩イ | ヲ傍記、久ハ「瑩」ヲ傍記 | 関雲公葦為尊 | 久鳳嗟

01 18 | 03 欲謂之花 | 欲謂 (之) | 花、★京  
01 18 | 04 亦蜀人濯文之錦粲爛 亦蜀人洗文之錦粲爛、城関雲 | 久亦蜀人濯錦之文粲爛、葦亦蜀人濯文之錦粲爛 | 「為ハ爛ニ爛ヲ朱傍記」為弘亦蜀人濯 (文之) | 錦之文粲爛 | 「修正前ハ葦ニ

01 18 | 04 亦蜀人濯文之錦粲爛 亦蜀人洗文之錦粲爛、城関雲 | 久亦蜀人濯錦之文粲爛、葦亦蜀人濯文之錦粲爛 | 「為ハ爛ニ爛ヲ朱傍記」為弘亦蜀人濯 (文之) | 錦之文粲爛 | 「修正前ハ葦ニ

致 | ★弘亦蜀人濯文錦粲爛、尹亦蜀人濯文之錦粲爛、嘉亦蜀人濯文錦之粲爛、京

01 18 | 05 「同上」順 | 「同」順 | 濯 | 正序有此字 | 城 | 「同」順 | 関雲 | 「ナシ」公尊 | 「同前」順 | 「嗟ハ作者名方先」葦弘阪 | 久嗟 | 「同題序」源順 | 為延 | 正 | 「同題序」順 | 尹 | 鳳 | 「順」京戊

01 19 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊戊》久鳳正嗟 【  
01 19 | 01 織自何糸唯暮雨  
01 19 | 02 裁無定樣任春風 裁無定樣任春風、公寂 | 裁無定主任春風、阪

01 19 | 03 「菅三品」 | 「花開如散錦」菅三品 | 「城ノ散錦ト品ハ推読」城為延尹嘉阪 | 久鳳正 | 「花開如錦散」菅三 | 関 | 「菅三」 | 「後筆」花開如散錦ヲ書ク | ★雲 | 「ナシ」公尊 | 「菅三品」花開如錦散 | 落花如散錦 | 「落花如散錦ハ一二〇ノ誤記入カ」京 | 「菅花開如藤」 | 嗟

01 20 | 00 《粘城伊関公葦寂為弘延尹嘉京尊戊》久鳳正嗟 【雲阪ナシ】  
01 20 | 01 花飛如錦幾濃粧 花飛如錦幾濃粉、寂 | 華飛如錦幾濃粧、延  
01 20 | 02 織著春風未暈箱 織者春風未暈箱 | 「底本着ニミエルガ活字本ハ著」城関公葦寂為弘延尹嘉京尊戊 | 久鳳正嗟 | 織著 (者) | 春風未暈箱、★伊 | 織者 (着) | 春風未暈箱、寂

01 20 | 03 「ナシ」 | 「源英明」落花散如錦 | 「延ハ作者名方後、正ハ「如」焼失」為延嘉 | 正 | 「英明」尹京戊 | 嗟 | 「英明」落花散如錦 | 鳳

01 21 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊戊》久鳳正嗟 【城ハ  
一一九ノ次】

01 21 | 01 始識春風機上巧



- 01 21-02 非唯織色織芬芳 非(唯)織色織芬芳、戊
- 01 21-03 「英明」 「明ハ推読」 城 「ナシ」 公尊戊 「英明 同前」 為  
〔同前〕 延 ▼ 正 「同」 尹嘉 ▼ 鳳 嵯 「同前 白イ」 京
- 01 22-00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊戊長阪 ▼ 久鳳正嵯》 【
- 01 22-01 眼貧蜀郡裁殘錦 眼貧蜀郡裁殘錦、関 眼貧蜀郡裁殘錦、寂 眼  
貧蜀郡裁殘、長
- 01 22-02 耳倦秦城調尽箏 耳倦秦城調尽箏、伊公長 「校本ハ倦ノ旁ノ  
部分デ異同有トスルガ、卷ノ崩シト判断、校異削除」 ★葦 耳  
倦秦城調尽箏、寂
- 01 22-03 「相規」 「花少鳥亦稀 保胤」 「城ノ少鳥ハ推読」 城阪長 「校  
本ハ後筆デ花少鳥亦稀ヲ書クトスルガ、相規モ後補力」 雲  
「ナシ」 公尊 「花少鳥又稀 源相規」 「京ハ詩題方後」 為延  
嘉京 ▼ 正(又亦、京 ▼ 正) 「相規 保胤」 弘 「花少鳥亦稀  
相規」 ▼ 久鳳(亦又 ▼ 鳳) 「保胤」 ▼ 嵯
- 01 23-00 《粘城伊関雲公葦寂為延尹嘉京尊戊長阪 ▼ 久鳳正嵯》 「弘ハ  
一三二マデナシ」 【古今五三、新撰和歌、六帖、業平】
- 01 23-01 世中よのなかに城伊関雲公葦寂為延尹嘉京尊戊長阪 ▼ 久鳳正  
嵯 □の□□に「磨損」 寂
- 01 23-02 たえて桜のたえさくら の ▼ 久
- 01 23-03 なかりせはさかさらは城関雲公葦寂長 なかりせ(サカサラ)  
は「朱」 ▼ 鳳
- 01 23-04 たるのころは
- 01 23-05 のとけからまし
- 01 23-06 「ナシ」 「業平」 城関雲葦寂為尹京戊長阪 ▼ 鳳正 「在原業  
平」 延嘉 ▼ 久 「業平朝臣」 ▼ 嵯
- 01 24-00 《粘城伊関雲公葦寂為延尹嘉京尊戊長阪 ▼ 久鳳正嵯》 「弘ハ一  
三二マデナシ」 【古今六七、六帖、躬恒】

- 01 24-01 わかやとのわかやとに ▼ 嵯
- 01 24-02 はなみかてらに
- 01 24-03 くる人は
- 01 24-04 ちりなむのちそ ちりなんのちや延 ちりなんのちは (そ)  
京
- 01 24-05 恋しかるへき
- 01 24-06 「躬恒」 「ナシ」 公尊 「三常」 葦
- 01 25-00 《粘城伊関雲公葦寂為延尹嘉京尊戊 ▼ 久鳳正嵯》 「弘ハ一三  
二マデナシ」 【古今五五、新撰和歌、六帖、素性】
- 01 25-01 みてのみや
- 01 25-02 人にかたらむ
- 01 25-03 山桜 さくらはな城関雲延嘉京 ▼ 嵯
- 01 25-04 てことにをりて
- 01 25-05 いへつとにせむ
- 01 25-06 「素性」 「ナシ」 公尊 「同(素性イ)」 京
- 10 00-19 落花 落華、嘉 「落花」 「行間別筆書入」 ▼ 久
- 01 26-00 《粘城伊関雲公葦寂為延尹嘉京尊戊 ▼ 久鳳正嵯》 「弘ハ一三  
二マデナシ」 【文集】
- 01 26-01 落花不語空辞樹 落華不語空辞樹、京
- 01 26-02 流水無心自入池 流水無心自入池々、公 流水無情自入池、為  
▼ 嵯 流水無情(心) 自入池 「朱」 為
- 01 26-03 「白」 「ナシ」 公尊 「白 過元家履信宅」 為 「遭元家履信宅  
白」 「白ハ同カ」 延 「白 過履信元家宅(六七)」 ▼ 鳳
- 01 27-00 《粘城伊関雲公葦寂為延尹嘉京尊戊 ▼ 久鳳正嵯》 「弘ハ一三  
二マデナシ」 【文集、佳句】
- 01 27-01 朝踏落花相伴出 朝踏花落相伴出、為 朝踏落華相伴出 ▼  
嵯

- 01 27 | 02 暮随飛鳥一時帰 暮随飛鳥一時帰(還) ▼鳳 暮随飛鳥一時還 ▼正
- 01 27 | 03 「白」(「ナシ」)関雲公寂尊 (「同」葦)「白 春来与李廿二賓客 郊外同遊贈之」「延ハ作者名方後」為延 (「白 与李賓郊外同 遊贈之」)▼鳳
- 01 28 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為延尹嘉京尊戊▼久鳳正嵯》「弘八一三二 マデナシ」【文粹】
- 01 28 | 01 春花面々
- 01 28 | 02 闌入酣暢之筵 闌入酣暢之筵 「校本ハ筵ノ竹冠ト草冠ヲ区別 シナイカ、惠阪校本モ同ジ、関雲京戊▼正嵯ハ筵」城伊関雲 公葦寂為延尹嘉京尊戊▼鳳正嵯 闌(闌)入酣暢之筵▼久
- 01 28 | 03 晚鶯声々 晚鶯声、葦 晚鶯声々、為尊 晚(晚)鶯声々「朱」 為晚(晚イ)鶯声々「鳳ハ「イ」ナシ、左側傍記」京▼鳳
- 01 28 | 04 予参講誦之座 与参講誦之座、城関雲公葦 与(予イ) 参講誦 之座、京 興(予) 参講誦之座「興ニ圈点、ミセケチノ意カ」 ▼久
- 01 28 | 05 「江」(「ナシ」)公尊 (「江相公」)寂尹▼久 (「後江相公 春日侍 前鎮西都督大王誦史記序」為嘉(序)宴序、嘉)「(史記竟宴序 後江相公)延 (「後」江相公 史記竟宴序)京 (「後江相公」 戊▼嵯 (「史記竟宴序 春日陪都督大王誦史記序 江相公」)▼ 鳳 (「大王誦史記竟序 後江相公」)▼正
- 01 29 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為延尹嘉京尊戊▼鳳正嵯》「弘八一三二 マデナシ」【屏風土代】
- 01 29 | 01 落花狼籍風狂後
- 01 29 | 02 啼鳥竜鐘雨打時 啼鳥竜鍾雨打時、城京戊 啼鳥躑躅雨打時 ▼ 正
- 01 29 | 03 「江」(「ナシ」)公尊 (「後江相公 惜残春」)▼正ハ作者名方

- 01 30 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為延尹嘉京尊戊▼鳳正嵯》「弘八一三二 マデナシ」
- 01 30 | 01 離閣鳳翎憑檻舞 離閣鳳翎憑檻舞「★校本ハ閣を閣トスル、要 検討、公モピントガ甘クテ難判断、▼正ノ閣ハ各ニ削訂カ」 城関雲延京尊戊▼鳳正嵯(翎)翔▼正(憑)縁▼嵯 離閣鳳翅 憑檻舞、尹 離閣鳳(劍ノ篇十羽) 憑檻舞、嘉
- 01 30 | 02 下楼娃袖顧階翻 下栖娃袖顧階翻、★京
- 01 30 | 03 「菅三品」(「落花還繞樹 菅三品」)「城ノ還ト品ハ推読」城 為延嘉京▼鳳(還 遠、嘉)(繞 遶★京▼鳳)「(文時)」「雲ハ後 筆デ落花遠繞樹ヲ書ク」関雲(「ナシ」)公尊 (「菅三品 落花 遂樹」)「ヨイカ」▼嵯
- 01 31 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為延尹嘉京尊戊▼鳳正嵯》「弘八一三二 マデナシ」【拾遺抄四二、拾遺六四、新撰和歌、六帖、亭子 院歌合、貫之】
- 01 31 | 01 さくらちる
- 01 31 | 02 このしたかせは
- 01 31 | 03 さむからてさむ□□て「磨損」寂
- 01 31 | 04 そらにしられぬそら□□られぬ「磨損」寂
- 01 31 | 05 雪そふりける
- 01 31 | 06 「貫之」(「ナシ」)伊公尊
- 01 32 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為延尹嘉京尊戊▼鳳正嵯》「弘八一三二 マデナシ」【拾遺抄三九七、拾遺一〇五五、公忠】
- 01 32 | 01 とのもりの
- 01 32 | 02 とものみやつことものみやつら城とんのみやつこ雲とも

の□□□□「磨損」寂とものみや人延尹京  
01 32 03 心あらは

01 32 04 このはるはかりこのころはかり城伊関雲公葦この□□□□  
□「磨損」寂

01 32 05 あさきよめすなあさき□□□□な「磨損」寂

01 32 06 「ナシ」南殿前落花 公忠城関雲葦「公忠」寂戊正

「南殿落花 公忠」為「嵯」源公忠延「南殿御前落花 源  
公忠」京「公忠 南殿前落花」鳳

10 00 20 藤「粘伊以外、城関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊戊」鳳正嵯ハ  
款冬一四三ノ後、春ノ末尾

01 33 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊戊》鳳正嵯【文集、佳  
句】

01 33 01 悵望慈恩三月尽 悵望慈恩三月尽、葦正

01 33 02 紫藤花落鳥関々 紫藤落花鳥関々、為【三木】文集「紫桐」

01 33 03 「白」「ナシ」公尊▼嵯「白 酬元八三月卅日慈恩寺見寄」

「延ハ作者名ガ後」為延「遊慈恩寺有藤花 白」京「白 酬  
三月卅日慈恩寺相憶見寄（二六）」鳳

01 34 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊戊》鳳正嵯【

01 34 01 紫藤露底残花色 紫藤露底（下イ）残花色、延

01 34 02 翠竹煙中暮鳥声

01 34 03 「相規」四月有余春 相規城葦尹「後筆デ四月有余春  
ヲ書ク」雲「ナシ」公尊「四月有残花 源相規」為▼正「残

花 余春▼正」源相規弘「四月 源相規」延「四月余春  
相規」嘉「相規 四月有余花（春イ）」京「四月有余春（花  
相規）▼鳳

01 34 04 《為弘延尹京》鳳正「本文ハ校本ニヨル（弘カ）、為ハ「此  
詩無之」ト朱注、尹ハ「本無」、京ハ「イ本无」ト有、▼鳳

01 36 01 ときはなる

01 36 02 まつのなたてにまつのなた「て」に城「なたてニ削訂、見  
□りカ」▼鳳

01 36 03 あやなくもあやなくん関雲あやしくも戊

01 36 04 かゝれるふちの

01 36 05 さきてちるかなさきてちる（にける）かな京

01 36 06 「貫之」「ナシ」公寂尊

01 36 07 《逸成》【

ハ細字書入、「此詩漏于江本」ト頭注有、▼正八一三三ノ次

01 36 08 紫茸偏奪朱衣色

01 36 09 応是花心忘憲台是花光（心イ）応忘憲台、京応是花光「時」  
忘憲台、▼鳳

01 36 10 「順」「翫庭前藤花」為「翫庭前藤花 源順」延▼正「ナ  
シ」京「於御史中丞亭翫藤花 順」▼鳳

01 36 11 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊戊》鳳正嵯【万葉、拾  
遺八八、六帖】

01 36 12 たこのうらにたこのうらの葦寂尹京尊戊▼鳳正嵯「たこのう  
ら嘉

01 36 13 そこさへにほふそらさへにほふ戊

01 36 14 ちなみをちの花、尹戊▼鳳

01 36 15 かさしてゆかむ

01 36 16 みぬひとのため

01 36 17 「繩丸」「ナシ」城公尊戊「中納言繩丸」延尹「繩（蠅）丸」  
京「人丸 或家持」▼鳳

01 36 18 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊戊》鳳正嵯【六帖、貫  
之】

01 36 19 ときはなる

01 36 20 まつのなたてにまつのなた「て」に城「なたてニ削訂、見  
□りカ」▼鳳

01 36 21 あやなくもあやなくん関雲あやしくも戊

01 36 22 かゝれるふちの

01 36 23 さきてちるかなさきてちる（にける）かな京

01 36 24 「貫之」「ナシ」公寂尊

01 36 25 《逸成》【

- z0 10 | 01 夏にこそ
- z0 10 | 02 さきかゝりけれ
- z0 10 | 03 藤のはな
- z0 10 | 04 まつにとのみも
- z0 10 | 05 おもひける哉
- 10 00 | 21 躑躅
- 01 37 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為延尹嘉京尊戊▼鳳正嵯》「弘八一三九  
マデナシ」【文集、佳句】
- 01 37 | 01 晚蕊尚開紅躑躅 晚蕊尚開紅、葦
- 01 37 | 02 秋房初結白芙蓉 秋房始結白芙蓉、関雲★延尹▼鳳正 秋房初  
結日芙蓉、葦 秋房初□白芙蓉「摩損」寂
- 01 37 | 03 「白」(ナシ)公尊「白 題元十八溪居」為「(題元十八□□  
白)「磨損」延▼正(□□溪居▼正)
- 01 38 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為延尹嘉京尊戊▼鳳正嵯》「弘八一三九  
マデナシ」
- 01 38 | 01 夜遊人欲尋来把 夜遊人欲尋来抱、嘉夜遊人欲尋来把。(康  
「朱」為
- 01 38 | 02 寒食家応折得驚
- 01 38 | 03 「順」(山榴艶似火 順)「城ノ艶ハ推読、京ハ詩題ガ後」  
城為尹嘉京▼鳳正(似如▼正)「後筆デ山榴艶似火ヲ書ク」  
雲「(ナシ)公尊」(山榴艶似火 源順)延
- 01 39 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為延尹嘉京尊戊▼鳳正嵯》「弘八一三九  
マデナシ」【古今四九五、新撰和歌】
- 01 39 | 01 おもひいつる おんひいつる 関雲
- 01 39 | 02 ときはのやまの□□□のやまの「摩損」寂
- 01 39 | 03 いはつゝし□はつゝし「摩損」寂
- 01 39 | 04 いはねはこそあれ いはねはそある 尹
- 01 39 | 05 恋しきものを

- 01 39 | 06 「ナシ」(定文)城「貞文」関京「後筆デ「平」定文詠云々  
ヲ書ク」雲「(平定文)為延嘉戊▼鳳正嵯」(貞文(平定文イ)  
京
- 10 00 | 22 款冬「々々者山不々幾也」関雲「款冬「々々者山不々幾欲  
讒誤也云々」為款冬「々々者山不幾也俗説誤云々」▼正ハ後  
筆注記」益▼正ナシ弘
- 01 40 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊益戊▼鳳正嵯》
- 01 40 | 01 点着雌黄天有意
- 01 40 | 02 款冬誤綻暮春風 款冬誤綻暮春風▼嵯
- 01 40 | 03 「ナシ」(白)★葦「清慎公」(嵯ハ切断ニヨリ「公」ヨメ  
ズ)寂尹嘉京▼嵯「清慎公 題可尋」(弘延▼正ハ作者名ガ  
後)為弘延▼正「清慎公(田達音) 題可尋」(朱)為「清慎  
公 田達音イ」京「(田達音)戊」(題款冬 清慎公)▼鳳
- 01 41 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊益戊▼鳳正嵯》
- 01 41 | 01 書窓有卷相收拾「校本ハ卷ニ校異ヲ採ルガ異体字トミナス」  
★葦
- 01 41 | 02 詔紙無文未奉行 詔無文未奉行、公詔紙無文未奉行、益
- 01 41 | 03 「保胤」(ナシ)公尊「(慶保胤 題黄花)「弘延▼正ハ作者名  
ガ後」為弘延▼正「(保胤 題蕙花)「蕙ニ黄ヲ傍記」★京「(保  
胤 題黄花)▼鳳
- 01 42 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊益戊▼鳳正嵯》【万葉、六  
帖】
- 01 42 | 01 かはつなく
- 01 42 | 02 かみなひかはに 神並川に公 神なひかはに葦益戊▼鳳かみ  
なみかはに為弘嘉 神なみ河に延かみなひ山に嘉京かみな  
ひ山に(川に)の 嘉神なひ山(河)に戊 神なひやまに▼  
嵯

- 01 42 | 03 かけみえて
- 01 42 | 04 いまやちるらん | いまやさくらん 「嘉ノんハ不明」 城関雲葦  
寂為弘延尹嘉京尊益戊▼鳳正嵯 | 今歟臨嵐 「臨カ」 公 | いまか  
さくらん、★尊
- 01 42 | 05 やまふきのはな
- 01 42 | 06 「厚見女王」 | 「厚見女王」 城関雲葦寂為京益▼嵯 | 「ナシ」 公  
尊戊 | 「女王」 弘延 | 「厚見王」 尹▼鳳 | 「厚見女王」 (貫之イ) |  
京 | 「広見女王」▼正
- 01 43 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊益戊▼鳳正嵯》「京ナシ」【拾  
遺抄四九、拾遺七二】
- 01 43 | 01 わかやとの
- 01 43 | 02 やへ山吹は | やへやまふきの★伊為延益▼鳳嵯 野邊の山吹、  
尹 | やへのやまふき尊
- 01 43 | 03 ひとへたに | ひとえたに 「他本」 城戊 | ひと枝に尹
- 01 43 | 04 ちりのこらなん | ちりのこりなん延
- 01 43 | 05 はるのかたみに | 「校本」 七字写し誤り右旁に訂正せり | ト  
スル、傍記ハはるのかたみな「アルカ」 城
- 01 43 | 06 「兼盛」 | 「ナシ」 城公尊 | 「兼盛」 | 「底本粘ト異同無」★伊 | 「平  
兼盛」 嘉 | 「兼盛」 ヨミ人シラス ユ、シウヨキ▼鳳
- 20 00 | 01 夏
- 20 00 | 02 更衣
- 01 44 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊益戊▼鳳正嵯》【文集、佳  
句】
- 01 44 | 01 背壁残灯経宿焰 | 背壁灯残経宿焰、 城公葦寂為弘延尹嘉京尊  
戊▼鳳正嵯
- 01 44 | 02 開箱衣帯隔年香
- 01 44 | 03 「白」 | 「ナシ」 公尊 | 「白」 早夏晚興 | 「為ハ朱デ」 晚 | 「ニ」 暁  
ヲ傍記、延ハ作者名ガ後」 為延 | 「白」 早夏晚興 | 「▼正ハ作

- 者名ガ後」 京▼正 | 「白」 早夏晚興贈 夢得(七七)▼鳳
- 01 45 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊益戊▼鳳正嵯》【文章】
- 01 45 | 01 生衣欲待家人着
- 01 45 | 02 宿釀当招邑老酣
- 01 45 | 03 「讚州作 菅」 | 「菅」 伊寂戊▼嵯 | 「ナシ」 公尊 | 「三月廿六日  
讚州作 菅」 | 「為ハ」 惜春也 | ヲ朱書 | 為▼鳳 | 「菅丞相」 弘  
「三月廿六日 菅丞相」 延▼正 | 「廿十▼正」 | 「讚州」 尹 | 「菅  
讚州ニテ作」 京
- 01 46 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊益戊▼鳳正嵯》【拾遺抄五  
五、拾遺八一、六帖、重之】
- 01 46 | 01 はなのいろに | はなのいろに 城
- 01 46 | 02 そめしたもとの | そめしおもひの延 | そめし袖の嘉
- 01 46 | 03 をしければ
- 01 46 | 04 ころもかへうき | ころんかへうき 関雲
- 01 46 | 05 今日にもあるかな
- 01 46 | 06 「ナシ」 | 「重之」 伊為弘尹戊▼鳳正 | 「貫之」 | 「朱」 寂 | 「源重  
之」 嘉 | 「貫之」 重之イ▼嵯
- 20 00 | 03 首夏
- 01 47 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊益戊▼鳳正嵯》【文集、佳  
句】
- 01 47 | 01 甕頭竹葉経春熟
- 01 47 | 02 階底薔薇入夏開
- 01 47 | 03 「白」 | 「ナシ」 公尹尊 | 「白」 薔薇正開春酒初熟 | 為延 | 「白」 ナ  
シ延 | 「白」 薔薇正開春 開初熟(二七)▼鳳
- 01 48 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊益戊▼鳳正嵯》【  
01 48 | 01 苔生石面軽衣短

- 01 48 | 02 荷出池心小蓋疎 荷出池心少蓋疎、寂葦為延 荷出池心少(小)蓋疎「朱」為荷出池水少蓋疎▼正
- 01 48 | 03 「物部安興」―「安興ハ推読」城―「安興」関雲▼嗟「ナシ」公弘尊―「物部女興」★葦―「物部安興 首夏作」―延ハ作者名ガ後―為延▼鳳「物部物陪、延」―「物部安興」嘉―「題可尋 物部安興」▼正
- 01 49 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊戊▼鳳正嗟》【拾遺抄五八、拾遺八〇、順】
- 01 49 | 01 わかやとの
- 01 49 | 02 かきねやはるを
- 01 49 | 03 へたつらんへたるらん嘉
- 01 49 | 04 なつきにけりと
- 01 49 | 05 みゆるうのはな
- 01 49 | 06 「順」―「ナシ」公葦尊戊
- 20 00 | 04 夏夜夏、延
- 01 50 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊益戊▼鳳正嗟》【文集、佳句】
- 01 50 | 01 風吹枯木晴天雨
- 01 50 | 02 月照平沙夏夜霜 月照平(平歟) 沙夏夜霜、★伊 月照平砂夏夜霜▼鳳正嗟
- 01 50 | 03 「白」―「ナシ」公尊―「白 江楼夕望」―延▼正ハ作者名ガ後―為延▼正「夕多、延」―「白 江楼夕望招客(二十)」▼鳳
- 01 51 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊益戊▼鳳正嗟》【文集、佳句】
- 01 51 | 01 風生竹夜窓間臥
- 01 51 | 02 月照松時台上行
- 01 51 | 03 「白」―「同」★関雲葦―「ナシ」公延尊―「白 早夏閑斎独処」

- 01 52 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊戊▼鳳正嗟》【
- 01 52 | 01 空夜窓閑蛩度後
- 01 52 | 02 深更軒白月明初 深更軒「白」月明初、雲 五更軒白月明初、葦 深更軒白月明時(初) 嘉 深更軒白月明前(初) 京
- 01 52 | 03 「白」―「紀」城関雲葦戊―「ナシ」公寂尊―「紀 夜飲帰房」為―「紀納言」弘尹嘉▼嗟―「紀納言 白イ」弘―「夜飲帰房 紀納言」―「京▼鳳ハ詩題ガ後、京ハ飲カ」★延京▼鳳正
- 01 53 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊戊▼鳳正嗟》【
- 01 53 | 01 なつの上を
- 01 53 | 02 ねぬにあけぬと
- 01 53 | 03 いひおきし
- 01 53 | 04 ひとつはものをや
- 01 53 | 05 おもはさりけむおもはさるらん伊尹おんはさりけむ関雲おもひさりけん延
- 01 53 | 06 「ナシ」―「人丸」城▼正嗟―「明日香王子イ或ニハ人丸」尹―「赤人」為嘉
- 01 54 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊戊▼鳳正嗟》【万葉、拾遺抄八〇、拾遺一二五、六帖、人麿】
- 01 54 | 01 ほとゝぎす
- 01 54 | 02 なくやさつきの
- 01 54 | 03 みしかよもみしかよん関雲
- 01 54 | 04 ひとりしぬれはひと「り」しぬれは「同筆」城
- 01 54 | 05 あかしかねつもあかしかねつん関あかしかねつゝ為尹
- 01 54 | 06 「人丸」―「同」城―「ナシ」公寂尹京尊戊―「弘重出、異同無」★弘―「人丸 ヨミ人シラス」▼鳳―「同人」▼嗟
- 01 55 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊戊▼鳳正嗟》【京ナシ】【古今一五六、継色紙、新撰万葉、新撰和歌、寛平御時后宮歌合】

- 01 55-01 なつのよのなつのよは為弘尹嘉戊▼正嵯  
 01 55-02 ふすかとすれは  
 01 55-03 ほとゝきすおのつかほとゝきす伊  
 01 55-04 なくひとこゑに  
 01 55-05 あくるしのゝめあくるひとこゑ(しのゝめ)「左側傍記」  
 雲  
 01 55-06 「ナシ」「貫之」城寂為弘延尹戊▼鳳正嵯「已上人丸」嘉  
 「貫之」ユ、シウヨキ 古▼鳳  
 20 00-05 端午  
 01 56-00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊戊▼久鳳正嵯》【文章】  
 01 56-01 有時当戸危身立  
 01 56-02 無意故園任脚行、無情故園任脚行、城、無心故園任脚行、公、無  
 意故園任脚行、尹尊  
 01 56-03 「艾人」菅「人ハ推読」城「菅」伊戊▼嵯「ナシ」公尊  
 「端午日賦」艾人「菅」為延▼鳳正「賦」ナシ▼鳳「菅」菅丞相  
 ▼正「菅丞相」弘「賦」艾人「菅」尹  
 01 57-00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊戊▼久鳳正嵯》「京ナシ、嵯  
 八片仮名行間補入」【頼基】  
 01 57-01 わかこまと「後筆」デコノ上カラツヲ書クカ「城」わかつまに  
 嘉わかつまと▼正  
 01 57-02 けふにあひくるけふにあひつる嘉  
 01 57-03 あやめくさ  
 01 57-04 おひおくるゝや  
 01 57-05 まくるなるらん  
 01 57-06 「頼基」「ナシ」公尊

- 01 58-00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊戊▼久鳳正嵯》【拾遺抄  
 七〇、拾遺一〇九、能宣】  
 01 58-01 きのふまで「昨まで」▼久  
 01 58-02 よそにおもひしよそにおんひし雲  
 01 58-03 あやめくさ  
 01 58-04 けふわかやとの  
 01 58-05 つまとみるかな「つまと見るらん延」  
 01 58-06 「能宣」「ナシ」公京尊「大中臣能宣」延  
 20 00-06 納涼  
 01 59-00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊戊▼久鳳正嵯》【文集、佳  
 句】  
 01 59-01 青苔地上銷残雨、青苔地上消残雨、城伊公葦寂為弘延嘉京尊  
 ▼久鳳正「青苔地上」(上歎)消残雨、★伊「青苔地上消」(銷)  
 残雨「朱」為「青苔地上消残雨」(暑)▼鳳「青苔地上銷」(消)  
 残雨▼嵯「三木」暑・雨  
 01 59-02 緑樹陰前逐晚涼  
 01 59-03 「白」「ナシ」関雲公寂尊「白」池上逐涼「京」正ハ作者名  
 方後「為延嘉京」▼鳳正「池上逐涼」池上逐涼「七六」▼鳳  
 01 60-00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊戊▼久鳳正嵯》【文集、佳  
 句】  
 01 60-01 露簾清瑩迎夜滑「★底本変更」露簾清瑩迎夜滑「校本ノ★  
 雲別ハ不審」雲寂延尹嘉京▼正「異同無」★弘  
 01 60-02 風襟蕭灑先秋涼、風襟蕭灑先秋涼、城、風襟蕭灑先秋涼、公、風  
 襟蕭灑(酒)先秋涼「朱」為  
 01 60-03 「白」「同」伊葦「ナシ」関雲公寂尊「白」池上夜憶「▼  
 正ハ作者名方後」為延▼鳳正「池上夜憶」池上夜憶「六二」▼  
 鳳「白」池上秋(夜イ)憶「京」

01 61-00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊益戊》久鳳正嵯【文集、佳句】

01 61-01 不是禪房無熱到【三木】可・不

01 61-02 但能心靜即身涼

01 61-03 〔白〕〔恒寂師房 白〕〔城ノ房ハ推読、嵯ハ作者名ガ先〕

城葦尹▼久嵯〔ナシ〕伊公尊〔恒寂師房 已上白〕〔雲ハ師

房トヨメルカ〕関雲〔已上白〕寂〔苔熱題恒寂師禪室 白〕

為〔苔熱題恒寂師禪寺 白〕延〔白 陪寂師房〕京〔苔熱

題 禪室 恒寂師房 白〕▼鳳

01 62-00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊益戊》久鳳正嵯【江史

部集、文粹】

01 62-01 班婕妤团雪之扇 斑婕妤团雪之扇、京戊▼正

01 62-02 代岸風兮長忘

01 62-03 燕昭王招涼之珠 燕昭王招涼之珠、城関雲葦京

01 62-04 当沙月兮自得 当沙月〔而〕自得、為当沙月兮自得、嘉京

戊

01 62-05 〔匡衡〕〔避暑対水石 匡衡〕〔城ノ水石ハ推読〕城関葦尹

益▼久〔後筆テ避暑対水石ヲ書ク〕雲〔ナシ〕公尊〔避暑

対水石序 江匡衡〕〔嵯ハ作者名ガ先〕為延▼嵯〔序 ナシ〕

嵯〔江匡衡〕弘〔題対水石序 江匡衡〕嘉〔匡衡 避暑対

水上〔石イ〕京〔避暑対水石序 匡衡〕▼鳳正

01 63-00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊益戊》久鳳正嵯【文章】

01 63-01 臥見新函臨水障

01 63-02 行吟古集納涼詩

01 63-03 〔菅〕〔ナシ〕公尊〔夏日偶興 菅〕為延嘉京▼鳳正〔菅 菅

丞相▼正〕〔菅丞相〕弘〔夏日偽興 菅〕尹〔菅 夏日偶興

〔奥〕京

01 64-00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊益戊》久鳳正嵯【

01 64-01 池冷水無三伏夏

01 64-02 松高風有一声秋

01 64-03 〔英明〕〔ナシ〕公尊〔源英明 夏日閑適〕為延〔英明 夏

日閑適 イ本移点也云々〕京〔英明 夏日閑遍〕嘉〔夏日閨

適 英明〕▼鳳〔夏日 英明〕▼正

01 65-00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊益戊》久鳳正嵯【六帖

01 65-01 すゝしやと

01 65-02 くさむらことにくさんからことに伊

01 65-03 たちよればたちよれと関公益立よれと。(は) 益

01 65-04 あつさそまざるあつさそまる為

01 65-05 とこなつのはな

01 65-06 〔ナシ〕〔中務〕寂弘延尹京▼正嵯〔躬恒〕嘉

01 66-00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊益戊》久鳳正嵯【麗花、

中務】

01 66-01 したくゝるしたくるゝ弘

01 66-02 みつにあきこそ〔こそハみてカ〕▼久みつにやあきの▼

嵯

01 66-03 かよふなれかよふらし城関雲公葦寂為弘延尹尊益戊▼久鳳

正嵯かよひけれ嘉

01 66-04 むすふいつみの

01 66-05 てさへすゝしきくさそすゝしき嘉てさえすゝしく京

01 66-06 〔中務〕〔ナシ〕公延尹尊〔同〕寂弘京〔同人〕▼嵯

01 67-00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉京尊益戊》久鳳正嵯【京ナシ】

【拾遺抄八三、拾遺一三一】

01 67-01 まつかけの



- 01 67-02 いはるのみつをいはるの〔水ヲ〕城  
 01 67-03 むすひつゝんすひあけて城関雲公寂為弘延尹嘉尊益戊▼久  
 鳳正嵯むすひあけて関雲公弘延尊戊▼久鳳正嵯  
 01 67-04 なつなきとしと  
 01 67-05 おもひけるかなおもひぬるかな関雲公おんひぬるかな関  
 雲思寝可那、公  
 01 67-06 〔惠慶〕〔兼盛 或本惠慶〕城〔ナシ〕伊公延尊▼鳳〔惠慶  
 法師〕為戊▼正嵯  
 20 00-07 晩夏  
 01 68-00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉里京尊戊▼久鳳正嵯》〔文集、  
 佳句〕  
 01 68-01 竹亭陰合偏宜夏  
 01 68-02 水檻風涼不待秋  
 01 68-03 〔白〕〔ナシ〕公尊〔白 和楊尚書夏日遊水亭〕為〔夏日  
 遊水亭 白〕〔京ハ詩題ガ後〕延嘉京〔白 和楊尚書夏日遊  
 水亭〕〔日〕ノ字不明〕里〔白 夏日遊永安水亭〔七八〕〕▼  
 鳳  
 01 69-00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉里京尊戊▼久鳳正嵯》〔新古  
 今二八三、忠岑〕  
 01 69-01 なつはつる  
 01 69-02 あふきとあきの  
 01 69-03 しらつゆとしらつゆは▼鳳  
 01 69-04 いつれかまつはいつれかさきに〔まつは〕〔同筆〕為いつ  
 れかさきに弘尹京  
 01 69-05 おかむとすらんをきまさるらん城寂為弘尹嘉里京戊▼嵯 歎  
 置〔止〕覽、公  
 01 69-06 〔ナシ〕〔貫之〕嘉〔凡河内躬恒〕里

- 01 70-00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉里尊戊▼久鳳正嵯》〔京ナシ〕  
 【六帖、順】  
 01 70-01 ねきこともねきことん関雲葦  
 01 70-02 きかてあらふるきかすあらふる城関雲公葦寂為弘延嘉里▼  
 久正きかすいふなり□〔あらふるかみたちも〕□ハ神ノ偏  
 部力〕城不聞荒振、公  
 01 70-03 かみたちも〔前項参照〕城かみたにも関雲葦寂為弘延尹嘉  
 尊戊▼鳳正嵯かみたにん関雲か〔み〕たちも▼久  
 01 70-04 けふはなこしとけふた〔は〕なこしと城けふはなこしの葦  
 寂▼鳳  
 01 70-05 ひとはいふなりはらへなりけり寂葦人はいふめり尹はら  
 へといふなり▼鳳  
 01 70-06 〔ナシ〕〔祓 愛宮〕城関雲葦延里▼久正嵯〔愛宮〕為〔斎  
 宮女御〕嘉〔愛子〕▼鳳  
 20 00-08 橘花 花橘、城関雲公葦寂為延尹嘉里京尊益戊▼久鳳正 盧橘、  
 弘▼嵯花〔盧 盧〕橘▼鳳  
 01 71-00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉里京尊益戊▼久鳳正嵯》〔文  
 集、佳句〕  
 01 71-01 盧橘子低山雨重 盧〔盧〕橘子低山雨重▼鳳  
 01 71-02 柗欄葉戦水風涼 柗桐葉戦水風涼、関雲 柗桐葉戦水風涼、葦  
 京里益 柗欄葉戦水風涼、寂  
 01 71-03 〔白〕〔ナシ〕公尊〔西湖晚帰望孤山寺 白〕為延嘉里  
 〔湖湘、里〕〔望 廻望、嘉〕〔孤山寺、松山寺、嘉〕〔潮寺秋興  
 白〕尹〔白 西湖晚帰望孤山寺贈諸客〔二十〕〕▼鳳  
 01 72-00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉里京尊益戊▼久鳳正嵯》  
 01 72-01 枝繫金鈴春雨後 枝繫金鈴春雨後雨、城〔校本ハ後ヲ別字トス  
 ルガ不要〕★公

- 01 72 | 02 花薰紫麝凱風程「凱ト山ト豆ト風ト同字」花薰紫麝「風」程、城華薰紫麝凱風程、嘉花薰紫麝「風程」為旁朱、里旁書「暁イ」為里
- 01 72 | 03 「後中書王」王ハ推読「城」ナシ「公尊」後中書王 盧橘為里「花橘詩 後中書王」延京▼鳳「後中書□」切斷益▼嗟
- 01 73 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為延尹嘉里京尊益戊▼久鳳正嗟》古今一三九、新撰和歌
- 01 73 | 01 さつきまつ
- 01 73 | 02 はなたちはなの
- 01 73 | 03 かをかけは
- 01 73 | 04 むかしのひとのんかしのひとの城関昔の一人、★公
- 01 73 | 05 そてのかそする
- 01 73 | 06 「ナシ」業平「寂ハ朱」寂為弘★延▼正「伊勢」嘉「詠人不知」▼嗟
- 01 74 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為延尹嘉里益戊▼久鳳正嗟》京尊ナシ、▼鳳ハ片仮名細字書入「イ有」ト付ス 六帖、新古今二四四
- 01 74 | 01 ほとゝぎす
- 01 74 | 02 はなたちはなの
- 01 74 | 03 かをとめて
- 01 74 | 04 なくはむかしのなくやむかしの▼嗟
- 01 74 | 05 人やこひしき
- 01 74 | 06 「ナシ」冷泉院御製「尹」読人不知「嘉
- 20 00 | 09 蓮
- 01 75 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為延尹嘉里京尊戊▼久鳳正嗟》弘ハ一八八マデナシ、「蓮」ノ題有「文集、佳句」
- 01 75 | 01 風荷老葉蕭条緑 風荷老葉簫条緑、城

- 01 75 | 02 水蓼残花寂寞紅 水蓼残花寂寞紅、城関雲公葦寂為延尹嘉里京尊戊▼久鳳正嗟「水蓼蓼水▼嗟」
- 01 75 | 03 「白」ナシ「公寂尊」白 縣西郊秋寄馬造「延ハ作者名ガ後」為延里「白 懸西郊秋寄贈馬造二三」▼鳳
- 01 76 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為延尹嘉里京尊戊▼久鳳正嗟》弘ハ一八八マデナシ「文集、佳句」
- 01 76 | 01 葉展影翻当砌月 葉展影当飛翻砌月「雲ハ飛ニミセケチ、翻ヲ当ノ前ニ移ス符号有、後筆力」関雲
- 01 76 | 02 花開香散入簾風
- 01 76 | 03 「白」階下蓮 白「城ノ蓮ハ推読、関ノ白ハ同カ、京ハ詩題ガ後」城関為延京里▼久鳳正「同」雲ハ後筆デ階下蓮ヲ書ク★雲葦「ナシ」公尊「已上白」寂「階下蓮」尹
- 01 77 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為延尹嘉里京尊戊▼久鳳正嗟》弘ハ一八八マデナシ「丁卯・佳句」
- 01 77 | 01 煙開翠扇清風曉
- 01 77 | 02 水泛紅衣白露秋 水浮紅衣白露天▼嗟
- 01 77 | 03 「許渾」渾ハ推読「城」ナシ「公尊」許渾 題雲陽駅四亭蓮池「延ハ作者名ガ後」為延里▼鳳「四」西、延里▼鳳「蓮池」蓮花、延蓮、里蓮江▼鳳「白 蓮池 許渾」★京
- 01 78 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為延尹嘉里京尊戊▼久鳳正嗟》雲ナシ、校本★雲校異ヲ挙グ、弘ハ一八八マデナシ
- 01 78 | 01 岸竹条低応鳥宿 岸竹枝低応鳥宿、関葦寂尹★尊戊▼鳳正嗟 岸竹枝位応鳥宿「位ニ見エルガ、他ト比較シテ低トミナスモ可」公岸竹条低鳥応宿「応ニ反転符号有」▼久
- 01 78 | 02 潭荷葉動是魚遊 潭「荷」葉動是魚遊、★伊「魚」後補 寂

01 78 | 03 「在昌」 「昌ハ推読」 城 「ナシ」 伊公尊 「紀在昌」 池亭眺

望」為 「池亭晚眺 紀在昌」 延 「紀在昌」 嘉里 「在昌」 池亭眺望」 京 「紀在昌 池亭晚望」 ▼ 鳳 「池亭晚望 在昌」 ▼ 正

01 79 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為延尹嘉里京尊戊》 ▼ 久鳳正嵯 《「弘ハ一

八八マデナシ」

01 79 | 01 縁何更覓呉山曲 縁何更覓呉山曲 「雲ハ後筆デ縁ヲ縁ニ直スカ」 関

01 79 | 02 便是吾君座下花 「君吾トシテ反転符号有」 雲 便是吾君下花、公 「便」 是吾君座下花、 延 便是吾君座下華、 京 ▼ 嵯

01 79 | 03 「千葉蓮」 「法皇御賀題花山千葉蓮花 醍醐御製」 「城ノ御

賀題ト蓮ト御製ハ推読」 城関雲京 ▼ 久 「花山 華山、 関」 「千葉蓮花 千葉蓮、 ★ 関雲京」 「ナシ」 伊公尊 「醍醐御製」 葦戊 ▼

正嵯 「醍醐 西酉 ▼ 嵯」 「延喜」 寂 「題花山千葉蓮花法皇御賀屏風」 為 「花山千葉蓮法皇御賀屏風 醍醐御製」 ★ 延 「花山

千葉蓮 醍醐御製」 尹 「法皇御賀屏風題呉山千葉蓮 延喜御製」 嘉 「花山千葉蓮法皇御賀屏風詩」 里 「法皇御賀御屏風題

華山千葉蓮 醍醐御製」 ▼ 鳳

01 80 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為延尹嘉里京尊戊》 ▼ 久鳳正嵯 《「弘ハ一

八八マデナシ」

01 80 | 01 経為題目仏為眼

01 80 | 02 知汝花中植善根 知汝花 「中」 植善根、 為 知汝花中植善根、

嘉 ▼ 鳳 延 「為憲」 「ナシ」 公尊 「源為憲 石山寺池蓮」 「▼ 正ハ作者名ガ後」 為嘉 ▼ 鳳 正 「源ナシ ▼ 鳳」 「石山池蓮 源為憲」 ★

01 81 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為延尹嘉里京尊戊》 ▼ 久鳳正嵯 《「弘ハ一

書百願文」 里

八八マデナシ」 「古今一六五、 六帖、 遍昭」

01 81 | 01 はちすはの

01 81 | 02 にこりにそまぬにこりそまぬ城にこりにしまぬ関雲葦寂延尹嘉里京尊戊 ▼ 久鳳正嵯

01 81 | 03 こゝろもて心もしらす (て) ★ 城

01 81 | 04 なとかはつゆをなにかはつゆを為延尹嘉京尊戊 ▼ 鳳正

01 81 | 05 たまとあさむく

01 81 | 06 「ナシ」 「良僧正」 城関雲寂為尹嘉里京戊 ▼ 久鳳 「明日香王子」 ▼ 嵯

01 81 | 00 《正》

01 81 | 01 妙法ノ

01 81 | 02 ハチスノハナノ

01 81 | 03 チラヌトキ

01 81 | 04 ミライトハヌカ

01 81 | 05 人ノヲラヌハ

01 81 | 06 「良遍僧正」

20 00 | 10 郭公

01 82 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為延尹嘉里京尊戊》 ▼ 久鳳正嵯 《「弘ハ一

八八マデナシ」

01 82 | 01 一声山鳥曙雲外 一声山鳥暑雲外、 嘉

01 82 | 02 万点水萤秋草中 万点水萤秋草中、 嘉

01 82 | 03 「許渾」 「ナシ」 公尊 「是発幽居将尋同志 許渾」 為 ★ 延 ▼ 鳳 「許渾 早発幽居」

01 82 | 00 《延 ▼ 貞長鳳正》 「嘉アルイハ里ハ一八一ノ次 (校本ハ略号

ドチラカ誤ルカ)、 ▼ 鳳正ハ行間細字書入」

01 82 | 01 去歳今年不変何 「延ニテ入力」

01 82 | 02 郭公曉枕駐声過

- z0 12-03 「ナシ」〔此詩無点本 他本可尋之〕嘉〔イ有 此詩不載江本〕「尋同志」ヲ此詩ノ注トミルカ、前詩ノ注トスルカ、鳳ハ前詩ノ注ニミエルガ、貞和本ハ此詩ノ注トスルラシイ、原典アルイハ千載佳句ハ如何」鳳「此詩江本不載」トアリ」  
▼正
- z0 13-00 《延尹▼貞鳳正》「延ハ一八五ノ次、▼正ハ二行書和歌ノ一八三行間二片仮名細字書入」
- z0 13-01 さつきやみ「延ニテ入力」
- z0 13-02 くらはし山の
- z0 13-03 ほとゝぎす
- z0 13-04 おほつかなくも
- z0 13-05 なきわたるかな
- z0 13-06 「実方」〔ナシ〕尹「実方 証本無之」〔鳳ハ朱ニテ行間細字書入〕▼鳳
- 01 83-00 《粘城伊関雲公章寂為延尹嘉里尊戊▼久鳳正嵯》「弘ハ一八八マデナシ、京ナシ」【万葉】  
八マデナシ、京ナシ
- 01 83-01 さつきやみさつきやま(み)雲
- 01 83-02 おほつかなきにおほつかなきに寂不審に公おほつかなきを尊
- 01 83-03 ほとゝぎす
- 01 83-04 なくなるころゑの
- 01 83-05 いとゝはるけさいとゝはるけき寂為延尹嘉★尊戊▼鳳正嵯
- 01 83-06 「明香王子」〔明香皇子〕城嘉〔ナシ〕関公尊〔明日香皇子〕雲▼鳳〔明日香王子〕寂葦戊▼久正嵯
- 01 84-00 《粘城伊関雲公章寂為延尹嘉里京尊戊▼久鳳正嵯》「弘ハ一八八マデナシ」【拾遺抄六九、拾遺一〇六、六帖、公忠】
- 01 84-01 ゆきやらて

- 01 84-02 やまちくらしつ
- 01 84-03 ほとゝぎす
- 01 84-04 いまひとゑの
- 01 84-05 きかまほしさにきまほしさに為きかまほしきよ嘉
- 01 84-06 「公忠」〔ナシ〕公里尊〔公忠弁〕嘉▼正〔忠見〕「一八五ノ脱ニヨル」京〔此宮着裳屏風 公忠〕▼鳳
- 01 85-00 《粘城伊関雲公章寂為延尹嘉里尊戊▼久鳳正嵯》「弘ハ一八八マデナシ、京ナシ」【拾遺抄六六、拾遺一〇四、天徳四年内裏歌合】
- 01 85-01 さよふけてさよふかく尊
- 01 85-02 ねさめさりせは
- 01 85-03 ほとゝぎす
- 01 85-04 ひとつてにこそひとつ「て」にこそ「同筆」城
- 01 85-05 きくへかりけれきかまほしけれ(くへかりけれ)「同筆」城
- 01 85-06 「忠見」〔見ハ推読〕城〔忠実〕伊〔ナシ〕公章尊〔忠〇〕寂〔忠見 天歴哥合〕▼鳳
- 20 00-11 螢「里ハ」七月有流察秋季候見此星察秋季候「トアリ」
- 01 86-00 《粘城伊関雲公章寂為延尹嘉里京尊戊▼久鳳正嵯》「弘ハ一八八マデナシ」【元氏長慶、佳句】
- 01 86-01 螢火乱飛秋已近
- 01 86-02 辰星早没夜初長辰星早没夜始長、関雲尹
- 01 86-03 「元」〔ナシ〕公尊〔元積 夜坐詩〕為〔夜坐 元積〕延▼正〔元積 座坐〕里〔夜坐 元〕▼鳳
- 01 87-00 《粘城伊関雲公章寂為延尹嘉里京尊戊▼久鳳正嵯》「弘ハ一八八マデナシ」【佳句】
- 01 87-01 兼葭水暗螢知夜「葭兼ノ兼ニ反転符号」粘

- 01 87 02 楊柳風高雁送秋
- 01 87 03 「許渾」〔ナシ〕公尊「許渾 常州留上楊給事」〔延ハ作者名ガ後、里ノ「事」ハ不明〕為延里▼鳳
- 01 88 00 《粘城伊関雲公葦寂為延尹嘉里京尊戊▼久鳳正嵯》〔弘ハ一八八マデナシ〕
- 01 88 01 明々仍在
- 01 88 02 誰追月光於屋上、誰迎月光於屋上、★公誰追月光屋上、葦誰逐（追）月光於屋上▼鳳
- 01 88 03 皓々不消 皓々不銷、伊尊
- 01 88 04 豈積雪片於床頭
- 01 88 05 「秋螢照帙賦 紀」〔複製翻刻ハ帙ヲ供トスル〕粘「秋螢照■〔示十失〕賦 紀」城「〔紀〕〔雲ハ後筆デ秋螢照帙賦ヲ書ク〕伊雲寂「〔秋螢照秩賦 紀〕関「〔ナシ〕公尊「〔秋螢照帙賦 紀納言〕〔嵯ハ作者名ガ先〕為延里嘉▼鳳正嵯「〔秋螢照□（襟 供）賦 紀〕京「〔紀〕戊
- 01 89 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉里京尊戊▼久鳳正嵯》
- 01 89 01 山経卷裏疑過岫「校本ハ卷ノ校異ヲ採ルガ異体字トミナス」
- ★葦
- 01 89 02 海賦篇中似宿流
- 01 89 03 「同前 直幹」〔直幹〕〔雲ハ後筆デ同上ヲ書ク〕城★伊雲葦寂弘尹嘉戊「〔秋螢照秩 直幹〕関「〔ナシ〕公尊「〔直幹 同上題〕為「〔同題 直幹〕延里▼正〔直幹 橘直幹▼正〕「〔直幹 同上〕〔久嵯ハ作者名ガ後〕京▼久嵯「〔同 直幹〕▼鳳
- 01 90 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉里京尊戊▼久鳳正嵯》〔新勅撰集一八一〕
- 01 90 01 くさふかくくさふかさき城関雲公葦寂為弘延尹嘉里京尊戊▼久鳳正嵯
- 01 90 02 あれたるやとの
- 01 90 03 ともしひの「ともし〔ひ〕の「後補」城「ともしひは里
- 01 90 04 かせにきえぬはかせにきえせぬ尹里▼嵯かせにきえへせぬ尹
- 01 90 05 ほたるなりけりなみたなりけり葦
- 01 90 06 「ナシ」〔赤人〕〔久ハ鈎点有、ミセケチカ〕為弘延尹嘉京戊▼久正嵯
- 01 91 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉里京尊戊▼久鳳正嵯》〔京ナシ〕
- 【後撰二〇九】
- 01 91 01 つゝめとんつゝめとも関弘延尊戊▼久鳳正嵯 裏友、公
- 01 91 02 かくれぬものは
- 01 91 03 なつむしの
- 01 91 04 みよりあまれるみより（り）あまれる★城
- 01 91 05 おもひなりけりおんひなりけり関雲なみたなりけり葦
- 01 91 06 「ナシ」〔忠見〕為弘延尹嘉▼久正「〔桂宮童女〕戊
- 20 00 12 蟬
- 01 92 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉里京尊戊▼久鳳正嵯》〔文集〕
- 01 92 01 遅々兮春日 遅々春日、嘉京
- 01 92 02 玉整暖兮温泉溢「校本ハ整ノ瓦ヲ石トスルガ、瓦ノ崩シノ誤写トミナス」★葦「玉整暖兮温泉溢、里「玉整暖兮温泉溢、戊
- 01 92 03 嬋々兮秋風 嬋々秋風、嘉
- 01 92 04 山蟬鳴兮宮樹紅 山蟬鳴宮樹紅「雲ハ後筆デ（兮）ヲ書ク」関雲
- 01 92 05 「麗宮高 白」〔驪宮高 白〕〔京▼嵯ハ作者名ガ先〕城伊関雲葦為嘉京里▼鳳嵯「〔ナシ〕公尊「〔白〕寂弘戊「〔樂府驪宮高 白〕延▼正「〔驪宮高〕尹「〔白 麗宮高〕▼久

- 01 93 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉里京尊下戊》久鳳正嵯【佳句】
- 01 93 | 01 千峰鳥路含梅雨
- 01 93 | 02 五月蟬声送麦秋
- 01 93 | 03 「李嘉祐」―「書入アルカニミエルガヨメズ」城―「ナシ」〔雲ハ後筆デ李嘉祐ヲ書ク〕伊関雲公弘尊下―「李端」寂―「李嘉祐 発青泥店至長安県西渡江」〔延ハ作者名ガ後〕為延里鳳〔李〕季、★延〔泥〕渥、延〔長安県西渡江〕口余県□渡□、里―長県西渡口▼鳳〕―「許渾」尹―「〔李〕嘉祐 許渾」京―「〔李喜祐〕▼正
- 01 94 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉里京尊下戊》久鳳正嵯【久ハ行間細字書入】〔丁卯、佳句】
- 01 94 | 01 鳥下緑蕪秦苑寂―「苑ト苑ハ異体字扱イ」城―鳥下緑蕪秦苑夕、関雲―鳥下緑蕪秦苑静、公弘延里▼鳳正―「〔静〕寂〕▼鳳〕―「〔三木〕夕・寂
- 01 94 | 02 蟬鳴黄葉漢宮秋
- 01 94 | 03 「許渾」―「〔ナシ〕伊公尊戊」〔許渾 咸陽宮城東樓〕〔延ハ作者名ガ後〕為延▼鳳〔城〕賦、延〕―「〔菅〕尹」〔題咸陽東樓 許渾〕〔詩題ハ別筆〕京―「許渾 題盛陽誠東樓」〔▼正ハ作者名ガ後〕里▼正―「〔盛陽誠〕咸陽城〕▼正】
- 01 95 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉里京尊下戊》久鳳正嵯【文草】
- 01 95 | 01 今年異例腸先断―「校本ハ年ノ校異ヲ採ルガ、年ノ異体字」★葦為
- 01 95 | 02 不是蟬悲客意悲
- 01 95 | 03 「菅」―「〔ナシ〕公弘尊」〔聞新蟬 菅〕為京―「〔聞新蟬 菅丞相〕延里▼正〔聞〕ナシ里▼正〕―「〔新県 菅〕▼鳳
- 01 96 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉里京尊下戊》久鳳正嵯【

- 01 96 | 01 歳去歳来聴不変 年去歳来聴不変、城関雲 年〔歳〕 去歳来聴 不変、雲
- 01 96 | 02 莫言秋後遂為空 莫言秋後送為空、公莫言秋後遂成〔為〕空〔トモニ左側傍記〕★弘延 莫言秋後遂為〔成〕空〔左側傍記〕▼鳳
- 01 96 | 03 「〔紀〕」―「〔ナシ〕公尊」〔紀納言 聴初蟬〕〔延〕▼正ハ作者名ガ後〕為延里▼正―「〔紀納言〕弘嘉▼嵯」〔聴初蟬 紀〕▼鳳
- 01 97 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉里京尊下戊》久鳳正嵯【
- 01 97 | 01 なつやまの
- 01 97 | 02 みねのこすゑし みねのこすゑの城公寂為弘延尹嘉★京尊戊▼鳳正嵯
- 01 97 | 03 たかければ
- 01 97 | 04 そらにせせみの 空にせせひの城
- 01 97 | 05 こゑもきこゆる こゑはきこゆる城関雲葦寂弘延尹里尊下戊▼久鳳正嵯 なくこゑはする為京 音はきこゆる嘉
- 01 97 | 06 「〔ナシ〕」―「〔人丸〕為延尹嘉▼久正」〔重光大納言〕里
- 01 98 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉里尊下戊》久鳳正嵯【京ナシ、寂ハ哥旁ニ朱線ヲ引ク、下ハ「くむしの」以下不明】〔後撰七九三】
- 01 98 | 01 これをみよ これをみむ寂 これをみよ〔きけ〕▼鳳
- 01 98 | 02 ひとつととかめぬ ひとつととかめぬ雲 ひとつとすさめぬ寂
- 01 98 | 03 こひすとて こひをして寂 〔こ〕ひすとて弘
- 01 98 | 04 ねをなくむしの
- 01 98 | 05 なるすかたを なるすかたよ延

- 01 98 | 06 「重光大納言」〔ナシ〕「雲ハ後筆デ重光大納言ヲ書ク、尹ハ  
「本无」ノ二字アリ」関雲公寂尹尊〔大納言重光〕▼正
- z0 14 | 00 《貞▼鳳正》「鳳正ハ片仮名細字書入、鳳デ入力」【】
- z0 14 | 01 コスエニテコソエマテ▼正
- z0 14 | 02 モノナレタレト
- z0 14 | 03 セミノコエ
- z0 14 | 04 キカヌハモノソ
- z0 14 | 05 サヒシカリケルサ。(ワ)ヒシカリケル▼鳳
- z0 14 | 06 「此哥江本無」
- 20 00 | 13 扇扇「江本無扇題」▼鳳
- 01 99 | 00 《粘城伊関雲公葦為弘延尹嘉里京尊戊▼久鳳正嵯》【文集】
- 01 99 | 01 盛夏不銷雪 盛夏不消雪、公葦為弘京尊▼鳳 盛夏不消。(銷)  
雪「朱」為「銷ハ糸扁カ」▼久
- 01 99 | 02 終年無尽風
- 01 99 | 03 引秋生手裏
- 01 99 | 04 歲月入懷中 歲月入懷中★葦★延里
- 01 99 | 05 「白」〔ナシ〕公弘尊〔白 白羽扇〕「延ハ作者名ガ後」為  
延▼鳳〔白 扇詩〕尹〔白 五言絶句〕嘉
- 02 00 | 00 《粘城伊関雲公葦為弘延尹嘉里京尊戊▼久鳳正嵯》【】
- 02 00 | 01 不期夜漏初分後 不期夜漏初明後▼正
- 02 00 | 02 唯翫秋風未至前 唯玩。(翫) 秋風未至前「朱」為唯翫秋風未  
到前、尊唯翫秋風未至。(到) 前、京
- 02 00 | 03 「菅三品」〔輕扇会明月 菅三〕「会ト三ハ推読」城〔菅三〕  
「雲ハ後筆デ輕扇動明月ヲ書ク」関雲〔ナシ〕公尊〔輕扇動  
明月 菅三品〕「京ハ動ニ「似イ」ヲ傍記、詩題ガ後」葦嘉  
京▼久鳳〔輕扇揺明月 菅三〕為延▼正〔菅三菅三品、延▼  
正〕〔揺動、尹〕〔翫扇動明月 菅三品〕里〔菅〕▼嵯

- 02 01 | 00 《粘城伊関雲公葦為弘延尹嘉里京尊戊▼久鳳正嵯》「城関雲  
ハ二〇二ノ次」【拾遺抄九八、拾遺一〇八八、円融院資子内  
親王乱碁歌合、中務】
- 02 01 | 01 あまのかはあきのかは▼嵯
- 02 01 | 02 >>へす>しきか「は」へす>しき城かはせす>しき京
- 02 01 | 03 たなはたにたなはたの尹たなはたは▼正
- 02 01 | 04 あふきのかせをあふきのかせに。(を)「関雲ノを「字母乎」  
ハに「字母耳」ニ誤リヤスイ」城
- 02 01 | 05 なほやかさましなをかさまし城
- 02 01 | 06 「七夕扇合 中務」〔同 中務〕城関〔中務〕「雲ハ後筆デ  
七夕扇合ヲ書ク」伊雲葦弘嘉京戊〔ナシ〕公尊〔中務 七  
夕哥合〕▼正「作者名ガ先」▼嵯
- 02 02 | 00 《粘城伊関雲公葦為弘延尹嘉里京尊戊▼久鳳正嵯》「城関雲  
ハ二〇一ノ前」【拾遺一〇八九、円融院資子内親王乱碁歌合、  
元輔】
- 02 02 | 01 あまのかは
- 02 02 | 02 あふきのかせに
- 02 02 | 03 くもはれてきりはれて城関雲公葦為弘延尹嘉里京尊戊▼久  
鳳正嵯
- 02 02 | 04 そらすみわたるそらすみ□たる「かアルイハは」延
- 02 02 | 05 かさ>きはし>かき>きはし尹
- 02 02 | 06 「同前 元輔」〔七夕扇合 元輔〕城関〔元輔〕「雲ハ後筆  
デ円融院御時猷扇 中務ヲ書ク、書入箇所ヲ誤ルカ」伊雲弘  
嘉京戊▼嵯〔ナシ〕公里尊〔同上 同人〕延〔同前 清原  
元輔〕▼久〔同天 元輔〕▼鳳〔作者名ガ先〕▼正
- 02 03 | 00 《粘城伊関雲公葦為弘延尹里尊戊▼久鳳正嵯》「京ナシ」【中  
務】

- 02 03 01 きみかてに君うに城きみなかてに★雲
- 02 03 02 まかするあきのまかするあきの(扇ノ)「校本」扇ノミダ  
ガ、複製本ハ「ノ」モミエル★城「異同無」★伊★関★雲★  
公★葦★弘★延★尊★あかするあふきの為まかするあふきの  
「校本」ハ諸本トスルガ、惠阪校本デハ貞和本ノミ」尹里
- 02 03 03 かせなれは
- 02 03 04 なひかぬくさもなひかぬくさん関なひかぬくさは「雲ハも  
ノ意ノんヲハニ誤ルカ」雲為弘延尹里戊▼正
- 02 03 05 あらしとそおもふあらしとそおんふ関雲
- 02 03 06 「中務」ハ「円融院御時秋扇 中務」ハ城ノ扇ハ推読「城」久鳳  
正「円融院御時秋扇 中務」ハ作者名ガ先「関」嗟「ナ  
シ」雲公葦尊「円融院御時秋扇」(扇合 本) 中務」為「(献  
扇 同人)★延「(円融院御時秋扇)尹「(同中院御時秋扇)「別  
筆」里
- 30 00 01 秋
- 30 00 02 「里ニ」百八首百三兮「トアリ」立秋
- 02 04 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹里京尊戊▼久鳳正嗟》【文集、佳  
句】
- 02 04 01 蕭颯涼風与悴鬢 蕭颯涼風与衰鬢、城★伊関雲公葦寂弘延尹  
里尊戊▼久鳳正嗟 蕭颯涼風与悴(衰イ)鬢、京
- 02 04 02 誰教計会兮一時秋 誰(教)計会兮一時秋、弘▼嗟
- 02 04 03 「白」ハ「ナシ」伊公尊「白 立秋日 登楽遊園」延ハ作者  
名ガ後「為延▼鳳「白(十九)▼正
- 02 05 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹里京尊戊▼久鳳正嗟》【
- 02 05 01 鷄漸散間秋色少 鷄漸散間秋色多、★葦
- 02 05 02 鯉常趨処晚声微 鯉頻趨処晚声微、城京「頻」頻(常イ)★  
京
- 02 05 03 「保胤」ハ「於菅師匠旧亭賦一葉落庭時 保胤」「城ノ旧卜落

- 02 06 01 あきゝぬと
- 02 06 02 めにはさやかに
- 02 06 03 みえねともみえねとん城伊関雲葦
- 02 06 04 かせのおとにそ
- 02 06 05 おとろかれぬるおとろかれける尹▼鳳
- 02 06 06 「敏行」ハ「ナシ」公里尊「躬恒」為弘尹「中務 藤原敏行朝  
臣イ」▼嗟
- 02 07 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹里京尊戊▼久鳳正嗟》「京ナシ」後  
撰二一八
- 02 07 01 うちつけに
- 02 07 02 ものそかなしきもの「そ」かなしき城
- 02 07 03 このはちる
- 02 07 04 あきのはしめにあきのはしめを城関雲公葦寂為弘延尹尊戊  
▼久鳳正あきのはしめと▼嗟
- 02 07 05 なりぬとおもへはけふそと思えは城関雲公葦弘尹▼正けふ  
そと思「エ」は城けふそとおんへは関けふとおもへは寂為  
延尊戊▼久鳳なぬとおもへば里けふをおもへは▼嗟
- 02 07 06 「ナシ」ハ「能宣」ハ「城ハ別筆ニテ薄ク書ク」城延尹▼久「素  
性」為弘「能宣 イ良僧正」尹「読人不知」▼鳳
- z0 15 00 《兼》【
- z0 15 01 あきのよを



- z0 15 02 あかしかねつゝ
- z0 15 03 なくむしは
- z0 15 04 しのひにもものや
- z0 15 05 おもはさるらむ
- 30 00 03 早秋
- 02 08 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹里京尊下戊》久鳳正嵯 《「下ハ二〇九ノ次」【文集、佳句】
- 02 08 01 但喜暑随三伏去 但喜暑三伏去、公
- 02 08 02 不知秋送二毛来 不老知送二毛来、葦
- 02 08 03 〔白〕〔ナシ〕関雲公尊 〔白 答蘇六詩〕為 〔答蘇六 白〕  
延▼正 〔白 答蘇六(六七)〕▼鳳
- 02 09 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹里京尊下戊》久鳳正嵯 《「▼嵯ハ二一〇ノ次」【文集、佳句】
- 02 09 01 槐花雨潤新秋地 槐花雨湿新秋地、尹▼鳳 〔湿湿(潤)▼鳳〕
- 02 09 02 桐葉風涼欲夜天
- 02 09 03 〔白〕〔ナシ〕伊関雲公尊 〔同〕葦 〔白 秘省後序詩〕為 〔秘省後序 白〕〔京ハ詩題方後〕延★京 〔白 秘省後序(六五)〕▼鳳
- 02 10 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹里京尊下戊》久鳳正嵯 《「▼久鳳正嵯」
- 02 10 01 炎景剩残衣尚重 炎景剩残衣尚裏重、城
- 02 10 02 曉涼潜到簾先知 晚涼潜到簾先知、伊寂弘京尊為弘延尹里京尊戊▼正嵯(潜)潜▼正 〔▼正〕曉涼潜到翠(簾) 先知〔校本他、翠ヲ羽十早デヨムガ推読〕公 曉涼潜到簾先故、葦
- 02 10 03 〔紀〕〔已上白 異本□〕城 〔ナシ〕伊公寂尊 〔已上白〕関雲 〔紀納言 立秋後作〕〔延▼正ハ作者名方後、嵯ノ「作」ハ切断〕為延▼正嵯 〔紀納言〕弘里 〔紀 立秋後作〕京 〔立秋後作 紀〕▼鳳

- 02 11 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹里京尊下戊》久鳳正嵯 《「下ハ「あさけ」以下不明」【万葉、拾遺抄五八一、拾遺二四一】
- 02 11 01 あきたちてあきたけて▼嵯
- 02 11 02 いくかもあらねと いくよならねと 城 いくかにんあらねと 関雲 いくかもあらねは葦 いくかならぬに里 いくかもあらぬに京▼正 いくかならねと 〔旁ニ「モア」トアリ〕下
- 02 11 03 このねぬる
- 02 11 04 あさけのかせは あさあけのかせは 関雲
- 02 11 05 たもとさむしも たもとすゝしも 城寂為弘延尹▼正 たもとさむしん雲 たもとさむしも 〔旁ニ「すゝしも」トアリ〕為 たもとさむ(スゝ)しも▼鳳
- 02 11 06 〔志貴皇子〕〔安貴皇子〕城関雲葦延▼久 〔ナシ〕伊公弘里尊 〔志貴皇〕寂 〔安法々師〕尹 〔人丸 志賀王子〕京 〔芸大君〕★戊 〔志貴王子〕▼嵯
- z0 16 00 《忠》
- z0 16 01 はつあきの
- z0 16 02 そこにきりたつ
- z0 16 03 からころも
- z0 16 04 そでの露けき
- z0 16 05 あさほらけかな
- z0 16 06 〔同〕
- 30 00 04 七夕
- 02 12 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹里京尊戊》久鳳正嵯 【佳句】
- 02 12 01 憶得少年長乞巧 憶得少年長乞巧 〔雲ハ乞ヲ巧ノ前ニ移ス符号有〕関雲 憶得小年長乞巧、里
- 02 12 02 竹竿頭上願糸多

- 02 12 | 03 [白] | [ナシ]公尊 | [白 七夕]為 | [七夕 白]延▼鳳
- 02 13 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹里京尊戊▼久鳳正嵯》[里ハ二一七ノ次]【文粹】
- 02 13 | 01 二星適逢
- 02 13 | 02 未叙別緒依々之恨 未叙別緒依々恨、葦
- 02 13 | 03 五更將明 五夜將明、城関雲公葦寂為弘延尹里京尊戊▼久鳳  
正 五夜將曙▼嵯 [三木] 五夜・五更
- 02 13 | 04 頻驚涼風颯々之声
- 02 13 | 05 [美材] | [美林]里 | [ナシ]伊公尊▼嵯 | [小野美材 代牛女惜曉更]為 | [小野美材]弘 | [代牛女惜曉更 野美材]延▼  
正 | [代牛女待夜序 美材] | ▼鳳ハ待夜序ニ惜曉更ヲ傍記 |  
尹▼鳳 | [美材 代牛女惜曉更]京 | [野美材]戊▼久
- 02 14 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉里京尊戊▼久鳳正嵯》【文章】
- 02 14 | 01 露心別淚珠空落 露心別渡珠虚落、里
- 02 14 | 02 雲是残粧鬢未成 雲是残粧髻未成、城関雲公葦寂為★延尹嘉里京尊戊▼久鳳正
- 02 14 | 03 [菅] | [ナシ]公尹尊 | [菅 同前]為京[同前]同□(前)京 | [菅丞相]弘 | [同 菅]延 | [菅三品 同題]嘉 | [菅三品 同上]里 | [菅 代牛女惜曉更] | [前詩注記混入カ]▼鳳 | [代牛女惜曉更 菅丞相]▼正
- 02 15 | 00 《粘城伊寂為弘延尹嘉里京尊戊▼久鳳正嵯》[関雲公葦ナシ、尹尊▼鳳ハ二一七ノ次]【屏風土代】
- 02 15 | 01 風從昨夜声弥怨 風從昨夜声弥恨(怨) [左側傍記]▼鳳
- 02 15 | 02 露及明朝淚不禁
- 02 15 | 03 [ナシ] | [江]城寂 | [後江相公 代牛女]為 | [江相公]弘嘉里京戊▼久嵯 | [前代牛女 江相公]延 | [後江相公]尹 | [江把紀]里 | [延喜御屏風 七夕代牛女 江相公]▼鳳 | [七夕代

- 02 16 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉里京尊戊▼久鳳正嵯》【
- 02 16 | 01 去衣曳浪霞応湿 去衣曳浪露応湿、葦里
- 02 16 | 02 行燭浸流月欲消 行燭浸流月欲消(銷) [朱] 為 行燭浸流月欲銷、戊▼久正嵯
- 02 16 | 03 [菅三品] | [含嬌淚淺河 菅三品] | [浅ト品ハ推読]城 | [含嬌渡淺河 菅三品] | [延ハ作者名「三」アルカ]関雲為延尹嘉里▼久鳳正 | [嬌渡 嬌淚、延 橋渡、尹 媚渡、嘉] | [浅河 河指、尹 河橋、嘉▼正 漢河▼鳳] | [ナシ]公尊 | [菅 食(含) 嬌渡漢河]★京 | [菅]▼嵯
- 02 17 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉里京尊戊▼久鳳正嵯》【
- 02 17 | 01 詞託微波雖且遣 詞託微波且雖遣 [雲ハ雖ヲ且ノ前ニ移ス符号有] 関雲 詞託微波雖且迷、葦
- 02 17 | 02 心期片月欲為媒
- 02 17 | 03 [輔昭] | [代牛女待夜 輔昭] | [嵯ハ作者名ガ先]城関雲葦為延▼久鳳正嵯 | [ナシ]公尊 | [代牛女]尹 | [菅輔昭]嘉 | [代牛女待夜 菅輔照]里 | [菅]輔照 代牛女待夜 | ★京 後撰二三九、拾遺一四四、六帖、麗花、人麿】
- 02 18 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉里京尊戊▼久鳳正嵯》【万葉、
- 02 18 | 01 あまのかは
- 02 18 | 02 とほきわたりに 遠きわたりは延
- 02 18 | 03 あらねとも あらねとん [城ハ傍記アルカ]城伊雲葦▼久 | 「とも以下摩損」寂 なければとも延
- 02 18 | 04 きみかふなては きみかふなてを葦 きみかふなちは里▼ 嵯 きみかふなては戊
- 02 18 | 05 としにこそまて としをこそまて里
- 02 18 | 06 [人丸] | [ナシ]公尊戊

- 02 19 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉里京尊戊》久鳳正嵯《【拾遺抄九五、拾遺一五〇、六帖、貫之】
- 02 19 01 ひととせに
- 02 19 02 ひとよとおもへとひとよとおへと「別筆」城ひとよとおんへと雲
- 02 19 03 たなはたの
- 02 19 04 あひみむあきのあひ見る秋の葦為延嘉京戊久正嵯あひみるあきは弘あひあるあきの里あひ見んことの鳳
- 02 19 05 かきりなきかなかきりなりけり(きかな)嘉
- 02 19 06 「貫之」(ナシ)公尊「貫之」右衛督夕清蔭家屏風
- 02 20 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉里尊戊》久鳳正嵯《【京ナシ】古今一七九、新撰和歌、六帖、寛平御時后宮歌合、躬恒
- 02 20 01 としことに
- 02 20 02 あふとはすれと
- 02 20 03 たなはたの
- 02 20 04 ぬるよのかすそぬるよのかすは「寂」かすは「摩損」城寂ぬるよのかすそ関
- 02 20 05 すくなかりけるすくなかりけり城
- 02 20 06 「躬恒」(ナシ)公葦尊
- 30 00 05 秋興
- 02 21 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉里京尊戊》久鳳正嵯《【文集、佳句】
- 02 21 01 林間煖酒焼紅葉 林間秋酒焼紅葉、公
- 02 21 02 石上題詩掃緑苔「異同無」★弘石上題詩弘緑苔、延尹嘉京尊▼嵯
- 02 21 03 「白」(ナシ)城関雲公葦寂尊「白」★葦「白」題仙遊寺「延」正ハ作者名ガ後「為延京」正「白」仙遊寺作「嘉」白

- 02 22 00 題仙遊寺(二四)▼鳳
- 02 22 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉里京尊戊》久鳳正嵯《【文集、佳句】
- 02 22 01 楚思渺茫雲水冷 楚思森茫雲水冷「為ハ森ニ朱デ渺ト傍記」公葦為弘延尹嘉京戊久鳳正嵯楚思(水十州)莊雲水冷、里
- 02 22 02 商声清脆管絃秋 商声脆管絃秋、寂
- 02 22 03 「白」(ナシ)城関雲公寂尊「同」伊葦「於黄鶴樓宴罷望」為「於黄鶴樓宴罷望」白「京」鳳ハ作者名ガ先「延京」鳳「鶴、京」(樓)ナシ▼鳳「白」宴黄鶯樓「嘉
- 02 23 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉里京尊戊》久鳳正嵯《【文集、佳句】
- 02 23 01 大底四時心惣苦
- 02 23 02 就中腸断是秋天 就中腹断是秋天、嘉
- 02 23 03 「校本、★粘」弘ナシトスル「白」(已上白)城関雲葦「同」伊葦「(ナシ)公尹里京尊」(以上白)寂「暮意」為「暮立」延「同題」嘉「白」暮立「詩題ハ別筆」★京▼鳳「暮立」暮立「(二四)▼鳳」
- 02 24 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉里京尊戊》久鳳正嵯
- 02 24 01 物色自堪傷客意 物色自堪(傷)客意、嘉 物色自堪傷客意、戊
- 02 24 02 宜將愁字作秋心 宜將(以)愁字作秋心、戊
- 02 24 03 「野」(野相公)寂弘里嘉戊久「(ナシ)公葦尊」(野相公客舍秋情)為「(客舍秋詞 野相公)「京ハ詩題ガ後」延京▼鳳正(詞)詞(情イ)京」(客舍秋詞)尹
- 02 25 00 《粘城伊関公葦寂為弘延尹嘉里京尊戊》久鳳嵯《【雲ナシ、京ハ二二六ノ次、▼正ハ細字後補書入、校異不採用】

- 02 25 01 由来感思在秋天
- 02 25 02 多被當時節物牽 多被當時物色牽、関
- 02 25 03 〔ナシ〕〔早秋感懷 田達音〕為延尹▼鳳 〔田達音〕弘戊 〔同〕嘉 〔野 田達音 早秋感懷〕京
- 02 26 00 《粘城伊関雲公章寂為弘延尹嘉里京尊戊▼久鳳正嵯》〔京ハ 二二六ノ前、久ハ二二七ノ次〕
- 02 26 01 第一傷心何処最 第一傷意何処最、尊
- 02 26 02 竹風鳴葉月明前 竹風鳴葉月朗前、里
- 02 26 03 〔白〕〔田〕城関雲葦 〔ナシ〕公尊戊 〔田達音〕寂嘉▼久 〔同前〕為弘延▼正 〔白 早秋感懷〕京 〔同〕▼鳳 〔田達音 早秋感懷〕▼嵯
- 02 27 00 《粘城伊関雲公章寂為弘延尹嘉里京尊戊▼久鳳正嵯》
- 02 27 01 蜀茶漸忘浮花味 俗茶漸忘浮花味、関雲公章 俗〔蜀〕茶漸忘 浮花味、雲 〔人十蜀〕茶漸忘浮花味〔旁「蜀」寂
- 02 27 02 楚練新伝擣雪声 楚練新伝擣雪声、弘
- 02 27 03 〔相如〕〔暑往寒来 相如〕城雲尹京▼久鳳正 〔ナシ〕公里 尊 〔暑往寒来 高丘相如〔源相規〕〕〔朱〕為 〔高相如〕 弘 〔暑往寒来 高相如〕延嘉
- 02 28 00 《粘城伊関雲公章寂為弘延尹嘉里京尊戊▼久鳳正嵯》〔万葉、 六帖、新拾遺三三三、家持〕
- 02 28 01 うつらなく 宇津鳴、公
- 02 28 02 いはれのゝへのいはねの野辺の▼嵯
- 02 28 03 あきはきを
- 02 28 04 おもふひとゝもおんふひとをん関 おんふひとゝん雲 おも ぶひともしり おんふひとゝも▼久
- 02 28 05 みつるけふかな 相見鶴可那、公
- 02 28 06 〔丹比国人〕〔ナシ〕公寂嘉京尊戊▼鳳 〔丹後国人〕〔延ハ 国ノ上カラ後ヲ書クカ〕為弘延 〔丹波国人〕▼正嵯

- 02 29 00 《粘城伊関雲公章寂為弘延尹嘉里京尊戊▼久鳳正嵯》〔京ナシ〕
- 02 29 01 あきはなほあきはへなを城 あきはきを里
- 02 29 02 ゆふまくれこそたゝならずこそ城関雲公章里▼久嵯 われに てし〔ユフマくれ〕こそ★伊不只古処、公
- 02 29 03 たゝならね おもほゆれ城関雲公章里▼久嵯 おんほゆれ関雲 ▼久
- 02 29 04 をきのうはかせ
- 02 29 05 はきのしたつゆ花のした露、延
- 02 29 06 〔義孝少将〕〔ナシ〕公章尊 〔義孝〕寂嘉▼鳳 〔義孝中將〕 為弘 〔親孝少将〕▼久
- 30 00 06 秋晚
- 02 30 00 《粘城伊関雲公章寂為弘延尹嘉里京尊唐下戊▼久鳳正嵯》〔文 集、佳句〕
- 02 30 01 相思夕上松台立
- 02 30 02 蜚思蟬声滿耳秋 蜚声蟬声滿耳秋、公
- 02 30 03 〔白〕〔ナシ〕伊公尊 〔白 題季士東亭〕〔▼正ハ作者名ガ 後〕為京▼正 〔題季大東寺 白〕〔大ハ士カ〕★延 〔白 題季十一東亭〔二三〕▼鳳
- 02 31 00 《粘城伊関雲公章寂為弘延尹嘉里京尊唐下戊▼久鳳正嵯》
- 02 31 01 望山幽月猶蔵影
- 02 31 02 聴砌飛泉転倍声 聴砌飛泉転声、下
- 02 31 03 〔菅三品〕〔品ハ推読〕城 〔ナシ〕伊公尊 〔菅〕寂▼嵯 〔菅 三品 望山幽月秋名号〕〔朱ニテ「秋夜哥詣清水寺」トアリ〕 為 〔秋名号 菅三品〕延 〔秋夕号 菅三品〕京 〔菅三品 秋夕口号〕〔▼正ハ作者名ガ後〕▼鳳正

- 02 32 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉里京尊唐下戊》久鳳正嵯【新古今三四七、六帖】
- 02 32 | 01 をくらやまおく山の（をくら）尹
- 02 32 | 02 ふもとのゝへの
- 02 32 | 03 はなすゝき
- 02 32 | 04 ほのかにみゆるほのかにみえし（みゆる）尹
- 02 32 | 05 あきのゆふくれ
- 02 32 | 06 「ナシ」「貫之」「城ハ別筆」城為弘延尹嘉里京下▼久正
- 30 00 | 07 秋夜
- 02 33 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉里京尊多下戊》久鳳正嵯【里ハ二三七ノ次】【文集、佳句】
- 02 33 | 01 秋夜長
- 02 33 | 02 々々無眠天不明々々無睡天不明、城伊関雲公葦寂為弘延尹里尊多下戊▼鳳嵯
- 02 33 | 03 耿々残灯背壁影 耿々残燭背壁影、尹尊▼鳳 耿々残燭（灯）背壁影、▼鳳
- 02 33 | 04 蕭々暗雨打窓声 蕭々（暗）雨打窓声、弘
- 02 33 | 05 「上陽人 白」「ナシ」伊公尊 「上陽人」寂尹多 「上陽白髮 人樂府 白」為▼正 「白」弘戊 「上陽白髮人 白」延 「樂府 上陽人 白」里 「上陽白髮 有」人 白▼鳳 「白」上陽人▼嵯
- 02 34 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉里京尊多下戊》久鳳正嵯【文集、佳句】
- 02 34 | 01 遅々鐘漏初長夜 遅々鍾漏初長夜、公里 遅々鐘漏初（長）夜、延
- 02 34 | 02 耿々星河欲曙天 耿々星何欲曙天、公 耿々星河欲明天▼嵯
- 02 34 | 03 「白」「ナシ」伊公寂尊 「同」関 「長恨歌 白」【京ハ詩題

- 02 35 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉里京尊多下戊》久鳳正嵯【文集】
- 02 35 | 01 秋来只為一人長 秋来唯為一人長▼嵯
- 02 35 | 02 秋来只為一人長 秋来唯為一人長▼嵯
- 02 35 | 03 「白」「同」城雲葦 「ナシ」伊公尊 「已上白」寂多 「白 燕子楼三首内」為 「燕子楼 白」延嘉▼正 「白 燕子楼（二五）▼鳳
- 02 36 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉里京尊下戊》久鳳正嵯【
- 02 36 | 01 蔓草露深人定後
- 02 36 | 02 終宵雲尽月明前 終宵雲尽月明中、公
- 02 36 | 03 「野」「ナシ」公尊下 「秋夜 野相公」為延京▼正 「野相公」弘里嘉 「野 終夜」▼鳳
- 02 37 | 00 《粘城伊関公葦寂為弘延尹嘉里京下戊》久鳳正嵯【雲尊ナシ】
- 02 37 | 01 兼葭洲裏孤舟夢 兼葭沙（洲歟）裏孤舟夢、★伊 兼葭洲裏孤舟夢、公 兼葭洲裏孤舟夢、★延▼久
- 02 37 | 02 榆柳營頭万里心 榆柳營（頭）万里心、戊 榆柳營辺万里心正
- 02 37 | 03 「秋夜雨 齐名」 「秋雨夜 齐名」【京ハ詩題方後】城嘉京嘉 「齐名」伊寂戊 「ナシ」公葦下 「秋雨夜 紀齐名」為延▼正【雨夜 夜雨、延▼正】「紀齐名」弘 「齐名 秋夜雨」▼嵯
- 02 38 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉里京尊下戊》久鳳正嵯【万葉、拾遺七七八、六帖、人麿】
- 02 38 | 01 あしひきの

02 38 | 02 やまとりのをの やまとりの為  
 02 38 | 03 したりをの したりをのおの為  
 02 38 | 04 なかくしよをなかくしきよを城為延尹嘉京下▼正嵯な  
 かくしよに里なかくしきよ戊  
 02 38 | 05 ひとりかもねむわかひとりねむ城たりかもねむ里わかひ  
 とり(カモ)ぬる下  
 02 38 | 06 (人丸)「ナシ」公寂里尊  
 02 39 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉里尊下戊▼久鳳正嵯》「京ナ  
 シ」【古今一〇一五、六帖、躬恒】  
 02 39 | 01 むつこともむつことん雲葦  
 02 39 | 02 またつきなくにまたつかなくに城  
 02 39 | 03 あけにけりあけぬるを(ニケリ)下  
 02 39 | 04 いらはあきのいつかはあきの尹いつら□□□□「磨損」  
 寂  
 02 39 | 05 なかといふよはなかしてふよは葦弘延尊下戊▼鳳嵯□か  
 してふよは「磨損」寂なかといふらん嘉なしといふよは  
 里  
 02 39 | 06 (躬恒)「ナシ」公里尊戊「三常」葦  
 30 00 | 08 十五夜(付月)八月十五夜(付月)城関雲葦為尹嘉里尊▼鳳正  
 嵯十五夜、公寂弘八月十五夜、京戊「付月ニ合点有」▼  
 久  
 02 40 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉里京尊多戊▼久鳳正嵯》【  
 02 40 | 01 秦旬之一千余里 秦旬之一千余里、★公葦  
 02 40 | 02 凜々氷鋪  
 02 40 | 03 漢家之三十六宮  
 02 40 | 04 澄々粉飾重々粉飾、城★公嘉里京▼久(重々)重々(澄々)  
 京)澄々粉■(食十希)尹澄(重)々粉飾▼鳳

02 40 | 05 (ナシ)「公乘億 長安八月十五夜月賦」[延ハ作者名ガ後]  
 為★延「公乘億」弘▼嵯「公乘億 十五夜賦」尹「公乘億  
 月賦」嘉「十五夜賦」里「長安八月十五夜賦 公乘億」京  
 ハ詩題ガ後、別筆」京▼鳳正「長安」▼鳳「公乘億」  
 戊  
 02 41 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉里京尊多戊▼久鳳正嵯》[里  
 ハ二四六ノ次】  
 02 41 | 01 織錦機中  
 02 41 | 02 已弁相思之字々弁相思之字、葦  
 02 41 | 03 擣衣砧上  
 02 41 | 04 俄添怨別之声 惣添怨別之声、城添怨別之声、関儀添怨別  
 之声、葦  
 02 41 | 05 (已上十五夜賦)「已上八月十五日夜」城「異同無」★伊  
 「八月十五夜」[雲ハ夜ノ下ニ後筆デ賦ヲ書ク]関雲「ナシ」  
 公寂尊戊「八月十五夜賦」葦尹▼久「同前」為延▼正「同」  
 弘▼鳳嵯「同上」嘉「已上八月十五夜 同上」京「十五日  
 夜賦」里「已上十五夜 賦公乘億」多  
 02 42 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉里京尊多唐戊▼久鳳正嵯》【文  
 集、佳句】  
 02 42 | 01 三五夜中新月色 三五中夜新月色「夜ニ反転符号有」公  
 02 42 | 02 二千里外故人心 二千里外故人情、公  
 02 42 | 03 (白)「(ナシ)公寂尊」(白 八月十五夜禁中独直对月)「延  
 ハ作者名ガ後」為延尹「八月十五夜禁中独直对月」多「(白  
 八月十五夜禁中独直对月寄元九(二四)」▼鳳  
 02 43 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉里京尊多唐戊▼久鳳正嵯》【文  
 集、佳句】  
 02 43 | 01 嵩山表裏千重雪

02 43 | 02 洛水高低兩顆珠

02 43 | 03 「白」〔同〕城関雲葦里〔ナシ〕公尊▼嗟〔已上白〕寂〔白〕

八月十五夜翫月〕〔延ハ作者名方後〕為延京〔已上白〕

八月十五夜翫月〕多〔白〕八月十五夜同諸客翫月〔七五〕▼

鳳

02 44 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉里京尊多唐戊▼久鳳正嗟》〔里

ハ二五〇ノ次〕【文粹】

02 44 | 01 十二廻中

02 44 | 02 無勝於此夕之好 無勝於此夕好、京里

02 44 | 03 千万里外

02 44 | 04 皆争於吾家之光 各争於吾家之光、関雲葦尊唐▼鳳嗟〔於ナ

シ▼嗟〕皆争於吾裳之光、公皆争於吾家光、弘皆〔各〕争

於吾家之光、延各〔皆〕争於吾家之光▼鳳嗟〔於ナシ▼嗟〕

【三木】各・皆

02 44 | 05 「紀」〔ナシ〕公弘尊〔紀〕天高秋月明〕寂京多〔紀納言

八月十五夜序〕為〔八月十五夜天高秋月明序 紀納言〕延

▼正〔十五夜十五夜序▼正〕〔明序明▼正〕〔紀納言 天

高秋月明序〕嘉〔紀納言〕里〔八月十五夜序 天高秋月明

紀〕▼鳳

02 45 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉里京尊多唐戊▼久鳳正嗟》〔京

ハ二四六ノ次〕【

02 45 | 01 碧浪金波三五初

02 45 | 02 秋風計会似空虚

02 45 | 03 「白」〔ナシ〕城関雲公葦寂尊多戊▼久〔菅淳茂〕〔★尹重

出〕弘尹〔淳茂 明月滿秋池〕尹〔菅淳茂 月影滿秋池〕〔延

▼正ハ作者名方後〕為延嘉京▼正〔同〕里〔月影滿秋池

淳茂〕▼鳳〔菅 四韻秀句 月影滿秋池〕▼嗟

02 46 | 00 《粘城伊関公葦寂為弘延尹嘉里京尊多唐戊▼久鳳正嗟》〔雲

ナシ、京ハ二四五ノ前〕【

02 46 | 01 自疑荷葉凝霜早 自疑荷葉凝雨早〔校本ハ早ヲ子トスルガ、早

ノ草体デヨイ〕★公自疑荷葉凝霜早、里

02 46 | 02 人導蘆花遇雨余 人導蘆花過雨余、城公寂為弘延尹嘉里京尊

唐戊▼久鳳正嗟 人導蘆花過雨余〔関ノ導ハ善カ〕関葦人導

蘆花遇〔過〕雨余、多

02 46 | 03 「ナシ」〔同人〕京〔同〕▼嗟

02 47 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉里京尊多唐戊▼久鳳正嗟》【

02 47 | 01 岸白還迷松上鶴

02 47 | 02 潭融可弄藻中魚 潭融可算藻中魚、★城関雲公葦為弘延尹嘉

里京尊唐▼久鳳正嗟 潭融可算藻中魚、寂戊 潭融可〔心〕算

藻中魚、多

02 47 | 03 「ナシ」〔同〕▼嗟

02 48 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉里京尊多唐戊▼久鳳正嗟》【

02 48 | 01 瑤池便是尋常号 〔瑤〕池便〔是〕尋常号、里

02 48 | 02 此夜清光玉不如 此夜清明玉不如〔雲ハ如ノ下ノ玉ヲ削ルカ〕

城雲葦寂為弘延尹嘉京尊唐▼久 此夜清明不如玉、関 此夜清先

玉不如、公 今夜清明玉不如、★延里▼正嗟 此夜清光玉不知

〔如〕ハ虫損ダガ 〔知〕カ 多 〔三木〕清明・清光

02 48 | 03 「淳茂」〔月影滿秋池 淳茂〕〔弘ハ作者名方先〕城関雲弘

尹戊▼久〔ナシ〕公為尊▼正〔以上淳茂〕寂〔已上四韻八

句〕延〔四韻已上同人〕嘉〔月影滿秋池 涼義〕里〔已上月

影滿秋池 淳茂多〔已上同〕▼鳳〔同 已上四韻 月影滿

秋池〕▼嗟

02 48 | 03 「淳茂」〔月影滿秋池 淳茂〕〔弘ハ作者名方先〕城関雲弘

尹戊▼久〔ナシ〕公為尊▼正〔以上淳茂〕寂〔已上四韻八

句〕延〔四韻已上同人〕嘉〔月影滿秋池 涼義〕里〔已上月

影滿秋池 淳茂多〔已上同〕▼鳳〔同 已上四韻 月影滿

- 02 49 | 00 《粘城伊関雲葦寂為弘延尹嘉里京尊多戊》久鳳正嵯 《「公ナシ」〇
- 02 49 | 01 今膏一滴秋風露 金膏一滴秋風露、城伊関雲葦寂為弘延尹嘉里京尊多戊 久鳳正嵯
- 02 49 | 02 玉匣三更冷漢雲 玉匣三更 (五イ) 冷漢雲 「傍記ハ訓「カウ」ノ誤写カ」延
- 02 49 | 03 「菅三品」 「満月明如鏡 菅三品」 「城ノ如鏡ハ推読、嵯ハ作者名ガ先」 城関雲為尹嘉里多 久鳳正嵯 「ナシ」尊 「満月明如鏡」延 「菅 満月明如鏡」京
- 02 50 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉里京尊多戊》久鳳正嵯 《類聚句題抄》
- 02 50 | 01 楊貴妃帰唐帝思 楊貴妃還唐帝思、寂 楊貴妃 「帰」唐帝思、多
- 02 50 | 02 李夫人去漢皇情 李夫人別漢皇情、葦
- 02 50 | 03 「順」 「対雨恋月 順」 「城ノ月ハ推読、京」嵯ハ作者名ガ先 「城関雲為尹嘉里多」久鳳正嵯 「ナシ」公尊 「対雨恋月 源順」延 正
- 02 51 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延貢嘉里京尊多戊》久鳳正嵯 《拾遺抄一五、拾遺一七一、順》
- 02 51 | 01 みつのおもに みつのおんに 久
- 02 51 | 02 てるつきなみを
- 02 51 | 03 かそふれは
- 02 51 | 04 こよひそあきの こよひの (そ) あきの 鳳
- 02 51 | 05 もなかなりける もなかなりけれ延
- 02 51 | 06 「ナシ」 「順」 城関雲為延尹嘉里京多戊 久鳳正嵯
- 30 00 | 09 月 「行間補入」 久
- 02 52 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉里京尊多戊》久鳳正嵯 《文集》

- 02 52 | 01 誰人隴外久征戌 誰人隴外久征戌、里
- 02 52 | 02 何処庭前新別離
- 02 52 | 03 「白」 「ナシ」公尊 「白 秋月」 「延正ハ作者名ガ後」為延京 鳳正 「秋月」 「二六」 鳳
- 02 53 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉里京尊多戊》久鳳正嵯 《佳句》
- 02 53 | 01 秋水漲来船去速
- 02 53 | 02 夜雲収尽月行遅
- 02 53 | 03 「野郢展」 「郢展」 城関雲葦戊 久正嵯 「野展郢」 ★伊 「ナシ」公寂弘尹尊 「野展」野 汗水東帰即事 「★為重出」 「朱」為 「野展 汗水東帰即事」 「汗水汗カ」延 「野展」嘉里 ★京 「郢展 汗水東帰」 鳳
- 02 54 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉里京尊多戊》久鳳正嵯 《文集、佳句》
- 02 54 | 01 不醉黔中争去得 不醉黔中争得去、公里
- 02 54 | 02 磨团山月正蒼々 磨团山月正蒼々、葦 磨团山月正蒼々、京 鳳嵯 「摩 磨」 「磨イ」 「鳳ハ「イ」ナシ」京 鳳 「摩团山月 正蒼々、里
- 02 54 | 03 「白」 「ナシ」伊公里尊 嵯 「白 送蕭処士遊黔南」為嘉京 鳳 「送蕭処上遊黔南」 ★延
- 02 55 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉里京尊多戊》久鳳正嵯 《
- 02 55 | 01 天山不弁何年雪 天山不弁何年雪 (雪) 京
- 02 55 | 02 合浦応迷旧日珠
- 02 55 | 03 「統理平」 「平推読」 城 「ナシ」公里尊 「平」寂 「三統理平 禁中翫月」為嘉 「禁中翫月 統理平」延 鳳正 「統理平 禁中月」尹 「禁 (林イ) 中翫月 同イ 統理平」京



- 02 56 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉里京尊戊》久鳳正嵯 《「嘉ハ  
二五七ノ次、為ハ「鶴」字以下落丁」》
- 02 56 | 01 欲和豊嶺鐘声否 欲和豊嶺鍾声否、公里
- 02 56 | 02 其奈華亭鶴警何 其奈花亭鶴警何、城弘嘉里 久 其奈花庭鶴  
言何、公 其奈花亭鶴驚何、★延★京▼正花華▼正
- 02 56 | 03 「中書王」 「夜月似秋霜 中書王」 「城ノ書王ハ推読」 城関雲  
為尹▼久 「ナシ」 公里尊 「前中書王」 葦弘戊 「夜月似秋霜  
前中書王」 「京▼嵯ハ作者名ガ先、▼嵯ノ「王」ト「秋霜」ハ  
切断」 延嘉京▼鳳正嵯「秋霜」 秋月、嘉夜□「秋霜」 京
- 02 57 | 00 《粘城伊関雲葦寂弘延尹嘉里京尊戊》久鳳正嵯 《「公ナシ、嘉  
ハ二五六ノ前」》
- 02 57 | 01 郷涙数行征戌客
- 02 57 | 02 棹歌一曲釣漁翁 棹歌一曲釣魚翁、嘉京
- 02 57 | 03 「保胤」 「山川千里月 保胤」 「城ノ月ハ推読、▼嵯ハ作者  
名ガ先」 城関雲延尹里京▼久鳳正嵯「山川」 山里、里「月」ナ  
シ尹「保胤」 慶保胤▼正
- 02 58 | 00 《粘城伊関雲公葦寂弘延尹嘉里京尊戊》久鳳正嵯 《「古今四  
〇六、新撰和歌、六帖」》
- 02 58 | 01 あまのはらあまのかは「ら」 「別筆、ミセケチハナイガあま  
のはらノ意」 城
- 02 58 | 02 ふりさけみれは
- 02 58 | 03 かすかなる
- 02 58 | 04 みかさのやまにみかさの山を尊
- 02 58 | 05 いてしつきかもいてしつきかん関いてし月かけ(も)京
- 02 58 | 06 「安部仲丸」 「仲丸」 城関雲葦寂延嘉京戊▼久 「ナシ」 伊公  
里尊 「安倍仲丸」 弘 「安倍仲丸 於唐所詠」 「正ハ作者名ガ  
後」 ▼鳳正
- 02 59 | 00 《粘城伊関雲公葦寂弘延尹嘉里京尊戊》久鳳正嵯 《「京ナシ」 「古  
今一九一、新撰万葉、新撰和歌、六帖」》
- 02 59 | 01 しろくもにしろくんに関
- 02 59 | 02 はねうちかはし
- 02 59 | 03 とふかりのとふとりの延嘉▼久
- 02 59 | 04 かけさへみゆるかすさへ見ゆる弘延尹嘉里京尊戊▼久鳳正「か  
すかす(け) 「同筆力」 ▼正
- 02 59 | 05 あきのよのつきあきのつき里あきよのつき▼嵯
- 02 59 | 06 「ナシ」 「躬恒」 弘延 「人丸」 ▼正 「読人不知」 ▼嵯
- 02 60 | 00 《粘城伊関雲公葦寂弘延尹嘉里京尊戊》久鳳正嵯 《「拾遺抄  
四九七、拾遺四三二」》
- 02 60 | 01 よにふれは
- 02 60 | 02 ものおもふとしもものおんふとしん関ものおもふとしハ  
里
- 02 60 | 03 なけれともなけれとん城関雲葦
- 02 60 | 04 つきにいくたひいくたひ月に城関雲葦為嘉京
- 02 60 | 05 なかめしつらん
- 02 60 | 06 「後中書王」 「ナシ」 公里尊 「具平親王」 尹
- 30 00 | 10 九日「付菊」 九日、公寂弘 九月九日「付菊」 里「九月」 九日  
「付菊」 京
- 02 61 | 00 《粘城伊関雲公葦寂弘延尹嘉里京尊戊》久鳳正嵯 《「文苑  
英華、佳句」》
- 02 61 | 01 燕知社日辞巢去
- 02 61 | 02 菊为重陽冒雨開 菊为重陽冒雨(露)開、寂菊为重陽冒雨(雨)  
開、京
- 02 61 | 03 「李端」 「ナシ」 公尊 「李喬」 嘉 「秋日東群作 李端」 「詩  
題ハ別筆」 京 「秋日東作林 李端」 ▼正

- 02 62 00 《粘城伊関雲公葦寂弘延尹嘉里京尊戊阪》久鳳正嵯【文粹】
- 02 62 01 採故事於漢武
- 02 62 02 則赤莢挿宮人之衣
- 02 62 03 尋旧跡於魏文 尋旧蹤於魏文
- 02 62 04 亦黄花助彭祖之術 亦黄花助（助歟）彭祖之術、★伊
- 02 62 05 「ナシ」〔紀納言〕弘里 〔觀賜群臣菊花 紀納言〕延嘉京  
正〔觀〕視、嘉〔菊花〕菊花序、京 〔紀〕尹戊▼嵯 〔觀賜群  
臣菊花序 紀〕▼鳳
- 02 63 00 《粘城伊関雲公葦寂弘延尹嘉里京尊戊阪》久鳳正嵯【文粹】
- 02 63 01 先三遲兮吹其花 先三遲而吹其花、戊 先三遲兮吹其華▼  
嵯
- 02 63 02 如曉星之転河漢 如曉星転河漢 〔補入符号ノミ有〕▼嵯
- 02 63 03 引十分兮蕩其彩 引十分蕩其彩 〔雲ハ後補デ兮ヲ書ク〕関雲 引  
十分兮薄其彩、里 引十分而蕩其彩、戊
- 02 63 04 疑秋雪之廻洛川 疑秋雪廻洛川、寂 〔校本ハ雪ヲ雲トスルガ  
異同無〕★尊 疑秋雪〔之〕廻洛川 〔別筆旁補〕阪
- 02 63 05 「ナシ」〔同前〕弘延▼正 〔白〕尹 〔同〕嘉▼嵯 〔紀納言〕  
里 〔紀納言〕白 〔京〕〔紀〕戊
- 02 64 00 《粘城伊関雲公葦寂弘延尹嘉里京尊戊阪》久鳳正嵯【文  
粹】
- 02 64 01 谷水洗花 谷水洗華、京▼嵯
- 02 64 02 汲下流而得上寿者三十余家 汲下流得上寿者三十余家、公
- 02 64 03 地脈和味 地血和味、関雲公葦▼久 池血〔和〕味〔和ハ味ヘノ  
傍記ト見ナスモ可〕★公 地脈〔血イ〕和味、寂嘉 地血〔脈  
和味▼久 〔行末欄外ニ〕血 〔アリ〕戊
- 02 64 04 喰日精而駐年顔者五百箇歳 餌日精而駐年顔者五百箇歳、城

- 02 64 05 〔已上紀〕〔紀〕▼嵯ハ別筆デ已上紀字群臣菊酒序ト有 〔  
日精而駐年顔者五百箇歳、京 〔喰ニ餌ヲ傍記〕▼嵯  
城関雲葦寂戊阪▼嵯 〔ナシ〕公尊 〔紀納〕弘 〔同〕延嘉▼  
正 〔紀〕九日翫菊詩序 尹 〔紀納言〕已上同上 翫菊序 〔  
京 〔紀納言〕里 〔已上同〕▼鳳
- 02 65 00 《粘城伊関雲公葦寂弘延尹嘉里京尊戊阪》久鳳正嵯【拾遺  
一八四、中務、元輔】
- 02 65 01 わかやとの
- 02 65 02 きくのしらつゆきくのしら露き、里
- 02 65 03 けふことにけふよりは嘉京
- 02 65 04 いくよたまりていくよつもりて 〔公ハ幾夜積〔点〕〕公寂尹  
嘉京尊阪▼鳳正嵯
- 02 65 05 ふちとなるらん 〔ふちとなりけむ葦ふちとなりなむ〕▼久
- 02 65 06 〔中務〕〔ナシ〕公里尊 〔元輔 中務〕▼鳳 〔清原元輔〕▼  
嵯
- 30 00 11 菊 〔行間補入〕▼久
- 02 66 00 《粘城伊関雲公葦寂弘延尹嘉里京尊戊》久鳳正嵯【里ハコ  
ノ句ノ前ニ二六八ノ句有】【文集、佳句】
- 02 66 01 霜蓬老鬢三分白 霜蓬旧鬢三分白 〔老ヲ削ツテ旧ヲ書クカ〕  
雲 〔三木〕旧・老
- 02 66 02 露菊新花一半黄 露菊新華一半黄▼嵯
- 02 66 03 〔白〕〔ナシ〕公尊 〔九月八日州皇甫十見贈 白〕★延  
〔白 九月八日〕京 〔白 九月八日酬皇甫十見贈〔七七〕〕▼  
鳳
- 02 67 00 《粘城伊関雲公葦寂弘延尹嘉里京尊戊》久鳳正嵯【元氏長  
慶、佳句】

- 02 67 01 不是花中偏愛菊 不是華中偏愛菊 ▼ 嵯
- 02 67 02 此花開後更無花 此花開尽更無花、公 ▼ 正 此花開後 (尽イ) 更無花 「▼ 嵯ハ「イ」ナシ、前句二六六ヘノ傍記ニミエルガ判読」京嘉 ▼ 嵯 「【三木】尽・後
- 02 67 03 「元」 「ナシ」公尊 「元積」弘 ▼ 正 「菊花 元積」延 「白」里 「元」菊花 ▼ 鳳
- 02 68 00 《粘城伊公寂弘延尹嘉里京尊戊 ▼ 久鳳正嵯》「関雲葦ナシ。城ハ二七一ノ次。里ハ二六六ノ前ニモ重出」
- 02 68 01 嵐陰欲暮
- 02 68 02 契松柏之後凋
- 02 68 03 秋景早移
- 02 68 04 嘲芝蘭之先敗 朝芝蘭之先敗、公
- 02 68 05 「殘菊 紀」 「ナシ」公寂尊 「翫禁庭殘菊 紀納言」 「京ハ詩題ガ後」延嘉京 ▼ 正「禁庭 禁掖 ▼ 正」 「殘菊 殘菊序、京」 「殘菊序 紀」 「▼ 嵯ハ作者名ガ先」尹 ▼ 鳳 嵯 「殘菊 紀納言」里 「翫禁掖 イ有」殘菊序 紀 ▼ 鳳 「紀」戊
- 02 69 00 《粘城伊関雲公葦寂弘延尹嘉里京尊戊 ▼ 久鳳正嵯》「久ハ二七一ノ次」
- 02 69 01 酈泉村閭皆潤屋
- 02 69 02 陶家兒子不垂堂
- 02 69 03 「善相公」 「菊散一叢金 善相公」 「京 ▼ 嵯ハ作者名ガ先、▼ 嵯ノ叢金ハ切斷」城関延里京 ▼ 久鳳正嵯 「一開、里」 「後筆デ菊散一叢金ヲ書ク」雲 「ナシ」公尊 「善相公清行」嘉
- 02 70 00 《粘城伊関雲公葦寂弘延尹嘉里京尊戊 ▼ 久鳳正嵯》
- 02 70 01 蘭苑自慙為俗骨
- 02 70 02 槿籬不信有長生 僅籬不信有長生、里
- 02 70 03 「保胤」 「菊是花中仙 保胤」 「城ノ中仙ハ推読」城関延 「花華、延」 「後筆デ菊是草中仙ヲ書ク、□ヲ削ッテ草ヲ

- 02 71 00 《粘城伊関雲公葦寂弘延尹嘉里京尊戊 ▼ 久鳳正嵯》「公ナシ」
- 02 71 01 蘭蕙苑嵐摧紫後 蘭蕙苑嵐摧紫後、延
- 02 71 02 蓬萊洞月照霜中
- 02 71 03 「菅三品」 「花寒菊点叢 菅三」 「城ノ菊点ト三ハ推読」城関 「後筆デ花寒菊点叢ヲ書ク」雲 「花寒菊点叢 菅三品」延嘉京 ▼ 久鳳正「花寒 菊寒 ▼ 正」 「ナシ」尊 「菅三品 花寒 菊点 (照イ) 叢」京 「菅」 ▼ 嵯
- 02 72 00 《粘城伊関雲公葦寂弘延尹嘉里京尊戊 ▼ 久鳳正嵯》「城関雲公葦弘延尹里尊戊 ▼ 久鳳正嵯ハ二七三ノ次」 【古今二六九、六帖、敏行】
- 02 72 01 ひさかたの
- 02 72 02 くものうへにてくものうゑにも (て) 城くんのうへにて関
- 02 72 03 みるきくはみるきくは 「つノ上カラキヲ書クカ」 ★関 見るときは里
- 02 72 04 あまつほしとそあまつほしかと戊
- 02 72 05 あやまたれけるあやまたれけり戊
- 02 72 06 「敏行」 「ナシ」公尊 「繁行」嘉 「敏行朝臣」戊
- 02 73 00 《粘城伊関雲公葦寂弘延尹嘉里尊戊 ▼ 久鳳正嵯》「京ナシ」 【古今二七七、新撰和歌、六帖、躬恒】
- 02 73 01 こゝろあてに
- 02 73 02 をらはやをらむ
- 02 73 03 はつしものはつしんの雲

- 02 73 | 04 おきまとはせる―おきまよはせる延
- 02 73 | 05 しらきくのはな
- 02 73 | 06 「躬恒」―「ナシ」公尊―「三常」葦
- 30 00 | 12 九月尽
- 02 74 | 00 《粘城伊関雲公葦寂弘尹嘉里京尊多下戊》久鳳正嵯《「延ハ  
題「九月尽」マデ存、以下二九一題「權」マデ落丁」【文粹】
- 02 74 | 01 縦以嶠函為固、縦以嶠函為函、公縦以嶠遂為固、葦縦以嶠
- 02 74 | 02 難留蕭瑟於雲衢、難留蕭瑟於雲衢、★城誰留蕭瑟於雲衢、  
戊
- 02 74 | 03 縦令孟賁而追、縦令孟賁而追「別筆」雲縦以孟賁而追、  
下
- 02 74 | 04 何遮爽籟於風境、何遮爽籟於風境、公何遮爽籟於露馭、下
- 02 74 | 05 「順」―「ナシ」公尊―「山寺九月尽」順―「嵯ハ作者名ガ先」尹  
▼久嵯―「順」九月尽日於仏性院惜秋序「嘉京多」序「ナシ多」  
〔九月尽「日イ」於仏性院惜秋 順〕▼鳳―「源順」▼正
- 02 75 | 00 《粘城伊関雲公葦寂弘尹嘉里京尊多下戊》久鳳正嵯《【
- 02 75 | 01 頭目縦随禪客乞、頭目縦随禪僧乞、関「□ヲ削ッテ客ヲ書ク、  
□ハ僧カ」雲―頭目縦随禪「客」乞、多
- 02 75 | 02 以秋施与太応難、以秋施与太以難、関「□ヲ削ッテ応ヲ書ク」  
雲―以秋施「与」太応難、多
- 02 75 | 03 「順」―「山寺九月尽」順―「城ノ尽ハ推読、京ハ詩題ガ後」城  
関葦京里多下▼鳳―「後筆デ山寺九月尽ヲ書ク」雲―「ナシ」  
公尊―「同人」弘―「山寺九月尽」同「嘉」〔同前〕▼久―「同詩  
同人」▼正
- 02 76 | 00 《粘城伊関雲公葦寂弘尹嘉里京尊多下戊》久鳳正嵯《【

- 02 76 | 01 文峰案轡白駒景、文峰案轡白駒影、城関雲里下戊▼嵯、文峰案  
轡白駒景（影イ）嘉
- 02 76 | 02 詞海艤舟紅葉声、詞海装舟紅葉声、城関里「□ヲ削ッテ艤ヲ  
書ク」雲―詞海艤（装 行成自筆）舟紅葉声▼鳳
- 02 76 | 03 「以言」―「秋未出詩境 以言」〔城ノ出詩ト言ハ推読、京▼  
嵯ハ作者名ガ先〕城関京里多▼久鳳嵯〔境鏡▼嵯〕―「ナシ」  
公尊―「秋未出詩境 江以言」嘉▼正〔未―来▼正〕
- 02 77 | 00 《粘城伊関雲公葦寂弘尹嘉里京尊多下戊》久鳳正嵯《【風雅  
一五八六】
- 02 77 | 01 やまさひし
- 02 77 | 02 あきもすきぬとあきもつきぬと城あきもくれぬと関雲公寂  
弘尹里尊多戊▼鳳正嵯あきもくれ（つき）ぬと関あきもす  
きぬ（クレ）と下あきもすき（くれ）ぬと▼久
- 02 77 | 03 つくるかもつくるかん雲つくるかな弘つくるかは里
- 02 77 | 04 まぎのはことにをきのはことに嘉きくのはこと里
- 02 77 | 05 おけるあさしもおけるあさしん関雲
- 02 77 | 06 「八束」―「ナシ」公寂里京尊多戊▼嵯―「右少弁」尹
- 02 78 | 00 《粘城伊関雲公葦寂弘尹嘉里尊下戊》久鳳正嵯《「京ナシ」【拾  
遺抄一三三、拾遺二二四】
- 02 78 | 01 くれてゆく
- 02 78 | 02 あきのかたみに「秋」の遊影に公
- 02 78 | 03 おくものはをくものは城伊関雲公葦寂弘尹里尊下戊▼久  
鳳正嵯おくんのは雲おく△のは寂をく□のは「磨滅カ」  
弘おくしもは嘉
- 02 78 | 04 わかもとゆひのわかんとゆひの雲
- 02 78 | 05 しもにそありけるしんにそありける「んカ」関しもにそあ  
りける「もカ」雲しもにさりける葦戊露にそありける尹し  
もそにそありける下しもそありける▼久

- 02 78 | 06 「兼盛」 「ナシ」 「雲ハ後補デ兼盛ヲ書ク」 関雲公尹尊  
 30 00 | 13 女郎花  
 02 79 | 00 《粘城伊関雲公葦寂弘尹嘉里京尊下戊》久鳳正嵯 《【文粹】》  
 02 79 | 01 花色如蒸栗 花色如遂栗、★公 花色如蒸栗 (栗 南) ▼鳳 花  
     色如蒸栗、戊 華色如蒸栗 ▼嵯  
 02 79 | 02 俗呼為女郎 俗乎為女郎 「口篇磨滅カ」 ★公  
 02 79 | 03 聞名戲欲契偕老 聞名戲欲契階 (偕) 老、尹 聞名戲欲契階老、  
     嘉  
 02 79 | 04 恐惡衰翁首似霜 恐惡 「去」 「声」 衰翁首似霜 ▼久  
 02 79 | 05 「順」 「ナシ」 関公尊 「順 詠女郎花」 「正ハ詩題ガ先」 京  
     ▼正「順」源順 ▼正  
 02 80 | 00 《粘城伊関雲公葦寂弘尹嘉里京尊下戊》久鳳正嵯 《【里ハ二  
     八二ノ次】「古今二二九、新撰万葉、新撰和歌、六帖、寛平  
     御時后宮歌合】  
 02 80 | 01 をみなへしをみなぬ (へ) し里  
 02 80 | 02 おほかるのへにおほくのへに嘉  
 02 80 | 03 やとりせは やとり □□ 「破損」 尊  
 02 80 | 04 あやなくあたの あやなくあきの城 あやなくあや (夕) の  
     下  
 02 80 | 05 なをやたつへき なをやたちなん城 関雲公 なをやたつへき  
     (チナム) 「▼鳳傍記ハ「チナン 行成」下 ▼鳳 なをやた  
     まし ▼嵯  
 02 80 | 06 「野美材」 「美材」 城寂尹 「ナシ」 公里尊 「遍照」 弘 「遍昭  
     僧正」 尹 「花山僧正」 京 「小野美材」 戊 「良僧正 美材イ」  
     ▼嵯  
 02 81 | 00 《粘城伊関雲公葦寂弘尹嘉里尊下戊》久鳳正嵯 《【京ナシ】。里  
     ハ二八〇ノ前】「新古今七八二、六帖】

- 02 81 | 01 をみなへしをみなぬ (へ) し里  
 02 81 | 02 みるにこゝろは みるにこゝろ下  
 02 81 | 03 なくさまて  
 02 81 | 04 いとゝむかしの いとゝんかしの 関雲  
 02 81 | 05 あきそ恋しき 「あきそさノ後、こひしきヲ書クカ」 城 人そ  
     こひしき ▼鳳嵯  
 02 81 | 06 「清慎公」 「北宮御着裳屏風哥 清慎公」 城 関雲葦下 ▼久  
     「ナシ」 公尊 「北宮御着裳屏風哥」 里 「清慎公 北宮御着裳  
     屏風歌」 ▼鳳  
 30 00 | 14 萩  
 02 82 | 00 《粘城伊関雲公葦寂弘尹嘉里京尊下戊》久鳳正嵯 《【新撰万  
     葉】  
 02 82 | 01 曉露鹿鳴花始発 曉露鹿鳴華始発、嘉 ▼嵯 曉露鹿鳴花初発、  
     下  
 02 82 | 02 百般攀折一時情 百般攀挿一時情、伊 百般攀一時情、公 百  
     般攀折一時情、★京  
 02 82 | 03 「ナシ」 「新万葉集」 城 関雲里 「新撰万葉集」 葦下戊 ▼久鳳  
     「菅」 嘉 「新撰万葉集 作者可尋」 「京ハ別筆」 京 ▼正 「新撰  
     万葉集」 ナシ ▼正 「菅 新撰万葉集」 ▼嵯  
 02 83 | 00 《粘城伊関雲公葦寂弘尹嘉里京尊下里戊》久鳳正嵯 《【京ナシ】「拾  
     遺八一二、躬恒】  
 02 83 | 01 あきのゝに  
 02 83 | 02 はきかるをのこ はきかるをの城  
 02 83 | 03 なはをなみ なをなみ 城 花をなみ 寂 はなをなみ 里  
 02 83 | 04 ねるやねりその ねりやねりその 嘉戊 ▼嵯  
 02 83 | 05 くだけてそおもふくたけてそ おんふ関雲 みたれてそ思、  
     葦

- 02 83 | 06 「ナシ」 「躬恒」 「城ハ別筆」 城弘 「元輔」 尹 「人丸」 嘉戊  
▼嗟 「人丸 躬恒」 「人丸ハ後補カ」 ▼正
- 02 84 | 00 《粘城伊関雲公葦寂弘尹嘉里京尊下戊▼久鳳正嗟》 【拾遺一  
八三、新撰和歌、六帖、伊勢】
- 02 84 | 01 うつろはむ
- 02 84 | 02 ことたにをしき
- 02 84 | 03 あきはきに あきはきゆ (そ) 「左旁二にト別筆」 城 あきは  
きを 「公ハ秋萩遠」 公葦
- 02 84 | 04 をれぬはかりもをれぬはかりん関雲おれるはかりに弘  
嘉をれるはかりも尹おれぬはかりに戊
- 02 84 | 05 おけるつゆかなをけるしらつゆ京下 おけるしらつゆかな  
里
- 02 84 | 06 「いせ」 「ナシ」 公尊 「伊勢 亭子院御屏風」 ▼鳳
- 02 85 | 00 《粘城伊関雲公葦寂弘尹嘉里尊戊▼久鳳正嗟》 「京ナシ」 【麗  
花、元輔】
- 02 85 | 01 あきのゝのあきのゝ 「の」 城 あきのゝに尹里 あきの  
ゝ戊
- 02 85 | 02 はきのにしきを はきのに (に) しきを 「本行にノ字母ガ兒  
ユエノ傍記カ」 ★城
- 02 85 | 03 ふるさとに わかやとに弘尹嘉尊へふるさとに ▼嗟
- 02 85 | 04 しかのねなから しかのねな 「か」 城 しかねなからに関し  
かねなからん 「んハもノ意カ」 雲
- 02 85 | 05 うつしてしかな
- 02 85 | 06 「元輔」 「ナシ」 公里尊 ▼鳳 「元輔或本入道」 嘉
- 30 00 | 15 蘭
- 02 86 | 00 《粘城伊関雲公葦寂弘尹嘉里京尊戊▼久鳳正嗟》 【文集、佳  
句】
- 02 86 | 01 前頭更有蕭条物 前頭更有簫条物、城

- 02 86 | 03 「白」 「ナシ」 「雲ハ後補デ白ヲ書ク」 雲公尊 「白 抄秋独  
夜」 「正ハ詩題ガ先」 京 ▼鳳正 「独夜 独夜 (七七) ▼鳳」
- 02 87 | 00 《粘城伊関雲公葦寂弘尹嘉里京尊戊▼久鳳正嗟》 【文粹】
- 02 87 | 01 扶桑豈無影乎
- 02 87 | 02 浮雲掩而忽昏 浮雲掩而忽暗 ▼嗟
- 02 87 | 03 叢蘭豈不芳乎 叢蘭豈不芳哉、葦
- 02 87 | 04 秋風吹而先敗 秋風 「吹」 而先敗、寂
- 02 87 | 05 「菟裘賦 中書王」 「兔裘賦 中書王」 「弘ハ作者名ガ先」  
城関雲弘 「中書王」 伊 「ナシ」 公尹尊 「兔裘賦 前中書王」  
「葦ノ他モ 「前」 カ、京 ▼嗟ハ作者名ガ先」 ★葦嘉京里 ▼鳳  
正嗟 「後中書王」 寂 「前中書王」 戊
- 02 88 | 00 《粘城伊関雲公葦寂弘尹嘉里京尊戊▼久鳳正嗟》 【
- 02 88 | 01 凝如鳳女顔施粉 凝如漢女顔施粉、城関雲公葦寂弘尹嘉里京  
尊戊 ▼久鳳正嗟 凝如鳳 (漢イ) 女顔施粉、★伊 凝如漢 (鳳)  
女顔施粉 ▼鳳
- 02 88 | 02 滴似鮫人眼泣珠
- 02 88 | 03 「都」 「紅蘭受露 都」 「城ノ露ハ推読、雲ハ後補デ良香ヲ書  
ク」 城関雲里 ▼久 「ナシ」 公尊 「良香」 寂 「都良香」 弘戊  
「紅蘭受露」 尹 「紅葉受露 都良香」 嘉 「都良香 紅蘭愛  
露」 「正ハ詩題ガ先」 京 ▼正 「愛 愛 (受イ) 京」 「紅蘭受露  
都良香」 ▼嗟ハ作者名ガ先 ▼鳳嗟
- 02 89 | 00 《粘城伊関雲公葦寂弘尹嘉里京尊戊▼久鳳正嗟》 【天徳三年  
関詩行事略記】
- 02 89 | 01 曲驚楚客秋絃馥
- 02 89 | 02 夢断燕姬晓枕薰
- 02 89 | 03 「直幹」 「蘭氣入輕風 直幹」 「城ノ輕ハ推読、京 ▼嗟ハ作者

- 02 90 | 01 ぬしゝらぬ
- 02 90 | 02 かこそにはほへれかはにほひつゝ城関雲公葦弘尹里尊戊▼
- 久かはにをひつゝ「を二削訂カ」弘かこそにはほへれ(ハニホヒツゝ)▼鳳
- 02 90 | 03 あきのゝに
- 02 90 | 04 たかぬきかけし
- 02 90 | 05 ふちはかまそも
- 02 90 | 06 「素性」(「ナシ」)公葦尹尊「素性法師」▼正
- 30 00 | 16 權
- 02 91 | 00 《粘城伊関雲公葦寂弘延尹嘉里京尊戊▼久鳳正嵯》「延ハ二七四カラ二九一題「權」マデ落丁」【文集】
- 02 91 | 01 松樹千年終是朽「校本ハ年ノ校異ヲ採ルガ異体字ユエ削除」
- ★葦
- 02 91 | 02 權花一日自為榮 權籬一日為榮、公權華一日自為榮▼嵯
- 02 91 | 03 「白」(「ナシ」)公尊「彩言詩 白」延「白 放言詩」「正ハ後補カ」▼鳳正
- 02 92 | 00 《粘城伊関雲公葦寂弘延尹嘉里京尊戊▼久鳳正嵯》「延ハ二九一題「權」マデ落丁」【文粹】
- 02 92 | 01 来而不留
- 02 92 | 02 薤穉有抃晨之露 ■(菲十しんにゆう)穉穉有抃晨之露、城薤隴有抃晨之露、関雲公延尊▼嵯 薤穉有抃農之露、葦
- 02 92 | 03 去而不返
- 02 92 | 04 權籬無投暮之花 權籬無後暮之花、伊權籬無捉暮之花、嘉權籬無投暮之華、京

- 02 92 | 05 「願文 中書王」(「願文 前中書王」)▼嵯ハ作者名ガ先
- 城葦▼嵯「(「ナシ」)公尹里尊「(前中書王)寂弘戊「(修善願文 前中書王)」(京ハ詩題ガ後、▼鳳ノ修善ハ補入」)延京▼鳳正「(自筆法花経供養願文 前中書王)嘉
- 02 93 | 00 《粘城伊関雲公葦寂弘延尹嘉里京尊戊▼久鳳正嵯》「弘延尹ハ二九四ノ次」【六帖、新勅撰二五一】
- 02 93 | 01 おほつかな
- 02 93 | 02 たれとかしらむたれそかしらん延
- 02 93 | 03 あさきりのあさきりの城伊関雲公葦寂弘嘉里京尊戊▼久鳳正 秋きりに延
- 02 93 | 04 たえまにみゆるなは(たえ)まに見ゆる城□□「二字不明」まにみゆる寂たえまと見ゆる里
- 02 93 | 05 あさかほのはな
- 02 93 | 06 「(「ナシ」)「(順)弘▼久「(前中書王)延京「(言正中将)▼嵯
- 02 94 | 00 《粘城伊関雲公葦寂弘延尹嘉里京尊戊▼久鳳正嵯》「京ナシ」【拾遺一二八三、道信】
- 02 94 | 01 あさかほを
- 02 94 | 02 なにはかなしと
- 02 94 | 03 おもひけむおんひけむ関▼久思らむ、寂▼鳳
- 02 94 | 04 ひとをん花は人をもはなは城伊公葦弘延尊戊▼鳳正嵯
- 02 94 | 05 いかみらむいかみらむ(さこそ見るらめ)城さこそみるらめ葦寂弘延尹嘉里京尊戊▼鳳正嵯 いか(さこそ)みるらん▼久
- 02 94 | 06 「道信少将」(「道信中将」)城関雲葦弘延戊▼久鳳正嵯「(「ナシ」)公尹里尊「(道信)寂嘉
- 30 00 | 17 前栽 前栽、城

- 02 95 | 00 《粘城伊関雲公葦寂弘延尹嘉里京尊戊》久鳳正嵯【】
- 02 95 | 01 多見栽花悦目儔・多見栽花悦目儔、城尹・多見栽花悦目伝、公・多見栽花悦目儔、花悦目儔、尹・多見栽花悦目儔、嵯
- 02 95 | 02 先時予養待開遊・光（先）時予待同遊、公
- 02 95 | 03 「ナシ」―「菅三品」弘嘉里―「栽秋花 菅三品」〔京ハ詩題ガ後〕延京▼鳳正―「菅」▼嵯
- 02 96 | 00 《粘城伊関雲公葦寂弘延尹嘉里京尊戊》久鳳正嵯【】
- 02 96 | 01 自吾閑寂家僮倦・自吾閑寞家僮倦、城・自吾寂寞家僮倦、関雲・自吾閑寂家僮倦、葦京・【三木】閑寞・閑寂
- 02 96 | 02 春樹春栽秋草秋・春樹春栽（栽）秋草秋、尹
- 02 96 | 03 「菅三品」―「菅三」関雲里―「ナシ」公尊―「同」弘延▼鳳嵯―「文時イ 同前題同人」★京〔同 已上絶句〕嘉〔同前〕▼正
- 02 97 | 00 《粘城伊関雲公葦寂弘延尹嘉里京尊戊》久鳳正嵯【】
- 02 97 | 01 閑思看汝花紅日・思閑看汝花紅日〔閑ニ反転符号有〕雲・閑思看汝華紅日▼嵯
- 02 97 | 02 正是当吾鬢白時・正是当吾鬢白時、城・正是当吾鬢白年、関雲・葦寂弘尹里尊▼鳳嵯・正是当我鬢白時、公・正是当吾鬢白年（時）〔▼鳳ノ傍記ハ「時 南」里▼鳳ノ【三木】年・時
- 02 97 | 03 「保胤」―「ナシ」公尊―「移栽桜樹 保胤」〔鳳ハ詩題ガ後〕延▼鳳―「保胤 新栽楼樹」嘉―「保胤 初殖花樹」〔詩題ハ別筆〕★京―「移樹桜樹 慶保胤」▼正
- 02 98 | 00 《粘城伊関雲公葦寂弘延尹嘉里京尊戊》久鳳正嵯【後集】
- 02 98 | 01 曾非種処思元亮・曾非種処思元高、★公・【三木】未曾・曾非
- 02 98 | 02 為是花時供世尊・為是華時供世尊▼嵯
- 02 98 | 03 「菅」―「種菊 菅」城伊葦延―「後補テ種菊ヲ書ク」雲―「ナ

- 02 99 | 01 ちりをたに
- 02 99 | 02 すゑしとそおもふす（う）ゑしとそおもふ城・すゑしとそおもふ関雲・すへし（と）そおもふ▼嵯
- 02 99 | 03 うへしよりうゑしより（あさゆふに）雲・朝夕に葦▼嵯・さきしより寂尊戊▼鳳正
- 02 99 | 04 いもとわかぬる―「い」もとわかぬし〔同筆〕城・与妹我寝、公・いもと我をる葦▼久・いもかわかぬる京・いもとわかをる（ねる）〔ねカ〕▼久・いもとわかみる▼嵯
- 02 99 | 05 とこなつのはな
- 02 99 | 06 「躬恒」―「ナシ」公尊―「三常」葦
- 03 00 | 00 《粘城伊関雲公葦寂弘延尹嘉里京尊戊》久鳳正嵯【里京ナシ】【】
- 03 00 | 01 はなによりはなよりも嘉はなを（に）より〔ミセケチカ〕▼鳳
- 03 00 | 02 ものをそおもふ・ものをそおんふ関雲
- 03 00 | 03 しらつゆの
- 03 00 | 04 おくにもいか、おくにんいか、関雲
- 03 00 | 05 ならむとすらむ・ならんとおもへば城関雲・ならむとおんへは雲・可欲成良牟、公・あらんとすらん延尊▼鳳
- 03 00 | 06 「ナシ」―「高氏」城葦弘延嘉戊▼久鳳正嵯―「高氏 江本無作者」▼鳳
- 30 00 | 18 紅葉紅葉〔付落葉〕葦嘉里尊▼久鳳嵯



03 01 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉里京尊大戊▼久鳳正嵯》「校本「大」ヲ採用スルガ『古筆学大成』ニ未収」【文集、佳句】

03 01 01 不堪紅葉青苔地

03 01 02 又是涼風暮雨天

03 01 03 「白」(「ナシ」)公尊「白 秋雨中贈元九」為京▼鳳(元九)元九(二三)▼鳳「(秋雨中贈元九)延」(「白 林雨中贈元八」)嘉

03 02 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉里京尊大戊▼久鳳正嵯》「校本「大」ヲ採用スルガ『古筆学大成』ニ未収」【文集、佳句】

03 02 01 黄纈纈林寒有葉黄■「糸十夾」纈林寒有葉、城関雲黄■「糸十頼」林寒有葉、公黄■「糸十頼」纈林寒有葉、葦★延里黄纈纈林寒有葉(火)▼鳳

03 02 02 碧瑠璃水浄無風碧瑠璃水浄無塵、城関雲為弘尹嘉里京尊大戊▼嵯(塵)塵(風)「嵯ノ傍記ハ「風イ」雲▼嵯」碧瑠璃水浄無風(塵イ)「延▼鳳ハ「イ」無」★伊延▼鳳

03 02 03 「白」(「同」)城関雲葦「(ナシ)公尊」(泛大湖書事 白)「京ハ詩題方後」為延京(泛■(水十走)「泛イ」ヲ傍記)京「(書即、京)「本集東韻 白 泛大湖書事寄微之(六四)▼鳳

03 03 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉里京尊大戊▼久鳳正嵯》「校本「大」ヲ採用スルガ『古筆学大成』ニ未収」【

03 03 01 洞中清浅瑠璃水 洞中清浅琉璃水、城 洞中清浅瑠璃水、嘉

03 03 02 庭上蕭条錦繡林 庭上蕭疎錦繡林「延ハ上部余白ニ「条」アリ、関雲公葦為弘延尹尊大▼久鳳正 庭上蕭疎(条イ)錦繡林

「▼鳳ノ傍記ハ「イ」無」為▼鳳 庭上蕭条錦繡林、★京

03 03 03 「保胤」(「ナシ」)公尊「(保胤 翫池頭紅葉)「延ハ作者名ガ後」為延▼鳳「(保胤 故(翫イ)池頭紅葉)「旁書ハ別筆」

03 04 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉里京尊大戊▼久鳳正嵯》「為ハ三〇七ノ次、コノ位置ノ所ニ小字ニテ行間ニ補写」「校本「大」ヲ採用、『古筆学大成』ニモ採用」【

03 04 01 外物独醒松澗色 外物独醒松洞色、葦

03 04 02 余波合力錦江声 余波合力錦紅声、城延(紅)紅(江)延

03 04 03 「以言」(「山水唯紅葉 以言」)城雲大▼久鳳「(ナシ)公尊「(江以言 山水唯紅葉)「延▼正ハ作者名ガ後」為延▼正(山水山中、延)出水▼正」(「以言 山水皆紅葉」)嘉京「(山水只紅葉)里

03 05 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉里京尊大戊▼久鳳正嵯》「校本「大」ヲ採用、『古筆学大成』ニモ採用」【古今二六〇、六帖、貫之】

03 05 01 しらつゆも しらつゆん雲

03 05 02 しくれもいたく しくれんいたく 関しつくもいたく 嘉

03 05 03 もるやまは

03 05 04 したはのこらす したはのらす 延

03 05 05 いろつきにけりもみちしにけり 寂嘉里京尊大戊

03 05 06 「貫之」(「ナシ」)公尹里尊

03 06 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉里京尊大戊▼久鳳正嵯》「校本「大」ヲ採用、『古筆学大成』ニモ採用」【京ナシ】【

03 06 01 むらくの

03 06 02 にしきとそみる

03 06 03 さほやまのさをやまの戊▼正

03 06 04 は、そのもみち、は、そのも「み」ち「同筆」城

03 06 05 きりた、ぬまは

03 06 06 「清正」(「ナシ」)公尹里尊

- z0 17 | 00 《逸能》【】
- z0 17 | 01 ときはやま
- z0 17 | 02 あらしのかせも
- z0 17 | 03 さむからす
- z0 17 | 04 にしきのもみち
- z0 17 | 05 みにしきたれば
- 30 00 | 19 落葉「行間補入」▼久
- 03 07 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉里京尊戊阪▼久鳳正嵯》「里ハコノ後二三一三アリ」【】
- 03 07 | 01 「校本誤リカ」三秋而宮漏正長、三五而宮漏正長、「欄外二「秋トアリ」為
- 03 07 | 02 空階雨滴、空階雨灑、葦空階而雨滴▼久
- 03 07 | 03 万里而郷何在、万里而郷園何在、城伊関雲公寂為弘延尹嘉里京尊戊阪▼久鳳正嵯、万里而郷円何在、葦
- 03 07 | 04 落葉窓深、前(落)葉窓深▼嵯
- 03 07 | 05 「愁賦」(「ナシ」)公尊「愁賦 張説」「嵯ハ作者名ガ先」為延京▼鳳正嵯(愁秋▼嵯)「愁賦 長説」嘉
- 03 08 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉里京尊戊阪▼久鳳正嵯》「城関雲葦寂弘延尹嘉里京尊戊阪▼久鳳正ハ三〇九ノ次、公ハ三一〇ノ次」【文集、佳句】
- 03 08 | 01 城柳宮槐漫揺落、柳城宮槐漫揺落、関城析宮槐漫揺落、★延城柳宮槐漫揺落、里京
- 03 08 | 02 愁悲不到貴人心、秋悲不到貴人心、城伊雲葦寂為弘延尹嘉里京尊阪▼久鳳正嵯、秋悲不到貴人情、公
- 03 08 | 03 「白」(「同」)関葦「同ヲ白ニ直スカ」雲「(ナシ)公尹尊」(「白早入皇城」)「延正ハ作者名ガ後」為延京▼正「(白 早入皇城贈王留守僕射(六)▼鳳
- 03 09 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉里京尊戊阪▼久鳳正嵯》「城

- 関雲公葦寂弘延尹嘉里京尊戊阪ハ三〇八ノ前」【文集、佳句】
- 03 09 | 01 秋庭不掃携藤杖、秋庭不掃携藤杖、公秋庭不扠携藤杖、為京▼嵯、秋庭不扠携藤杖(杖)里
- 03 09 | 02 閑踏梧桐黄葉行
- 03 09 | 03 「白」(「ナシ」)公尹尊「(白 晚秋閑居」)「延正ハ作者名ガ後」為延京▼正「(白 晚秋閑居(二三)▼鳳
- 03 10 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉里京尊戊阪▼久鳳正嵯》「公ハ三〇八ノ前」【文粹】
- 03 10 | 01 梧楸影中
- 03 10 | 02 一声之雨空灑、一声之雨空灑(洒)、「朱書」為
- 03 10 | 03 鷓鴣背上、鷓鴣背上「★延ハ異同無、下部余白ニ「鷓」ヲ書ク」城伊関雲公寂為嘉里京尊戊阪▼鳳、鷓鴣背上、弘尹京▼久正
- 03 10 | 04 数片之紅纒殘
- 03 10 | 05 「順」(「ナシ」)公尊「(源順 葉下風枝疎序)為「(葉下風散疎序 源順)延「(順 葉下風枝疎序)嘉京「(葉落(下) 風枝疎順)▼鳳「(葉下風枝疎序)▼正
- 03 11 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉里京尊戊▼久鳳正嵯》【文粹】
- 03 11 | 01 樵蘇往反
- 03 11 | 02 杖穿朱買臣之衣「(臣ハ宮力)関
- 03 11 | 03 隱逸優遊(陰) 逸優遊、嘉
- 03 11 | 04 履踏葛稚仙之藥、履踏葛稚仙之藥、尹▼鳳正履踏蔦(葛)稚仙之藥、★京履(履)踏葛稚仙(川)之藥「履ハ左側傍記」▼鳳

- 03 11-05 「落葉山中踏 相如」〔落葉山中路 相如〕城雲葦▼久鳳  
 「相如」伊閑寂弘戊〔ナシ〕公尹尊〔落葉山中路 高相如〕  
 「嗟ハ作者名ガ先」為延嘉▼正嗟〔路疎序、延路序▼正〕〔相  
 如 於長樂寺落葉山中路(深)序〕★京〔落葉山中路 相規〕  
 里
- 03 12-00 《粘城伊閑雲公葦寂為弘延尹嘉里京尊戊▼久鳳正嗟》〔雲葦  
 尹尊▼鳳ハ三三ノ次〕【】
- 03 12-01 逐夜光多呉苑月逐(遂) 夜光多呉苑月▼鳳
- 03 12-02 每朝声少漢林風
- 03 12-03 「後中書王」〔落葉隨日尽 後中安王〕城〔落葉隨日尽 後  
 中書王〕雲延嘉京▼鳳〔ナシ〕公尹里尊〔秋葉隨日落 後中  
 書王〕為▼正(落尽▼正)〔落(秋イ)葉隨日尽(落イ)  
 後中書王〕京〔落葉隨日尽 中書王〕▼久
- 03 13-00 《粘城伊雲葦寂為弘延尹嘉里京尊戊▼久鳳正嗟》〔関公ナシ。  
 雲葦尹尊ハ三二ノ前〕【天徳三年鬪詩行事略記、類聚句題  
 抄】
- 03 13-01 隨風落葉含蕭瑟〔校本、簫ノ校異トラズ〕城隨風落葉含蕭  
 瑟、里
- 03 13-02 濺石飛泉弄雅琴
- 03 13-03 「順」〔秋光變山水 順〕〔城ノ變ト順ハ推読、京ハ詩題ガ  
 後、▼正ノ水ハ推読〕城延嘉京▼鳳正〔山水山色、嘉〕〔源  
 順 秋先變山水〕為〔ナシ〕尊
- 03 14-00 《粘城伊閑雲公葦寂為弘延尹嘉里京尊戊▼久鳳正嗟》〔万葉、  
 六帖、新古今五四一〕
- 03 14-01 あすか、はあすからは城里
- 03 14-02 もみちはなかるもみちはなかつ葦▼鳳
- 03 14-03 かつらきの
- 03 14-04 やまのあきかせ
- 03 14-05 ふきそしくらしふきそしぬらし寂戊▼鳳正ふきそしぬらん  
 為延尹ふきやしぬらん弘ふきそしにける嘉〔異同無〕★  
 尊ふきそしつらん里ふきそしく(ぬ)らし▼久
- 03 14-06 「人丸」〔ナシ〕公寂尊
- 03 15-00 《粘城伊閑雲公葦寂為弘延尹嘉里京尊唐戊▼久鳳正嗟》〔京ナ  
 シ〕【後撰四五一、新撰和歌、秋萩】
- 03 15-01 かみなつき無神月、公十月、葦神な月、弘延尊戊▼鳳正  
 嗟
- 03 15-02 しくれとゝもにしくれとゝんに関
- 03 15-03 かみなひのかみなみの尹
- 03 15-04 もりのこのはゝもりこのはゝ城紅葉者(社乃木)乃葉波、  
 公
- 03 15-05 ふりにこそふれもりにこそもれ▼嗟
- 03 15-06 「ナシ」〔貫之〕為延嘉▼正嗟〔源順〕里
- 03 16-00 《粘城伊閑雲公葦寂為弘延尹嘉里京尊唐戊▼久鳳正嗟》〔古  
 今二九七、新撰和歌、六帖】
- 03 16-01 みるひとみるひとん関雲
- 03 16-02 なくてちりぬるなくてやみぬる延嘉京
- 03 16-03 おくやまの
- 03 16-04 もみちはよるのもみちはよその延
- 03 16-05 にしきなりけりにしきなりける伊
- 03 16-06 「貫之」〔之ハ推読〕城〔ナシ〕公延里尊〔同〕嘉▼正
- 30 00-20 雁(付帰雁)雁、関公為
- 03 17-00 《粘城伊閑雲公葦寂為弘延尹嘉里京尊大唐戊▼久鳳正嗟》〔校  
 本「大」ヲ採用、『古筆学大成』ニモ採用〕〔唐ハ与以下不明〕  
 【文苑英華】
- 03 17-01 万里人南去

03 17 | 02 三秋雁北飛 | 三春雁北飛、城関雲公葦寂為弘延尹嘉里京尊大  
唐戊▼久鳳正 | 三秋 (春イ) 雁北飛、★伊 | 【三木】三春・三  
秋

03 17 | 03 不知何歲月 | 不知何処月、大  
03 17 | 04 得与汝同歸

03 17 | 05 「校本誤リカ」〔文選〕 | 〔頼劉 白〕城 | 〔ナシ〕関雲公葦寂  
弘尹尊大▼久 | 〔南中詠雁絶句 事万慶〕為延▼正 | 〔ナシ〕白、  
延 | 〔絶句 | ナシ〕▼正 | 〔事万慶 事承慶▼正〕 | 〔李陵 文選〕京 |  
〔白 賦李陵五言絶句〕嘉 | 〔文選 韋承慶〕 | 〔嗟ハ作者名ガ  
先〕里▼嗟 | 〔白〕戊 | 〔南中詠雁 李陵〕▼鳳

03 18 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉里京尊大戊▼久鳳正嗟》 | 〔校  
本「大」ヲ採用、『古筆学大成』ニモ採用〕 | 〔劉夢得文集外、  
佳句〕

03 18 | 01 尋陽江色潮添滿 | 尋陽江色湖添滿 | 〔★雲ハ潮デヨイ〕城関公  
弘大▼久 | 尋陽江色湖添 | 〔滿〕尹

03 18 | 02 彭蠡秋声雁引来 | 彭蠡秋聲雁引来、葦 | 【三木】送・引

03 18 | 03 〔劉禹錫〕 | 〔錫ハ推読〕城 | 〔ナシ〕 | 〔雲ハ後筆デ劉禹錫ヲ書  
ク〕雲公弘尹尊▼嗟 | 〔劉禹〕葦 | 〔劉禹錫 登江州清輝樓〕 | 〔正  
ハ作者名ガ後〕為延嘉▼鳳正 | 〔州洲、嘉〕 | 〔劉〕★大

03 19 | 00 《粘城伊関雲公葦為弘延尹嘉里京尊大戊▼久鳳正嗟》 | 〔葦ハ  
三二〇ノ次〕 | 〔校本「大」ヲ採用、『古筆学大成』ニモ採用〕  
【佳句、全唐詩】

03 19 | 01 四五朶山粧雨色 | 四五朶粧山雨色、葦四五 | 〔枝〕朶山粧雨色  
▼鳳

03 19 | 02 兩三行雁点雲秋 | 兩三行雁点雲声、公延戊 | 兩三行雁点雲秋。  
〔声〕 | 〔為ハ朱、京ハ「声イ」、▼鳳ハ「声〔江〕」為京▼鳳嗟 | 兩

03 19 | 03 〔杜荀鶴〕 | 〔杜葛鶴〕城 | 〔ナシ〕 | 〔雲ハ後筆デ杜荀鶴ヲ書ク〕  
三行雁点雲声 | 〔秋〕延 | 兩三声雁点雲秋、大 | 【三木】帖・点

雲公葦弘尹尊▼嗟 | 〔雋陽道中 杜荀鶴〕 | 〔鳳ハ詩題ガ後〕★  
延▼鳳

03 20 | 00 《粘城伊関雲公葦為弘延尹嘉里京尊大戊▼久鳳正嗟》 | 〔葦ハ  
三一九ノ前〕 | 〔校本「大」ヲ採用、『古筆学大成』ニモ採用〕  
【文粹】

03 20 | 01 虚弓難避

03 20 | 02 未抛疑於上弦之月懸 | 未抛疑於上弦之月懸、城関雲公尹京里  
大▼嗟

03 20 | 03 奔箭易迷 | 奔泉易迷、公奔前易迷、延

03 20 | 04 猶成誤於下流之水急 | 猶成誤於下流之水急 | 〔急〕京

03 20 | 05 〔江相公〕 | 〔ナシ〕公尊 | 〔後江相公 寒雁識秋天〕 | 〔延正ハ  
作者名ガ後〕為延京▼正 | 〔秋天 | 秋天序、嘉〕 | 〔後江相公〕戊 |  
〔寒雁識秋天 江相公〕 | 〔嗟ハ作者名ガ先〕▼鳳嗟 | 〔天 | 天  
序▼嗟〕

03 21 | 00 《粘城伊公葦為弘延尹嘉里京尊大戊▼久鳳正嗟》 | 〔関雲ナシ〕  
〔校本「大」ヲ採用、『古筆学大成』ニモ採用〕 | 〔田氏家〕

03 21 | 01 雁飛碧落書青紙 | 雁飛勢 | 〔碧〕落書青紙、里

03 21 | 02 隼擊霜林破錦機 | 隼擊紅林破錦機、城隼擊霜林破綿機、京隼  
擊双林破錦機▼久

03 21 | 03 〔菅〕 | 〔白 或本田〕 | 〔田ハ推読〕城 | 〔ナシ〕公葦弘尊 | 〔田  
達音 秋暮傍山行〕 | 〔延正ハ作者名ガ後〕為延▼鳳正 | 〔秋暮 | 暮  
秋、▼鳳〕 | 〔白〕尹里 | 〔田達音 望秋山〕嘉 | 〔秋暮傍山行  
白 田達音〕★京 | 〔田〕大 | 〔田達音〕戊▼久嗟

03 22 | 00 《城関雲公葦為弘延尹嘉里京尊大戊▼久鳳正嗟》 | 〔粘伊ナシ〕  
〔校本「大」ヲ採用、『古筆学大成』ニモ採用〕 | 〔文章〕

03 22 | 01 碧玉裝箏斜立柱 | 碧玉裝箏斜 | 立柱、城 | 碧玉箏裝斜立柱、  
〔返り符アリ〕 | 里 | 碧玉粧箏斜立柱▼正

03 22 | 01 碧玉裝箏斜立柱 | 碧玉裝箏斜 | 立柱、城 | 碧玉箏裝斜立柱、  
〔返り符アリ〕 | 里 | 碧玉粧箏斜立柱▼正

- 03 22 | 02 青苔色紙数行書 青告色紙数行書、里
- 03 22 | 03 「菅」〔天浄識賓鴻 菅〕「校本ハ大」織「トスルガ」識「デ可、京ハ詩題方後」城為延里京★大▼鳳「後筆」テ天浄識賓鴻ヲ書ク」雲「ナシ」公尊「天浄識賓雁 菅三品」嘉「天浄識賓雁 菅」〔雁ハ切断ニヨリ推読〕▼久「天清識賓」菅丞相「切断」▼正
- 03 23 | 00 《粘城伊関雲公葦為弘延尹嘉里京尊大多戊▼久鳳正嵯》「★京ハ行間書入、本文ト同筆力、校本「大」ヲ採用、『古筆学大成』ニモ採用」
- 03 23 | 01 雲衣范叔羈中贈
- 03 23 | 02 風櫓瀟湘浪上舟 風櫓瀟湘浪上舟、里
- 03 23 | 03 「後中書王」〔秋雁似故人 後中書王〕「城ノ人ハ推読」城関雲多「ナシ」〔京ハ別筆デ「秋」(賓イ)鴻似故人」ヲ書ク〕公尹京尊「賓鴻是故人 後中書王」〔正ハ切断ニヨリ人ハ不明〕為延大▼久鳳正「秋鴻如破 後中書王」里「賓鴻是(似南) 故人 後中書王」▼鳳
- z0 18 | 00 《城》
- z0 18 | 01 朝隱山雲細袂卷
- z0 18 | 02 暮過林雀注文加
- 03 24 | 00 《粘城伊関雲公葦為弘延尹嘉里京尊大多戊▼久鳳正嵯》「★弘里ハ三二五ノ次」〔校本「大」ヲ採用、『古筆学大成』ニモ採用〕「古今二〇七、新撰万葉、六帖、寛平御時后宮歌合、友則」
- 03 24 | 01 あきかせに
- 03 24 | 02 はつかりかねそはつかりのねそ大
- 03 24 | 03 きこゆなるきこえける尹
- 03 24 | 04 たかたまつさを
- 03 24 | 05 かけてきつらむかをてま(き)つらん城
- 03 24 | 06 「友則」〔ナシ〕公尹里尊多
- 03 25 | 00 《粘城伊関雲公葦為弘延尹嘉里京尊大多戊▼久鳳正嵯》「帰雁ノ題有、城為弘延尹嘉里京尊大▼久鳳正嵯、久ハ行間補入」〔校本「大」ヲ採用、『古筆学大成』ニモ採用〕
- 03 25 | 01 山腰帰雁斜牽帯
- 03 25 | 02 水面新虹未展巾
- 03 25 | 03 「都在中」〔在中〕関雲葦尹大「ナシ」公弘尊「春晓閑出都在中」〔為ハ「出」ヲ朱ニテ「花」トスル、京ハ詩題方後〕為延京▼鳳正「都在中 都在(良久)中、★京」〔都「良」香▼嵯
- 03 26 | 00 《粘城伊関雲公葦為弘延尹嘉里京尊大多戊▼久鳳正嵯》「校本「大」ヲ採用、『古筆学大成』ニモ採用」〔古今三二、新撰和歌、六帖、伊勢〕
- 03 26 | 01 はるかすみ
- 03 26 | 02 たつをみすて、
- 03 26 | 03 ゆくかりはゆくかりの延大
- 03 26 | 04 〉な〉きさとに
- 03 26 | 05 すみやならへるすみやなら「へ」る城すみやなくらん嘉
- 03 26 | 06 「伊勢」〔ナシ〕公尹尊
- z0 19 | 00 《逸能》
- z0 19 | 01 春かすみ
- z0 19 | 02 たつをみすて、
- z0 19 | 03 行かりの
- z0 19 | 04 いまそなくなる
- z0 19 | 05 秋きりのうへ
- 30 00 | 21 虫

- 03 27 00 《粘城伊関雲公葦為弘延尹嘉里京尊戊》久鳳正嵯【文集】
- 03 27 01 切々暗窓下
- 03 27 02 嚶々深草中 嚶々深草裏、城関雲葦為弘延尹里京尊戊》久鳳正嵯 要々深草裏、公 嚶々深草中、(裏イ) 嘉
- 03 27 03 秋天思婦心 秋天思婦心、★公 秋天思婦心、里
- 03 27 04 雨夜愁人耳 雨夜愁、(幽イ) 人耳「戊ハ「イ」ナシ」★伊戊 雨夜幽人耳、為弘延尹嘉京、雨夜幽、(愁イ) 人耳「朱」為 雨夜、(夜雨「江」) 愁、(幽) 人耳 鳳
- 03 27 05 「白」(「ナシ」)城公尊「白 秋蟲十四」為「秋虫 白」[京ハ詩題ガ後] 延京 鳳「秋虫「十四」 白」鳳
- 03 28 00 《粘城伊関雲公葦為弘延尹嘉里京尊戊》久鳳正嵯【文集、佳句】
- 03 28 01 霜草欲枯虫思苦 霜草欲枯虫思急、関雲里 霜草欲枯虫思急、(苦) 里
- 03 28 02 風枝未定鳥棲難 風枝未定鳥難棲、城関雲 風枝未定鳥栖、(棲イ) 難「朱」為 風枝未定鳥 (人十妻) 難、戊
- 03 28 03 「白」(「ナシ」)公尊「答夢得秋庭独坐見贈 白」為延「白 答夢得秋庭独坐見贈「七六」 鳳
- 03 29 00 《粘城伊関雲公葦為弘延尹嘉里京尊戊》久鳳正嵯【】
- 03 29 01 床嫌短脚蜚声鬧 床頭短脚蜚声鬧、関「□ヲ削ッテ嫌ヲ書ク、頭カ」雲 床嫌短脚蜚声鬧「閨ハ誤写カ、推読」 嵯
- 03 29 02 壁厭空心鼠孔穿
- 03 29 03 「野」(「ナシ」)公尹尊「秋夜 野相公」為延 正「野相公」弘嘉戊「野 秋夜」京「秋夜 野」 鳳
- 03 30 00 《粘城伊関雲公葦為弘延尹嘉里京尊戊》久鳳正嵯【雲ナシ】[天徳三年闘詩行事略記]
- 03 30 01 山館雨時鳴自暗 山館雨時鳴自晴、★葦

- 03 30 02 野亭風処織猶寒
- 03 30 03 「直幹」(「蜚声人夜催 直幹」)「夜ト幹ハ推読」城「蜚声入夜催 直幹」[京ハ詩題ガ後デ別筆、正ノ催ハ切断ニヨリ不明]関為延嘉京 久鳳正「直幹 橋直幹」正「ナシ」公尹里尊「直幹 巷广入夜催」 嵯
- 03 31 00 《粘城伊関雲公葦為弘延尹嘉里京尊戊》久鳳正嵯【天徳三年闘詩行事略記】
- 03 31 01 叢辺怨遠風聞暗
- 03 31 02 壁底吟幽月色寒
- 03 31 03 「順」(「同前 順」)「京ハ詩題ガ後」城関葦為延嘉京里 久鳳正「同前」(題)同前、★京「順 源順」正「ナシ」公尹尊「順 同」 嵯
- 03 32 00 《粘城伊関雲公葦為弘延尹嘉里京尊戊》久鳳正嵯【保明親王帯刀陣歌合】
- 03 32 01 いまこむと
- 03 32 02 たれたのめけむ
- 03 32 03 あきのよを あきのよの尹
- 03 32 04 あかしかねつ、あかしかねつも嘉
- 03 32 05 まつむしのなく 松むしのこゑ延尹まつむしそなく 嵯
- 03 32 06 「ナシ」(「素性」)城「秀守」為「橋正通」延「人丸 能宣イ」嘉「橋安輔」京「季守」里「能宣」 鳳
- 03 33 00 《粘城伊関雲公葦弘延尹嘉里尊戊》久鳳正嵯【京ナシ】[古今一九六、六帖]
- 03 33 01 きり、す
- 03 33 02 いたくなきそ いたくなきそ延
- 03 33 03 あきのよの あきのよを、(の) 雲

- 03 33 04 なかきおもひは「にノ補入アルカ」城なかきおんひは「雲ハ推読」関雲
- 03 33 05 われそまされる
- 03 33 06 「素性」(「ナシ」)城公尹尊「(そせい)★関(「藤忠房」)戊「(素性法師)▼正「(藤原忠房 素性)▼嗟
- 30 00 22 鹿
- 03 34 00 《粘城伊関雲公葦弘延尹嘉里京尊大戊▼久鳳正嗟》「校本」大「ヲ採用、『古筆学大成』ニモ採用」【温庭筠詩集別、佳句】
- 03 34 01 蒼苔路滑僧帰寺 蒼苔路熟僧帰寺、葦蒼苔路滑(熟)僧帰寺▼鳳
- 03 34 02 紅葉声乾鹿在林
- 03 34 03 「温庭筠」(「温庭均」)★伊嘉「(ナシ)公葦弘尹尊「(宿雲隆寺 温庭筠)延▼正「(白)「別筆デ」温庭筠 宿香隆寺」ヲ書ク」京「(温庭筠 宿雲隆寺)▼鳳
- 03 35 00 《粘城伊関雲公葦弘延尹嘉里京尊大戊▼久鳳正嗟》「校本」大「ヲ採用、『古筆学大成』ニモ採用」
- 03 35 01 暗遣食萃身色変 暗遣食萃身色変、弘里▼嗟「上部余白ニ「萃」ヲ書ク」延 暗遣食萃身色変、大
- 03 35 02 更随加草徳風来
- 03 35 03 「白鹿 紀」(「ナシ)公尊「(紀)葦戊「(紀納言)弘▼正「(観鎮西府献白鹿 紀)延「(白鹿 紀納言)「(京ハ詩題ガ後、嗟ハ作者名ガ先、「納言」以下ハ後補力」嘉京▼嗟「(白鹿「(自鎮西献)白鹿「(詩)京」(「鎮西府献白鹿 紀)▼鳳
- 03 36 00 《粘城伊関雲公葦弘延尹嘉里京尊大戊▼久鳳正嗟》「校本」大「ヲ採用、『古筆学大成』ニモ採用」【拾遺抄一〇二、拾遺一九〇】
- 03 36 01 もみちせぬ
- 03 36 02 ときはのやまに

- 03 36 03 すんしかは「すむしかは城伊関葦弘延京尊大戊▼久鳳正嗟な・く(すむ)しかは雲棲鹿者鹿者、公
- 03 36 04 おのれなきてや「おのれなきしや」しハてトヨミガタイ」★大
- 03 36 05 あきをしるらん
- 03 36 06 「能宣」(「ナシ)公尊大
- 03 37 00 《粘城伊関雲葦弘延尹嘉里京尊大戊▼久鳳正嗟》「公京ナシ」【校本「大」ヲ採用、『古筆学大成』ニモ採用」【古今三二二、新撰和歌、六帖】
- 03 37 01 ゆふつくよふゆつくよ城
- 03 37 02 をくらのやまに
- 03 37 03 なくしかのなくしかは嘉
- 03 37 04 こゑのうちにはや
- 03 37 05 あきはくるらむあきはつくらん城あきはしるらん葦尹あきはきぬらん弘嘉▼正あきをしるらん延里あきはたつらん戊
- 03 37 06 「貫之」(「ナシ)尹尊
- 30 00 23 露
- 03 38 00 《粘城伊関雲公葦弘延尹嘉里京尊大戊▼久鳳正嗟》【文集、佳句】
- 03 38 01 可憐九月初三夜 可憐九月初三日(夜)▼鳳
- 03 38 02 露似真珠月似弓
- 03 38 03 「白」(「ナシ)公里尊▼嗟「(暮吟 白)延「(白 草秋吟)嘉「(白 暮行吟)京「(白 暮江吟(一九)▼鳳「(暮江吟 白)▼正
- 03 39 00 《粘城伊関雲公葦弘延尹嘉里京尊大戊▼久鳳正嗟》【類聚句題抄】

- 03 39 01 露滴蘭叢寒玉白
- 03 39 02 風銜松葉雅琴清 風 〔行十含〕 松葉雅琴清 〔雲ハ□ヲ削ツテ含ヲ書ク〕 伊雲嘉里京尊 久嵯 風銜松葉雅琴晴、★公 風銜松葉雅琴清、弘★延尹 鳳正 〔風 〔後補〕 ▼正〕
- 03 39 03 〔英明〕 〔ナシ〕 公尹里尊 〔秋風颯然新 源英明〕 延 ▼正 〔秋風 秋氣 ▼正〕 〔英明 秋氣颯然新〕 嘉 〔英明 秋氣風 〔颯イ〕 愁別 〔然新〕 〕 京 〔秋風颯然新 英明〕 ▼鳳
- z0 20 00 《東經》 〇
- z0 20 01 我ならむ
- z0 20 02 くさ葉も物は
- z0 20 03 おもひけり
- z0 20 04 袖よりほかに
- z0 20 05 をけるしらつゆ
- 03 40 00 《粘城伊関雲公葦弘延尹嘉里京尊戊 久鳳正嵯》 〔万葉、新撰和歌、六帖、新古今三三四〕
- 03 40 01 さをしかの
- 03 40 02 あさたつをのゝ
- 03 40 03 あきはきに 秋はきを延
- 03 40 04 たまとみるまで たまとみるまで 京 たま と 見るまで (おれぬ はかりも) 〔傍記ニ合点有〕 ▼久 おれぬ はかりも ▼嵯
- 03 40 05 おけるしらつゆ
- 03 40 06 〔家持〕 〔ナシ〕 公尊 〔家持中納言〕 延尹里戊 ▼嵯 〔大伴家持〕 〔持ノ下ノ 中□ 〕 〔後補〕 ▼正
- 30 00 24 霧
- 03 41 00 《粘城伊関雲公葦弘延尹嘉里京尊戊 久鳳正嵯》 〔文集、佳句〕
- 03 41 01 竹霧暁籠銜嶺月 竹霧暁籠 〔行十含〕 嶺月 〔延ノ含ハ合カ〕 城★伊弘★延京★尊戊▼久正嵯

- 03 41 02 蘋風緩送過江春 蘋風暗送過江春、城嘉 蘋風暖送過江春、関雲公葦弘延尹里京尊 久鳳正嵯 蘋風暖 〔晚〕 送過江春、雲 蘋風暖 〔暗 晚イ〕 送過江春 〔暗〕 〔ハ左側、〔晚イ〕 〔ハ右側傍記〕 延 蘋風暖 〔暗〕 送過江春 〔嵯ノ傍記ハ同筆デ 〔暗イ〕 尹里 ▼鳳 嵯 蘋風暖 送過江春、 戊
- 03 41 03 〔白〕 〔ナシ〕 公尊 〔度樓暁望 白〕 〔京ハ詩題方後〕 延京 ▼正 〔白 度樓暁望 二六〕 ▼鳳
- 03 42 00 《粘城伊関雲公葦弘延尹嘉里京尊戊 久鳳正嵯》 〇
- 03 42 01 雖愁夕霧埋人枕 雖然夕霧埋人枕、関雲
- 03 42 02 猶愛朝雲出馬鞍
- 03 42 03 〔江相公〕 〔江〕 城関雲尹里 〔ナシ〕 公葦尊 〔後江相公〕 弘 〔山居秋暁 後江相公〕 延 ▼正 〔暁 晚 ▼正〕 〔江松公 山居 秋晚〕 嘉 〔白 山居秋暁 後江相公〕 京 〔山庄秋望 〔晚〕 江相公〕 ▼鳳
- 03 43 00 《粘城伊関雲公葦弘延尹嘉里京戊 久鳳正嵯》 〔尊ナシ、▼鳳ハ頭部余白ニ朱デ 証本無之〕 ト有 〔拾遺二〇二、寛平御時后宮歌合、六帖、金玉、深養父〕
- 03 43 01 かはきりの 秋きりの京
- 03 43 02 ふもとをこめて ふもとをとめて 城
- 03 43 03 たちぬれは
- 03 43 04 そらにそあきの
- 03 43 05 やまはみえける やまはすえける 〔すハみノ誤写カ〕 ▼久
- 03 43 06 〔深養父〕 〔源養父〕 城 〔ナシ〕 公弘尹京
- 03 44 00 《粘城伊関雲公葦弘延尹嘉里京尊戊 久鳳正嵯》 〔京ナシ〕 〔古今二六五、新撰和歌、友則〕
- 03 44 01 たかための
- 03 44 02 にしきなればか にしきなるらん尹



- 03 44 03 あきゝりの  
03 44 04 さほのやまへをさほやま人を城棹の山辺に公さをのやまへを弘戊さほのやまへの尊
- 03 44 05 たちかくすらむたちへたつ覽城  
03 44 06 「友則」 「ナシ」 公弘尊 「貫之」 ▼正
- 30 00 25 擣衣  
03 45 00 《粘城伊関雲公葦弘延尹嘉里京尊戊》久鳳正嵯 《文集》  
03 45 01 八月九月正長夜
- 03 45 02 千声万声無了時 千声万声無止時、城里京 千声万声無畢時、弘 ▼正 千声万声無已時、延 千歳万歳無了時、尹
- 03 45 03 「白」 「ナシ」 公尊 「聞夜砧 白」 「京ハ詩題ガ後」 延京 ▼正 「白」 聞夜砧 (二九) ▼鳳
- z0 21 00 《建正嵯》 【「正ハ三四六ノ次ニ後補行間細字書入、嵯ハ「イ本」トシテ後補行間細字書入」  
z0 21 01 誰家思婦秋擣帛  
z0 21 02 月苦風凄砧杵悲  
z0 21 03 「同」 「白」 正
- 03 46 00 《粘城伊関雲公葦為弘延尹嘉里京尊戊》久鳳正嵯 「里、コノ句ノ前ニ一句、行間ニ小字ニテ書入ル」 【文苑英華、佳句】
- 03 46 01 北斗星前横旅雁  
03 46 02 南楼月下擣寒衣 南楼月前 (下) 擣寒衣、京  
03 46 03 「嘉重出、不審」 「ナシ」 「同」 城関雲葦 「薄命篇 劉元叔」 為延 ▼正 「叔淑 ▼正」 「白」 尹嘉里京戊 ▼久嵯 「劉禹錫」 嘉 「白」 劉元叔イ本 京 「白」 薄命篇 劉元叔 ▼鳳
- 03 47 00 《粘城伊関公葦為弘延尹嘉里京尊戊》久鳳正嵯 《雲ナシ》 【
- 03 47 01 擣処曉愁閨月冷 擣処曉愁閨月冷、★葦 擣処曉愁閨月冷、京戊  
03 47 02 裁將秋寄塞雲寒 裁將秋寄寒雲寒 「弘ハ全体ニ寒ト塞ノ區別難」 公★葦★弘 裁將 (持) 秋寄塞雲寒、嘉 裁持 (將) 秋寄塞雲寒 「左側傍記」 ▼鳳
- 03 47 03 「篤茂」 「尊敬」 城 「ナシ」 公尹尊 「篤茂 風疎砧杵鳴」 為 ▼鳳 「風疎砧杵鳴 藤篤茂」 延 ▼正 「篤茂 風疎砧堪鳴」 京 「風疎砧杵鳴 篤茂」 ▼久
- 03 48 00 《粘城伊関雲葦為弘延尹嘉里京尊戊》久鳳正嵯 《公ナシ》 【  
03 48 01 裁出還迷長短製  
03 48 02 辺愁定不昔腰圍 辺愁定不昔腰圍、弘 辺愁定不昔腰圍 (圍イ) 京
- 03 48 03 「直幹」 「橋直幹」 延 「ナシ」 尹尊 「直誇」 嘉 「題可尋 橋直幹」 ▼正
- 03 49 00 《粘城伊関雲公葦為弘延尹嘉里京尊戊》久鳳正嵯 【  
03 49 01 風底香飛双袖拳  
03 49 02 月前杵怨兩眉低  
03 49 03 「後中書王」 「ナシ」 関雲公★葦尹里尊 「後中書王 擣衣詩」 「延正ハ作者名ガ後」 為延 ▼鳳 止 「直幹イ死 後中書王 擣衣詩」 京
- 03 50 00 《粘城伊関雲公葦為弘延尹嘉里京尊戊》久鳳正嵯 【  
03 50 01 年々別思驚秋雁  
03 50 02 夜々幽声到曉鷄 夜々幽声至曉鷄、嘉京 「至至 (到イ) 嘉」
- 03 50 03 「上同」 「同」 城延嘉京戊 ▼久鳳嵯 「後中書王」 関雲葦為里 「ナシ」 公弘尹尊 「同前」 ▼正

03 51-00 《粘城伊関雲公葦為弘延尹嘉里京尊内戊》久鳳正嵯【六帖、新  
勅撰三二三、貫之】

03 51-01 からころもからころん関雲

03 51-02 うつこゑきけは

03 51-03 つきよみ月よみ城関雲公葦久月よにて里

03 51-04 またねぬ人をまたねぬこひを京

03 51-05 そらにしろかなそらにしろかなにハ磨滅力延

03 51-06 貫之にナシ公弘尹里尊

40 00-01 冬

40 00-02 初冬

03 52-00 《粘城伊関雲公葦為弘延尹嘉里京尊内戊》久鳳正嵯【文集】

03 52-01 十月江南天氣好

03 52-02 可隣冬景似春華可隣冬景似春花、城延尹嘉里京尊内戊正嵯

03 52-03 白にナシ公尊白早冬延正ハ作者名ガ後為延

京正早冬二十白鳳

03 53-00 《粘城伊関雲公葦為弘延尹嘉里京尊内戊》久鳳正嵯【

03 53-01 四時牢落三分減四時零落三分減、嘉京零零牢イ京

異同無 尊

03 53-02 万物蹉跎過半凋万物蹉跎過半彫鳳

03 53-03 醍醐御製にナシ公尹里尊醍醐御製初冬即事延正

ハ作者名ガ後為延京鳳正醍醐西西延御製御々、  
京延喜御製嘉西西御製嵯

03 54-00 《粘城伊為弘延尹嘉里京尊内戊》久鳳正嵯【関雲公葦ナシ】

文章

03 54-01 床上卷収青竹簾床上卷収青竹簾久

03 54-02 匣中開出白綿衣匣中開出白綿衣、嘉篋中開出白綿衣、京

尊匣中開出白綿衣、里

03 54-03 菅驚冬延ハ作者名ガ後為延鳳菅丞相

弘菅丞相驚冬正ハ作者名ガ後尹京正菅三品

嘉にナシ尊

03 55-00 《粘城伊関雲公葦為弘延尹嘉里京尊内戊》久鳳正嵯【後撰

四四五、六帖】

03 55-01 かみなつき無神月、公十月、葦神なつき弘延京尊鳳正

嵯

03 55-02 ふりみふらすみふりみふらす城

03 55-03 さためなき

03 55-04 しくれそふゆのしくれそふゆそ(の)為

03 55-05 はしめなりける

03 55-06 到に貫之に城ハ別筆城為延京素性質之イ嘉読

人不知鳳貫之イ読人不知イ以下ハ後補力、読

人不知ハ紙継ニヨリ推読嵯

40 00-03 冬夜

03 56-00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉里京尊内戊》久鳳正嵯【文

集、佳句】

03 56-01 一盞寒灯雲外夜一盞寒灯雲外尽葦

03 56-02 数盃温耐雪中春数盃温耐雲中春内

03 56-03 白にナシ公尊白和李中丞山居雪夜作為延尹

李季、延に白山居雪夜京ノ詩題ハ別筆嘉京、  
ハ和李中丞イ有山居雪夜作七八白鳳

03 57-00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉里京尊内戊》久鳳正嵯【

03 57-01 年光自向灯前尽年先自向灯前尽、公校本校異ヲ採ルガ、

年ノ異体字ユエ削除葦為

03 57-02 客思唯従枕上生

- 03 57-03 「尊敬」〔ナシ〕公尊〔橘在列 秋夜独起〕〔正ハ作者名ガ後〕為尹▼正〔冬夜 尊敬〕〔嵯ハ詩題ガ後〕延▼嵯〔尊敬 在列イ 冬夜独起〕京〔秋夜独遊 尊敬〕▼鳳
- 03 58-00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉里京尊内戊▼久鳳正嵯》〔拾遺二二四、六帖、和歌体十種、貫之、三十六人撰〕
- 03 58-01 おもひかね おんひかね関
- 03 58-02 いもかりゆけは いもかりゆけり嘉
- 03 58-03 ふゆのよの
- 03 58-04 かはかせさむみ かはかせさむし里
- 03 58-05 ちとりなくなりちとりなく□□〔摩損不明〕内
- 03 58-06 「貫之」〔ナシ〕公寂尹京尊
- 40 00-04 歳暮
- 03 59-00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉里京尊戊▼久鳳正嵯》〔文集、佳句〕
- 03 59-01 寒流帯月澄如鏡
- 03 59-02 夕吹和霜利似刀
- 03 59-03 「白」〔ナシ〕公葦尊〔白 江楼宴別〕〔延正ハ作者名ガ後、京ノ詩題ハ別筆〕為延京▼鳳正〔白 江楼宴〕嘉
- 03 60-00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉里京尊戊▼久鳳正嵯》□
- 03 60-01 風雲易向人前暮
- 03 60-02 歲月難従老底還
- 03 60-03 「良春道」〔花下春 良春道〕〔京ハ詩題ガ後〕城関雲為延京里▼久鳳正〔ナシ〕公葦寂尹尊
- 03 61-00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉里京尊戊▼久鳳正嵯》〔古今三四二、新撰和歌、六帖、貫之〕
- 03 61-01 ゆくとしの
- 03 61-02 をしくもあるかなをしくんあるかな関雲 惜まるかな公をしまるゝかな弘延正
- 03 61-03 ますかゝみ
- 03 61-04 るかけさへにゝな(る) かけさゑに城みるかけことに正
- 03 61-05 くれぬとおもへはくれぬとおんへは関雲▼久
- 03 61-06 「ナシ」〔貫之〕為弘延里戊▼鳳正嵯〔順貫之〕嘉
- 40 00-05 炉火 鑪火、公
- 03 62-00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉里京尊下戊▼久鳳正嵯》〔文集、佳句〕
- 03 62-01 黄醅緑醅迎冬熟 黄醅緑醅迎春(冬イ) 熟、★伊 黄醅緑醅〔西十首〕迎冬熟〔二醅ヲ傍記〕里
- 03 62-02 絳帳紅炉逐夜開 絳帳紅鑪逐夜(夜)開、公 絳帳紅炉逐夜開、下
- 03 62-03 「白」〔ナシ〕公尹尊〔白 戲招諸客〕〔延正ハ作者名ガ後〕為延京▼正嵯〔招松▼嵯〕〔白 感招諸客〕▼鳳
- 03 63-00 《粘城伊雲公葦寂為弘延尹嘉里京尊下戊▼久鳳正嵯》〔関ナシ〕□
- 03 63-01 看無野馬聽無鶯 看無野馬聞無鶯▼久
- 03 63-02 臘裏風光被火迎□〔月十■〕裏風光被火迎、嘉下
- 03 63-03 「菅三品」〔ナシ〕雲公葦尹尊▼久〔白〕寂〔火是臘天春 菅三品〕〔京ハ詩題ガ後、正ノ春ハ推読〕為延京▼鳳正〔菅火是臘天春〕里▼嵯
- 03 64-00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉里京尊下戊▼久鳳正嵯》□
- 03 64-01 此火心鑽花樹取 此火心鑽花樹把、下
- 03 64-02 対来終夜有春情 対来終日有春情、城関雲葦尊下▼久鳳〔終日終日(夜)城▼鳳〕対来終夜(日)有春情、★延 対来終

旧(夜)有春情、里対来終夜月(有)春情、京【三木】終日・終夜

03 64-03 「同上」〔火是臘天春 菅三品〕「城ノ天ト品ハ推読」城

久〔菅三〕〔雲ハ後筆デ火是臘天春ヲ書ク〕関雲〔ナシ〕公尊

戊〔菅三品〕葦寂里〔同前 菅三品〕為〔同〕弘鳳〔同

前〕延▼正〔菅〕尹〔同 絶句 菅三品〕嘉〔同 菅〕京▼

嗟〔火是臘天春 菅〕下

03 65-00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉里京尊下戊▼久鳳正嗟》【

03 65-01 多時縦酔鶯花下、多日縦酔鶯花下、公、他時縦酔鶯花下、弘尊

▼嗟〔花華▼嗟〕多(他)時縦酔鶯花下▼鳳

03 65-02 近日那離獸炭辺

03 65-03 「輔昭」〔同前 輔昭〕★伊延▼鳳〔ナシ〕公寂里尊〔輔

照〕葦京〔同前〕為▼嗟〔菅〕輔照〕〔別筆〕京〔同前

菅輔昭〕▼正

03 66-00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉里京尊下戊▼久鳳正嗟》〔

正ハ片仮名細字書入、サラニ平仮名細字書入有】

03 66-01 うつみひの

03 66-02 したにこかれししたにこかる、尹

03 66-03 ときよりもときよりん関雲トキタニモ(ヨリモ)▼正と

きたにも(よりも)▼正

03 66-04 かくにくまる、かくにくまる、城駕久被恋る、公、かく

にへまる、〔ヘニミセケチ、修正アルカ〕弘、かくいとわる

03 66-05 をりそわひしきをりそかなしき城関雲弘延尹里おりそわひ

しき(かなしき)▼正

40 00-06 霜

03 67-00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉里京尊戊▼久鳳正嗟》〔粘以

外ノスベテ(★伊ヲ含ム)三六八ノ次〕【文集、佳句】

03 67-01 万物秋霜能壊色、万物林霜能壊色、寂

03 67-02 四時冬日最凋年、校本校異ヲ採ルガ異体字ノタメ削除〕葦四

時冬日最凋事(年イ本)寂

03 67-03 「白」〔ナシ〕公葦尹尊〔白 歳晚独望〕京

後〕為延▼鳳正〔白 歳晚独望〕京

03 68-00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉里京尊戊▼久鳳正嗟》〔城関

雲公葦寂為弘延尹嘉里京尊ハ三六七ノ前〕【文苑英華、佳句】

03 68-01 三秋岸雪花初白、三秋岸雪花初日、★尊、三秋岸華花初白▼

嗟

03 68-02 一夜林霜葉尽紅

03 68-03 「温庭筠」〔温庭均〕★伊嘉京〔ナシ〕〔★校本ハ雲ノ温庭

筠ヲ後筆トスル〕公葦弘尹尊〔温庭筠 般若寺別成公〕〔延

正ハ作者名ガ後、延ノ「公」ハ「土」カ、為延▼鳳正

03 69-00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉里京尊戊▼久鳳正嗟》〔関ナシ〕

03 69-01 閨寒夢驚、閨寒夢驚、葦 困寒夢驚「ヨイカ」戊

03 69-02 或添孤婦之砧上、或添孤婦之砧上、里

03 69-03 山深感動

03 69-04 先侵四皓之鬢辺

03 69-05 「青女司霜 紀」〔青女司霜賦 紀〕城雲里▼久鳳〔ナシ〕

公尹尊〔紀〕葦寂戊〔青女司霜賦 紀納言〕〔京嗟ハ作者名

ガ先〕為延嘉京▼正嗟〔紀納言〕弘

03 70-00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉里京尊戊▼久鳳正嗟》【文章

03 70 | 01 君子夜深音不警 君子夜深声不警、城関雲尹里尊▼鳳 君子夜  
深音不驚、葦為

03 70 | 02 老翁年晩鬢相驚 老翁年晩鬢相驚、「曉」ノ上ヲ「晩」ニ訂  
ス 里

03 70 | 03 「菅」(「ナシ」)公尊 「菅 早霜」[延京ハ作者名方後] 為延  
京▼鳳 「菅丞相」弘 「早霜 菅丞相」▼正

03 71 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉里京尊戊▼久鳳正嵯》[京ハ  
三七二ノ次]【後集】

03 71 | 01 声々已断華亭鶴 声々已断花亭鶴、城公為延嘉京里戊▼久正  
【三木】警・鶴

03 71 | 02 歩々初驚葛履人 歩々初驚葛履人、★伊 歩々初驚葛履人★関  
★雲京戊 歩々初知葛履濡、★公 歩々初驚(知菅) 葛履人、  
京 歩々初驚葛履人「履方月十婁へ変化スル中途力」▼久「履  
二履ヲ傍記」▼鳳 歩々初驚葛履「月十婁」儒▼嵯 【三木】  
濡・人

03 71 | 03 「菅」(「寒露凝 菅」)「城ノ露凝ハ推読」城為延▼久正(菅 菅  
丞相▼正)「同」[雲ハ後筆デ寒露凝ヲ書ク]雲葦弘 「ナシ」  
公尊 「菅三品」寂 「寒露凝 菅三品」嘉 「寒露凝霜成(二  
字イ本) 菅」[傍記ハ別筆]京 「寒□霜□ 菅」里 「寒霜  
凝 菅」▼鳳

03 72 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉里京尊戊▼久鳳正嵯》[京ハ  
三七一ノ前]【

03 72 | 01 晨積瓦溝鴛変色

03 72 | 02 夜零華表鶴吞声 夜雲華表鶴吞声「雲ハ□ヲ削ツテ合ヲ書ク」  
関 夜零花表鶴吞声、公為延嘉京里戊▼久正嵯

03 72 | 03 「紀」(「同前 紀」)城伊延▼久鳳 「後筆デ同ヲ書ク」雲 「ナ  
シ」公尹尊 「同前 紀納言」[京嵯ハ作者名方先] 為京▼正  
嵯 「(紀納言)弘 「同題 紀納言」嘉 「寒□□ 紀」里

03 73 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉里京尊戊▼久鳳正嵯》【後撰  
四七八、拾遺二二八、六帖、金玉】

03 73 | 01 よをさむみよ「を」さむみ城 夜をさふみ延冬のよに▼  
正

03 73 | 02 ねさめてきけは

03 73 | 03 をしそなく

03 73 | 04 はらひもあへすはらひんあへす関 「は」らひもあへす▼  
久はらひもあえぬ▼嵯

03 73 | 05 しもやおくらむ

03 73 | 06 「ナシ」(「公任大納言」弘 「貫之」嘉 「読人不知」▼鳳

40 00 | 07 雪

03 74 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉里京尊戊▼久鳳正嵯》【

03 74 | 01 暁入梁王之苑

03 74 | 02 雪満群山

03 74 | 03 夜登庾公之楼 夜登庾亮之楼、城公葦 夜登庾公之楼、里

03 74 | 04 月明千里

03 74 | 05 「白賦」(「ナシ」)公弘尹尊 「白賦 謝観」[嵯ハ作者名方先]  
為延嘉▼鳳正嵯(観 視「アルイハ祝」▼嵯)「賈嵩 白賦」  
京 「(白)戊

03 75 | 00 《粘城伊関雲公葦寂為弘延尹嘉里京尊戊▼久鳳正嵯》【文集、佳  
句】

03 75 | 01 銀河沙漲三千里 銀河沙漲三千里(界) 城里 銀河沙漲三千里、  
公為弘★延尹嘉尊戊▼久鳳正嵯 「沙 砂▼嵯」銀河沙漲三千  
眼、葦 銀河沙漲三千里(里)「朱、左側傍記」▼鳳

03 75 | 02 梅嶺花排一万株 梅嶺花排「二」万株、関 梅嶺花排一萬(万)  
株、雲 梅嶺花開一万株、公葦嘉京尊戊▼久正嵯 「花 華▼  
嵯」

- 03 75 | 03 「白」〔ナシ〕公尊「白 雲中即事」〔雲ハ雪ノ誤リカ〕為  
〔雪中即事 白〕〔京嵯ハ詩題方後〕★延京▼正嵯「白 雪  
中即事寄微之〔六三二〕▼鳳
- 03 76 | 00 《粘城伊関雲公葦為弘延尹嘉里京尊戊▼久鳳正嵯》〔文集、佳  
句〕
- 03 76 | 01 雪似鷺毛飛散乱
- 03 76 | 02 人披鶴斂立俳佻 人排鶴斂立俳佻、★関雲「人排〔披〕鶴斂〔斂〕  
立俳佻、雲「人披鶴」〔火火十十毛〕立俳佻、公
- 03 76 | 03 「白」〔同〕城関雲「〔ナシ〕公弘尊「白 詔令公雪中見贈」  
為▼鳳正〔白〕ナシ▼正〔贈〕賜之▼正「〔詔令二雪中見贈  
白〕〔令ハ人カ〕延
- z0 22 | 00 《城里▼正》〔里ハ三七六ノ前ニ来ルベキ符号有、▼正ハ三  
七七ノ次ニ細字行間書入〕
- z0 22 | 01 暗夜猶行明月地
- z0 22 | 02 人間還踏白雲天
- z0 22 | 03 「良」〔白〕里
- 03 77 | 00 《粘城伊関雲公葦為弘延尹嘉里京尊戊▼久鳳正嵯》〔文粹〕
- 03 77 | 01 或逐風不返
- 03 77 | 02 如振群鶴之毛
- 03 77 | 03 亦当晴猶殘 亦〔亦〕当晴猶殘▼久 亦当晴猶殘▼嵯
- 03 77 | 04 疑綴衆狐之腋 疑綴衆狐之腋、★延京尹嘉 疑綴衆狐之腰〔腋〕  
里
- 03 77 | 05 「春雪賦 紀」〔ナシ〕公尹尊「〔紀〕葦戊「〔春雪賦 紀納  
言〕〔京嵯ハ作者名ガ先〕為嘉京▼正嵯「〔紀納言〕弘「〔春雪  
紀〕里
- 03 78 | 00 《粘城伊関雲公葦為弘延尹嘉里京尊戊雅▼久鳳正嵯》
- 03 78 | 01 翅似得群棲浦鶴

- 03 78 | 02 心応乗興棹舟人
- 03 78 | 03 「邑上御製」〔池上初雪 邑上御製〕〔嵯ハ作者名ガ先〕城  
関▼久正嵯「〔池上雪 邑上御製〕雲「〔ナシ〕公尊「〔池上初  
雪 村上御製〕為延雅▼鳳「〔村上御製〕弘尹戊「〔池上初冬  
村上御製〕嘉「〔村〔邑イ〕上御々 池辺初雪〕〔三五三参照〕  
京「〔池上初雪 付邑上御製〕里
- 03 79 | 00 《粘城伊関雲公葦為弘延尹嘉里京尊戊雅▼久鳳正嵯》〔嘉ハ  
三八〇ノ次〕〔文章〕
- 03 79 | 01 立於庭上頭為鶴
- 03 79 | 02 坐在炉辺手不龜 生在炉辺手不龜、公〔坐〔座イ〕在炉辺手不  
龜、京〔居在炉辺手不龜〕▼久正
- 03 79 | 03 「菅」〔ナシ〕公尊「〔菅 客舎对雪〕為延京「〔延正ハ作者名  
ガ後〕▼鳳正〔菅〕菅丞相▼正」〔菅丞相〕弘
- 03 80 | 00 《粘城伊公葦為弘延尹嘉里京尊戊雅▼久鳳正嵯》〔関雲ナシ。  
嘉ハ三七九ノ前〕
- 03 80 | 01 班女閨中秋扇色 斑女閨中秋扇色、弘延京▼正嵯 斑女閨中秋  
扇色「〔ヨイカ〕戊
- 03 80 | 02 楚王台上夜琴声 楚王台「上」夜琴声、「〔朱〕雅
- 03 80 | 03 「尊敬」〔ナシ〕公弘尊「〔橋在列 題雪〕〔正ハ作者名ガ後〕  
為▼正「〔題雪 尊敬〕延▼鳳
- 03 81 | 00 《粘城伊関雲公葦為弘延尹嘉里京尊戊雅▼久鳳正嵯》〔拾遺  
抄一四七、拾遺二四三〕
- 03 81 | 01 みやこにはこゝにわか城関雲為弘延嘉京尊雅▼久鳳正 爰我  
★公こゝに我、葦こゝにたに里
- 03 81 | 02 めつらしとみるめつらしくみゆる城めつらしくみる関雲公  
葦為弘延尹京里戊▼久正〔みる見ゆ〔る〕京〕めつらしとお  
もふ嘉

- 03 81-03 はつゆきを「はつゆきの為弘里戊」はつ「ゆ」きを▼久  
 03 81-04 よしの、やまに「吉野山は公よしの、やまは尊よしのやま  
 に里」  
 03 81-05 ふりやしぬらむ  
 03 81-06 「ナシ」―「源景明 詠初雪」為「貫之」弘「景明」延▼正  
 「為範」尹「英明忠峰」嘉「源景明」京戊▼鳳「源景明 是  
 則」京「惟明」里「景」明「傍記同筆力」▼正「是  
 則」▼嗟  
 03 82-00 《粘城伊関雲公葦為弘延尹嘉里尊大戊▼久鳳正嗟》「京ナシ」  
 「校本」大「ヲ採用、『古筆学大成』ニモ採用」【古今三二五、  
 六帖、寛平御時后宮歌合、平貞文家歌合、是則】  
 03 82-01 みよしの、  
 03 82-02 山のしらゆき  
 03 82-03 つもるらしつむ。(も) るらし城  
 03 82-04 ふるさとさむく  
 03 82-05 なりまさるなりなりまさるかな城尹里なりまさるらん延  
 「□□ノ上カラなりヲ書ク」▼正  
 03 82-06 「是則」―「ナシ」公尊「友則」延「同人」▼嗟  
 03 83-00 《粘城伊関雲公葦為弘延尹嘉里尊大戊▼久鳳正嗟》「京ナシ」  
 「校本」大「ヲ採用スルガ『古筆学大成』ニ未収」【古今三三  
 七、新撰和歌、六帖、継色紙、友則】  
 03 83-01 ゆきふれは  
 03 83-02 きことにはなそ  
 03 83-03 さきにける  
 03 83-04 いつれをむめと「いつれのむめと城」いつれをんめと関「いつ  
 れをむめを▼鳳  
 03 83-05 わきてをらまし  
 03 83-06 「友則」―「ナシ」「雲ハ磨滅力」★雲公葦尹尊「同」延

- 40 00-08 水「付春水」水「雲ハ後筆」付春水ヲ書ク「雲公弘尹雅水」付  
 春水」葦大  
 03 84-00 《粘城伊関雲公葦為弘延尹嘉里京尊大戊雅▼久鳳正嗟》「校  
 本」大「ヲ採用スルガ『古筆学大成』ニ未収」【文章】  
 03 84-01 氷封水面聞無浪 氷封水面無浪、城氷封水面「聞」無浪、公  
 03 84-02 雪点林頭見有花 雪点林頭見有華▼嗟  
 03 84-03 「菅」―「ナシ」公尊「菅 臘月独与」為「菅丞相」弘「臘月  
 独興 菅」京鳳ハ詩題方後、興力與力」★延京▼鳳正「菅菅  
 丞相▼正」―「菅三品」戊  
 03 85-00 《粘城伊関雲公葦為弘延尹嘉里京尊大戊雅▼久鳳正嗟》「校  
 本」大「ヲ採用スルガ『古筆学大成』ニ未収」【  
 03 85-01 霜妨鶴唳寒無露 霜嫌鶴唳寒無露、城大雪(霜) 妨鶴唳寒無  
 露、雅  
 03 85-02 水結狐疑薄有水 水結狐疑薄有水、公水結狐疑薄有水、★延  
 尹京里 水結狐疑□□水「破損不明」大  
 03 85-03 「相如」―「ナシ」公尊「相如 星源杏才兄」為「呈源杏才九  
 相如」★延「相女 冬夜鶴詠」尹「相公」嘉「相如 呈源  
 秀才先」▼鳳「呈源杏才兄 高相如」▼正  
 03 86-00 《粘城伊関雲公葦為弘延尹嘉里京尊大戊雅▼久鳳正嗟》「校  
 本」大「ヲ採用スルガ『古筆学大成』ニ未収」【古今三一六、  
 新撰万葉、継色紙、六帖】  
 03 86-01 おほそらの□□□「破損不明」らの大おほそらに嘉  
 03 86-02 つきのひかりの月のひかりし城関雲公葦尊大戊雅▼鳳  
 嗟  
 03 86-03 さむければあかければ葦さふければ延  
 03 86-04 かけみしみつそかけみつそ大かけみしみつの▼正

- 03 86-05 まつこほりけるまつはこほれる為▼嵯まつまさりける  
延まつはこほりける里
- 03 86-06 「ナシ」 「文時」為尹 「貫之」嘉 「読人不知」▼鳳
- 03 87-00 《粘伊関雲公葦為弘延尹嘉里京尊大戊▼久鳳正嵯》 「校本  
「大」ヲ採用スルガ『古筆学大成』ニ未収」 【文集、佳句】、  
ナシ「春水」久ハ行間書入」城為弘延尹嘉里京尊戊▼久鳳正  
嵯
- 03 87-01 水消見水多於地水消（清イ）見水多於地、「旁書「清イ」ハ  
朱書」為凍（氷イ）消見水多於地、京
- 03 87-02 雪霽望山尽入楼雪霽看（望）山尽入楼、弘雪尽（霽）望山  
尽入楼▼久
- 03 87-03 「白」 「ナシ」公尊 「白 早春憶遊黔南居」為 「早春憶遊黔  
南庄 白」延▼正「遊 ナシ」▼正 「白 早春」京 「白 早春  
憶遊思黔南庄因寄長句（七七）」▼鳳
- 03 88-00 《粘伊関雲公葦為弘延尹嘉里京尊戊▼久鳳正嵯》 「ココカラ  
三九五上句マデ、城ハ一丁分脱。大ナシ」 【
- 03 88-01 水消漢主応疑霸 水消漢主応疑霸（霸）★雲 水消漢臣応疑霸、  
公葦 水消漢主応疑 ■ 「西十翔」京
- 03 88-02 雪尽梁王不召枚雪（霜イ）尽梁王不召枚、京雪尽梁王不召  
枚、戊
- 03 88-03 「尊敬」 「ナシ」公尊 「早春 橋在列」為延▼正 「橋在列」  
弘 「尊敬 同前」京 「早春 尊敬」▼鳳
- 03 89-00 《粘伊関雲公葦為弘延尹嘉里京尊大戊▼久鳳正嵯》 「城ハ欠、  
校本「大」ヲ採用、『古筆学大成』ニモ採用」 【
- 03 89-01 胡塞誰能全使節 胡塞誰能全使節、公葦弘
- 03 89-02 呼池還恐失臣忠 呼池還恐失宮忠、★関★雲 呼池還恐失臣忠  
「呼ニ呼ヲ朱傍記」為「呼ニ」施ヲ足（糸カ）偏ニスル「還恐失  
臣忠、延呼他還恐失臣忠、尹嘉里呼他呼他（池イ）里」

- 03 89-03 「相規」 「雪中氷亦積 相如」関 「相如」 「後筆テ雪尽氷亦  
積ヲ書ク」雲 「ナシ」公尹尊 「雪消氷亦積 源相規」為延▼  
正 「源相規」弘 「雪満□□積 相如」里 「雪尽氷亦振 相  
規」★京 「雪尽氷亦積 相規」大▼久 「雪消氷亦積 相規」  
「鳳ノ氷ハ水カ、嵯ハ水、嵯ハ作者名方先」▼鳳嵯
- 03 90-00 《粘伊関雲公葦為弘延尹嘉里京尊大戊▼久鳳正嵯》 「城ハ欠、  
校本「大」ヲ採用、『古筆学大成』ニモ採用」 【麗景殿女御歌  
合】
- 03 90-01 やまかはこのやまかほに弘
- 03 90-02 みきはまされりみきはまされる★延尹尊大▼鳳正みつはま  
されり里みきはまされば戊みきはまされる（り）▼鳳
- 03 90-03 はるかせに
- 03 90-04 たにのこほりは谷のこほりや公京谷のこほりや（は）公
- 03 90-05 けふやとくらむとけやしぬらん▼鳳
- 03 90-06 「ナシ」 「惟忠」為★延尹▼鳳正 「躬恒」嘉
- 40 00-09 霰「城ハ欠」
- 03 91-00 《粘伊関雲公葦為弘延尹嘉里京尊大戊▼久鳳正嵯》 「城ハ欠、  
校本「大」ヲ採用、『古筆学大成』ニモ採用」 【後集】
- 03 91-01 鑿牙米簸声々脆 鑿牙朱簸声々脆、葦
- 03 91-02 竜領珠投顆々寒 弘 竜領珠投顆々寒、里
- 03 91-03 「菅」 「ナシ」公尊 「菅 白微散」為 「菅丞相」弘 「白微霰  
菅」 「京ハ詩題方後」延京▼鳳正「菅 菅丞相▼正」  
今一〇七七、新撰和歌、六帖、神楽歌、和歌体十種】
- 03 92-01 みやまには
- 03 92-02 あられふるらし
- 03 92-03 とやまなる



- 03 92 04 まさきのかつら 真木の葛★公
- 03 92 05 いろつきにけり
- 03 92 06 「ナシ」 「伊勢」京 「人丸」 「▼正ノ」 「人丸」 「後補力」 ▼  
久
- 40 00 10 仏名 「城ハ欠」 仏名(付除夜)多
- 03 93 00 《粘伊関雲公章為弘延尹嘉京尊多戊▼久鳳正嵯》 「城ハ欠」 【文  
集】
- 03 93 01 香火一炉灯一盞 香火一盞灯一盞、関雲嘉尊 「校本校異ニ里  
アリ、不審」
- 03 93 02 白頭夜礼仏名経
- 03 93 03 「白」 「ナシ」 公尊 「白 猷贈礼経老僧」 「京ハ作者名ガ後」  
為延京多▼鳳(白)ナシ延(猷)猷(戯イ)京 「猷贈礼経老  
僧 白」 ▼正
- 03 94 00 《粘伊関雲公章為弘延尹嘉京尊多戊▼久鳳正嵯》 「城ハ欠」 【文  
草】
- 03 94 01 香自禅心無用火 「三木」 出善心・自禅心
- 03 94 02 花開合掌不因春 花開合堂(掌) 不因春、公華開合掌不因春、  
戊▼嵯 「三木」 開・因
- 03 94 03 「里ノ本文存スルカ、校本誤リカ」 「菅」 「□」 「破損力」 伊 「ナ  
シ」 公尊 「菅 懺悔会作」 「▼鳳ノ懺悔ハ略字、延▼正ハ作  
者名ガ後、正ノ作ハ切断ニヨリ不明」 為延京多▼鳳正(菅)菅  
丞相 「丞相ハ後補力」 ▼正 「菅丞相」 弘
- 03 95 00 《粘城伊関雲公章為弘延尹嘉京尊多戊▼久鳳正嵯》 「上句城  
ハ欠」 □
- 03 95 01 あらたまの
- 03 95 02 としもくるれは としもつくれは 「久ハもつニ削訂カ」 関雲  
公為延京▼久正 としんつくれは関 としもつもれは葦嘉と  
しもつきなは弘尹 としもくれるは 「るハなカ」 戊年 「も」

- く 「る」 れは▼嵯 「校本校異ニ里アリ、不審」
- 03 95 03 つくりけむ つもりけむ ▼正
- 03 95 04 つみものこらす つみんのこらす 関雲
- 03 95 05 なりやしぬらむ なりやしりけ(ぬら)む 「後筆」 雲
- 03 95 06 「兼盛」 「ナシ」 「雲ハ後筆デ兼盛ヲ書ク」 雲公里尊
- 03 96 00 《粘城伊関雲公章為弘延尹嘉京尊多大戊▼久鳳正嵯》 「弘為  
延尹ハコノ哥ノ次ニ一首アリ。嘉ハ別筆ニテ追記ス、『古筆  
学大成』 「大」 採用」 【拾遺抄一六二、拾遺二六一、兼盛、金  
玉】
- 03 96 01 かそふれは
- 03 96 02 わかみにつもる わかみにとまる 関雲公大
- 03 96 03 としつきを
- 03 96 04 おくりむかふと
- 03 96 05 なにいそくらむ
- 03 96 06 「校本誤リカ」 「ナシ」 「同」 城為弘延尹嘉▼久鳳嵯 「同人」  
伊京戊 「兼盛」 ★葦大 「同上」 多 「同前」 ▼正
- z0 23 00 《為弘延尹嘉▼貞鳳正嵯》 「尹ハ「本無」トアリ、嘉ハ別筆  
後補、▼鳳ハ細字片仮名書入、頭部余白ニ「証本無之」ト有、  
弘デ入力」 □
- z0 23 01 としのうちに
- z0 23 02 つくれるつみは つくれるつみも ▼正
- z0 23 03 かきくらし
- z0 23 04 ふるしらゆきと ふるしら雪の延
- z0 23 05 にもにきえなむ ともにきゑぬる延 にもにきゆらん▼嵯
- z0 23 06 「ナシ」 「同」 為 「江本有此哥」 鳳
- 50 00 01 倭漢抄卷上 和漢朗詠集上、城★弘戊▼鳳ナシ 「▼正ハ後補  
「和漢朗詠」抄」 集「卷」上「有」 伊関延里▼久正 和漢朗詠

卷上、雲朗詠抄上、公葦多和漢朗詠抄卷上、為和漢朗詠

集卷上、京尊倭漢朗詠集上▼嗟